

令和元年度事業報告

令和2年6月4日

社会福祉法人 黎明会

【1】法人全体の総括

1 法人の運営方針

黎明会は、救護施設、障害者支援施設、特別養護老人ホーム、病院、介護老人保健施設及び有料老人ホーム並びに在宅サービス、福祉開発振興援助事業及び介護職員初任者研修事業という広範かつ多様な事業を実施している法人である。令和元年度においてもその特色と個性を発揮しながら、保健・医療・福祉の各事業間の相互連携を強化し、当法人ならではの総合的・有機的な事業展開に努めている。

当法人が抱えている課題として、減価償却に見合う施設整備資金の大幅な積立不足や熱海ゆとりあの郷と南台病院の経営改善がある。

この課題の改善に向けて令和元年度は、熱海ゆとりあの郷の入居者が毎月納める管理費の引上げを、平成9年以来22年ぶり（この間の消費税増税分の引上げは2回実施）に、令和元年10月から3年計画で行うこととなり、管理費の赤字解消に目途をつけた。

南台病院においては、地域包括ケア病床を8床から28床に増床することなどの取り組みを進め、診療単価の向上に努めた。今後も更なる収入増化策に取り組む。

法人本部総務局においては、各施設への指導監督を通して、法人全体の経営基盤と組織力の強化に努めている。

建築後約30年から50年が経過し、老朽化が課題となっている黎明会の老朽施設については、改築を検討するため、「黎明会老朽施設改築検討委員会」を立ち上げ、黎明会老朽施設改築計画を策定して取り組んでいる。

また、新型コロナウイルスが強い感染力で世界的に広がる様相を呈していることから、多数の高齢者や障害者の入所者、通所者を抱えている黎明会の各施設において、手洗いの励行、ドアノブの消毒、三密の自粛等を行っており、かつ、病状の急変等の場合を除き、家族等の面会も原則として避けるよう協力を要請してきた。

その結果、令和元年度末において入院、入所者及び職員には新型コロナウイルスの感染者は発生していない。

2 収支状況

(1) 法人全体の収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 令和元年度 執行率 |
|--------------------|---------------|----------------|-----------------|--------------|--------------|
| 法人総収入 (①) | 6,003,801 千円 | 6,448,264 千円 | 6,287,967 千円 | 6,345,798 千円 | 100.9% |
| 法人総支出 (②) | 5,937,050 千円 | 6,329,791 千円 | 6,131,540 千円 | 6,171,160 千円 | 100.6% |
| 収支差額 (①-②) | 66,751 千円 | 118,473 千円 | 156,427 千円 | 174,638 千円 | — |
| 前期末支払資金 取崩額 (③) | ▲65,000 千円 | ▲65,000 千円 | ▲65,000 千円 | ▲65,000 千円 | 100.0% |
| 収支差額 (①-②-③) | 131,751 千円 | 183,473 千円 | 221,427 千円 | 239,638 千円 | — |

※1 上記の総収入及び総支出については、内部取引を含んでおり、令和元年度決算における内部取引は、259,360 千円である。

※2 「法人総収入」には、施設整備等積立金の取崩収入(177,083 千円)を含んでいる。これは、令和元年度決算においては、収入減による支払資金不足が生じたことにより、短期的なものであるが、資金ショートを起こす可能性があったため、施設整備等積立資産の取崩を、在宅サービス総合センター(6,008 千円)、やすらぎの園(31,000 千円)、けやきの郷(8,696 千円)、南台病院(55,779 千円)、熱海ゆとりあの郷(75,600 千円)について行い(合計177,083 千円)、資金収支に充当した。

(2) 法人全体の人件費の状況

※ 法人全体の人件費の年次推移

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 正規職員 | 417 人 | 417 人 | 415 人 | 416 人 | 434 人 |
| 非常勤職員 (常勤換算) | 161 人 | 159 人 | 155 人 | 160 人 | 157 人 |
| 職員数合計 | 578 人 | 576 人 | 570 人 | 576 人 | 591 人 |
| 人件費率 | 66.8% | 67.1% | 64.6% | 65.9% | 66.8% |
| 金額 | 3,626,884 千円 | 3,544,529 千円 | 3,427,532 千円 | 3,513,186 千円 | 3,687,577 千円 |
| 対前年度増減額 | — | ▲82,355 千円 | ▲116,997 千円 | 85,654 千円 | 174,391 千円 |

平成30年度決算事業活動収入計 5,333,235 千円
令和元年度決算事業活動収入計 5,518,967 千円

(3) 全体の人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|------------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 法人本部 | | | | 10.8 | 10.8 | 10.0 | 1.0 | | 0.8 | 10.8 | 0.0 |
| 在宅サービス 総合センター | 29.0 | 6.0 | 35.0 | 4.0 | 39.0 | 30.0 | 23.0 | | 9.7 | 39.7 | 0.7 |
| 澄水園 | 55.9 | 24.0 | 79.9 | 6.1 | 86.0 | 61.2 | 47.0 | 6.0 | 23.2 | 84.4 | ▲1.6 |
| 黎明寮 | 28.1 | 15.1 | 43.2 | 2.0 | 45.2 | 37.0 | 12.0 | | 8.8 | 45.8 | 0.6 |
| あかつき | 47.2 | 6.8 | 54.0 | 2.4 | 56.4 | 55.0 | 8.0 | | 2.8 | 57.8 | 1.4 |
| やすらぎの園 | 62.8 | 3.0 | 65.8 | 8.5 | 74.3 | 54.9 | 46.0 | | 22.7 | 77.6 | 3.3 |
| 南台病院 | 71.0 | 43.4 | 114.4 | 17.7 | 132.1 | 93.0 | 81.0 | 11.0 | 35.4 | 128.4 | ▲3.7 |
| のぞみ作業所 | 11.7 | 5.3 | 17.0 | 3.5 | 20.5 | 13.0 | 15.0 | | 7.5 | 20.5 | 0.0 |
| けやきの郷 | 42.7 | 6.9 | 49.6 | 22.2 | 71.8 | 47.0 | 45.0 | 1.0 | 22.6 | 69.6 | ▲2.2 |
| 熱海ゆとりあの郷 | 37.5 | | 37.5 | 13.9 | 51.4 | 30.0 | 26.0 | 9.0 | 22.7 | 52.7 | 1.3 |
| 合 計 | 385.9 | 110.5 | 496.4 | 91.1 | 587.5 | 431.1 | 304.0 | 27.0 | 156.2 | 587.3 | ▲0.2 |

※人員配置基準外となる障害者雇用者

| 施設名 | 職 種 | 非常勤職員 | 非常勤職員(常勤換算) |
|------|-----|-------|-------------|
| 黎明寮 | 清掃員 | 1.0 | 0.5 |
| あかつき | 清掃員 | 3.0 | 1.6 |
| 澄水園 | 清掃員 | 3.0 | 1.9 |
| 合 計 | | 7.0 | 4.0 |

※ 黎明会の障害者雇用状況

(注) 常勤換算数は当該職員の週の所定労働時間数を正規職員の所定労働時間38.75時間で除して算出した人数となる。

一方、障害者雇用促進法に基づく算定基礎労働者数は、週の所定労働時間数が30時間以上勤務する者を1.0名、週20時間以上30時間未満の者を0.5名、週20時間未満の者を0.0名としている。そのため実人員数とは異なる。

- ① 障害者雇用促進法に基づく算定基礎労働者数 460.5名
- ② 法定雇用率 2.2%
- ③ 法定雇用障害者数 10名
- ④ 黎明会障害者雇用数(法定換算数) 11名(正職員7.0名, 非常勤4.0名)
- ⑤ 黎明会法定雇用率 2.4%

【1-1】法人本部総務局

1 運営方針

法人本部総務局は理事会、評議員会の開催をはじめ、各施設の予算・決算を統括し、かつ各施設に対する指導監督を行い、また、研修事業・福祉開発振興援助事業及び在宅サービス総合センターの各事業所を直接統括する。

2 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 令和元年度 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|--------------|
| 収入 | 467,969千円 | 502,771千円 | 638,780千円 | 640,717千円 | 100.3% |
| 支出 | 466,190千円 | 477,277千円 | 448,262千円 | 476,305千円 | 106.3% |
| 収支差額 | 1,779千円 | 25,494千円 | 190,518千円 | 164,412千円 | — |

※1 令和元年度は収入として入所者からの大口の寄付金2件152,744千円を含む。

※2 在宅サービス総合センターを含む。施設整備等積立金30,000千円を追加積立。

3 理事会、評議員会開催状況

(1) 理事会

◎ 第1回理事会

(開催日：令和元年6月5日 場所：黎明ホール)

出席：理事13名・監事1名)

・議案

1. 平成30年度事業報告(案)の承認について
2. 平成30年度収支決算(案)の承認について
3. 就業規則の一部改正(案)の承認について
4. 理事及び監事の任期満了に伴う次期理事及び監事の選任(案)の承認について
5. 会計監査人の選任(案)の承認について
6. 黎明寮の老朽化に伴う改築計画と国庫補助金の申請について
7. 職員に対する「職員臨時給付金」の支給(案)の承認について
8. 理事長及び常務理事の役員報酬(案)について
9. 令和元年度定時評議員会の招集(案)及び評議員会提出議案(案)について

・報告事項

1. 「南台病院の今後のあり方に関する懇談会」についての報告

◎ 第2回理事会

(開催日：令和元年6月24日 場所：黎明ホール)

出席：理事11名・監事1名)

・議案

1. 令和元年度定時評議員会についての報告
2. 会長の選定について

3. 理事長の選定について
 4. 常務理事の選定について
 5. 会計監査人の報酬について
 6. 就業規則の一部改正(案)の承認について
- ・報告事項
 1. 熱海ゆとりあの郷の経営改善及び運営体制の見直しについて

◎ 第3回理事会

(開催日：令和元年9月5日 場所：黎明ホール
出席：理事11名・監事2名)

- ・議案
 1. 黎明会老朽施設の改築計画の策定について
 2. 熱海ゆとりあの郷の経営改善及び補正予算(案)について
 3. 福祉開発振興援助事業 令和元年度追加援助対象団体及び援助金額(案)の承認について
 4. 令和元年度第2回評議員会の招集及び提出議案の承認について

◎ 第4回理事会

(開催日：令和元年12月5日 場所：黎明ホール
出席：理事12名・監事2名)

- ・議案
 1. 令和元年度上半期事業報告(案)の承認について
 2. 令和元年度補正予算(案)の承認について
 3. 福祉開発振興援助事業令和2年度援助対象団体及び援助金額と令和元年度追加援助対象団体及び援助金額(案)の承認について
 4. 令和元年度第3回評議員会の招集及び評議員会提出議案について
- ・報告事項
 1. 「年俸制幹部職員の年俸額の見直し」についての報告
 2. 「非常勤職員の処遇改善」についての報告
 3. 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告

◎ 第5回理事会

(開催日：令和2年3月16日 場所：黎明ホール
出席：理事13名・監事2名)

- ・議案
 1. 令和元年度補正予算(案)の承認について
 2. 令和2年度事業計画(案)の承認について
 3. 令和2年度収支予算(案)の承認について
 4. 社会福祉法人黎明会 諸規程の一部改正(案)の承認について
 5. 幹部職員の人事(案)の承認について
 6. 福祉開発振興援助事業 令和元年度追加援助対象団体及び援助金額(案)の承認について
 7. 静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課による実地指導の実施結果に基

づく有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷への文書指摘事項に対する是正・改善計画(案)の提出の承認について

8. 令和元年度第4回評議員会の招集(案)及び評議員会提出議案(案)について

・報告事項

1. 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告

◎ 書面による理事会（定款第29条第2項の規定に基づく理事会のみなし決議）
（決議日：令和元年7月16日）

・議案

(1) 東京都の平成31年度障害者(児)施設整備補助金を受けて整備する、指定就労継続支援B型事業所のぞみ作業所の屋上及び外壁防水等修繕工事に係る入札・発注条件の設定(案)について

◎ 書面による理事会（定款第29条第2項の規定に基づく理事会のみなし決議）
（決議日：令和元年8月19日）

・議案

(1) 施設長の選任について

◎ 書面による理事会（定款第29条第2項の規定に基づく理事会のみなし決議）
（決議日：令和元年9月19日）

・議案

(1) 東京都の平成31年度障害者(児)施設整備補助金を受けて整備する、指定就労継続支援B型事業所のぞみ作業所の屋上及び外壁防水等修繕工事に係る入札結果及び工事請負契約書の締結(案)について

◎ 書面による理事会（定款第29条第2項の規定に基づく理事会のみなし決議）
（決議日：令和元年10月31日）

・議案

(1) 東京都の平成31年度民間社会福祉施設設備改善整備費補助金を受け整備する救護施設あかつきの屋上及び塔屋防水改修工事に係る入札・発注条件の設定(案)について

◎ 書面による理事会（定款第29条第2項の規定に基づく理事会のみなし決議）
（決議日：令和2年1月29日）

・議案

- (1) 東京都の平成31年度民間社会福祉施設設備改善整備費補助金を受け整備する救護施設あかつきの屋上及び塔屋防水改修工事に係る入札結果及び工事請負契約書の締結(案)について

(2) 評議員会

◎ 第1回評議員会

(開催日：令和元年6月24日 場所：黎明ホール

出席：評議員15名・理事長及び常務理事並びに監事1名)

・議案

1. 平成30年度事業報告(案)の承認について
2. 平成30年度収支決算(案)の承認について
3. 理事及び監事の任期満了に伴う次期理事及び監事の選任(案)の承認について
4. 会計監査人の選任(案)の承認について
5. 黎明寮の老朽化に伴う改築計画と国庫補助金の申請について
6. 職員に対する「職員臨時給付金」の支給(案)の承認について
7. 理事長及び常務理事の役員報酬(案)について

・報告事項

1. 「南台病院の今後のあり方に関する懇談会」についての報告

◎ 第2回評議員会

(開催日：令和元年9月5日 場所：黎明ホール

出席：評議員16名・理事長及び常務理事並びに監事1名)

・議案

1. 黎明会老朽施設の改築計画の策定について
2. 熱海ゆとりあの郷の経営改善及び補正予算(案)について

◎ 第3回評議員会

(開催日：令和元年12月5日 場所：黎明ホール

出席：評議員14名・理事長及び常務理事並びに監事2名)

・議案

1. 令和元年度上半期事業報告(案)の承認について
2. 令和元年度補正予算(案)の承認について

・報告事項

1. 「年俸制幹部職員の年俸額の見直し」についての報告
2. 「非常勤職員の処遇改善」についての報告

◎ 第4回評議員会

(開催日：令和2年3月16日 場所：黎明ホール

出席：評議員13名・理事長及び常務理事並びに監事2名)

・議案

1. 令和元年度補正予算（案）の承認について
2. 令和2年度事業計画（案）の承認について
3. 令和2年度収支予算（案）の承認について
4. 社会福祉法人黎明会 理事及び監事並びに評議員報酬等規程の一部改正（案）の承認について

4 社会福祉法の改正に伴うガバナンスの強化等について

平成29年3月に制定した「社会福祉法人黎明会 内部管理体制の基本方針」に基づき、法人本部のさらなる管理体制の強化、リスク管理体制の整備、各施設の指導監査体制の強化を行う体制づくりの一環として、平成31年4月から参与を配置した。

(1) 施設に対する法人本部からの内部監査について

当法人の各施設に対して、事業運営の適正化を図るために平成30年度に引き続き、法人本部による内部監査を実施した。施設の組織や規程、運営管理、利用者サービス等について精査し、改善すべき点については改善を図るよう指導し、施設の適切な運営の推進を図った。

◆内部監査実施状況

| 実施日 | 施設名 |
|-----------|--------------------------|
| 6月10日 | 訪問介護ステーションみなみだい |
| 6月19日 | みなみだい訪問看護ステーション |
| 6月27日 | 指定居宅介護支援事業所 |
| 7月10日 | 救護施設 あかつき |
| 7月18日 | 救護施設 黎明寮 |
| 8月30日 | 特別養護老人ホーム やすらぎの園（ユニット） |
| 9月20日 | 介護老人保健施設 けやきの郷 |
| 10月30日 | 介護付有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷 診療所 |
| 11月21日 | 介護付有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷 一時介護室 |
| 2月26日（中止） | 障害者支援施設 澄水園 |
| 2月28日（中止） | 地域生活支援センター 澄水 |
| 3月（中止） | 診療施設 南台病院 |
| 3月（中止） | 特別養護老人ホーム やすらぎの園（従来型） |

◆主な指摘事項

内部監査は年間計画に基づき、東京都の指導検査基準の各項目に沿って実施した。各事業所ともに指導監査基準に準拠し、適切な運営及び利用者サービスの質向上に努めていた。規程、マニュアル等の整備状況は良好で、指導監査基準で求められている内容が網羅されていた。業務日誌や利用者に関する記録等、記録類は適切に保管されており、個人情報保護の観点からも適切な管理がなされていた。また、各事業所において先の実地検査で指摘、指導された事項については改善が図られていた。

ただし、規程やマニュアル等の事業所内における各部署への設置状況や会議録の周知方法は事業所ごとに差がみられた。今後は規程やマニュアル等の活用を推進し、

根拠に基づく業務の遂行や会議録の周知徹底による各職員の参画意識を醸成していくことが望まれる。苦情対応や事故防止については規程やマニュアルに則り適切に処理が行われていたものの、再発防止策についての具体的な妥当性やその効果についての検証が不十分であった。研修については法人の専門研修の活用の他、事業所ごとの研修計画を作成し取り組まれていたが、計画通りに実施できていない状況も伺えた。特に悉皆研修については、不参加者への伝達や書面研修の実施とともに、研修後の実施記録の充実を図ることが必須である。

5 老朽施設の改修、改築計画について

令和元年度の財政状況においては建物・設備の減価償却額に見合う施設整備積立金の大幅な積立不足が生じている。具体的には、平成 30 年度決算で総額 116 億円の減価償却累計額があり、そのうち公的補助の対象となる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設や他の福祉施設分が 56 億円（これらは半額程度の積立が必要）、それ以外の施設が 60 億円となっている。これに対し、令和元年度の建物改築積立金額は約 14 億円である。

令和 2 年度以降も引続き財政の健全化に向けて施設整備積立金などの積立資産の確保に取り組む必要がある。

一方で、当法人が設置運営する施設のうち、建築後約 30 年～50 年余が経過している南台病院、あかつき、熱海ゆとりあの郷、黎明寮、澄水園等は、老朽化が進んでおり、修繕や設備の更新等の経費が年々増大してきている。

今後この状況が続けば、修繕費が施設の経営を圧迫することが考えられることから、国の補助金を利用した大規模修繕や改築等を検討している。

なお、南台病院及び熱海ゆとりあの郷については、国による補助金制度が無いため、今後の収支の改善及び収益の状況を見ながら借入金返済に見合う収益が確保される見込みとなった段階で建替えに着手することとしている。

*令和元年度における施設改築検討調査費 7,000 千円

(1) 救護施設あかつきの改築等計画について

あかつきについては、昭和 55 年竣工で建築後 40 年が経過しており、かつ、昭和 56 年以前に定められた旧耐震基準で建てられている。平成 23 年度に耐震改修工事を行っているが、IS 値（耐震指標）が 0.6 程度であり、平成 25 年度には大規模修繕（水回り改修工事と給湯設備工事整備）を行っているが、築後約 40 年経過して施設の老朽化がすすみ、入所者のプライバシーの保護や生活の質の向上、入所者の高齢化にともなう施設のバリアフリー化を進めるためには、現状の建物設備では対応が困難である。このことから、令和 2 年度に改築の構想（マスタープラン）を策定し、原則として令和 3 年度を目途に国庫補助内示に向けて取り組んでいく。

また、改築にあたっては当法人の敷地内に予定されている都市計画道路小平 3・3・3 号線の予定地に仮施設を設けて入所者を転居させた上で、現存の施設を新たな施設に改築整備することが最も経済的な手法になると考えている。

(2) 救護施設黎明寮の改修等について

黎明寮は平成 3 年竣工で比較的新しく、新耐震基準で建てられていることもあり、このことを踏まえ、令和 2 年度に大規模修繕の申請を行うことを目指して、

リフォーム等（空調設備、給排水管、屋上防水、外壁塗装、利用者用トイレ・洗面所改修、職員トイレ増設、地域（通所）利用者用談話室の新設、各居室の壁紙等の整備、食堂・階段床材張替、高圧電線取替、自家用発電機部品交換、ボイラー交換他）のマスタープランを作成する。

(3) 障害者支援施設澄水園の改修等について

澄水園は平成3年度竣工で黎明寮同様、新耐震基準で建てられ、平成21年度には、全室ベッド、居室・トイレ・浴室等間取り変更・天井改修、電気設備、給排水衛生設備、冷暖房設備等の大規模修繕を行い、平成27年度にも、外壁・屋上防水の大規模修繕を行っている。今回の取り組みとしては、大規模修繕補助金を活用して、老朽化した自家用発電機の入替やボイラー交換などを行っていく。

(4) 南台病院の改築等計画について

南台病院は収支改善が進み、平成29年度から収支状況は黒字の傾向に転じてきたことから、建設借入金の償還が可能な状態になった時点において、改築に着手するための改築の構想（マスタープラン）を検討する。

(5) 熱海ゆとりあの郷の改築等計画について

熱海ゆとりあの郷は、管理費の引上げをはじめとする運営費の収支改善策の実施により、これまでの単年度収支での大幅な赤字額を縮小させることによって、今後、入居一時金の積立額の累増が見込まれる。熱海ゆとりあの郷の入居者の高齢化及び重度化が進むことにより、満床となっている一時介護室について、現在、リネン室等に用いている部屋を介護室に改修して増床を図る。

さらに改善が見込めれば、地盤調査を実施のうえ、新しいタイプの居室棟（50室）を建築し、入居棟、介護室は高級化を目指す仕様とする。

6 経営基盤の強化

(1) 熱海ゆとりあの郷の経営改善について

ア 経営体質の改善について

熱海ゆとりあの郷の入居者が毎月収める管理費の引上げは、消費税率改定に伴うものを除くと、平成9年以降22年間行われていなかったため、大幅な赤字が生じ、その赤字分を新規入居者が納付する入居一時金で補填する状況が続いていた。管理費の適正化を図るため、入居者の方々と管理費の引上げについて約一年近く話し合いを重ねた結果、令和元年10月から3年計画で管理費の引上げを実施することにした。また、食費についても見直しを行い、令和元年12月から給食委託業者の変更と食費の値上げを行った。

令和2年度からは直営の歯科医療を廃止し、外部からの訪問診療とすることによって歯科収支の赤字解消を図る。

イ 熱海ゆとりあの郷の広報の効率化等

熱海ゆとりあの郷の入居希望者の募集については、平成27年度から熱海ゆとりあの郷と法人本部とが連携し、広報の強化や空室の計画的な改修、入居相談室の移転・整備等の受け入れ体制の整備を行ってきた。

＊熱海ゆとりあの郷広報活動実績

- ①雑誌掲載 ・ 婦人公論 … 令和元年 12 月 10 日号広告掲載
 ②法人広報誌 ・ ゆとりすと … 令和元年 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 月
 令和 2 年 1, 2, 3 月
 ③ダイレクトメール掲載 ・ 高島屋ダイレクトメール … 令和元年 5 月 27 日 97, 000 部
 令和 2 年 1 月 6 日 151, 100 部

(2) 南台病院の経営改善について

「南台病院の今後のあり方に関する懇談会」は、平成 28 年 7 月 21 日に「南台病院の今後のあり方に関する懇談会報告書」（提言）を示し、これに沿った経営改善策を着実に実行した結果、平成 30 年度決算において収支が黒字に移行したことで、令和元年 5 月 30 日（第 12 回）の懇談会でまとめたとおり、今後とも入院病床を継続して運営していくこととし、これからは施設の老朽化に対応した改築等に向けて、所要の資金確保のための一層の経営改善対策を推進していくと方向づけられた。

令和元年 11 月からは、これまで 8 床で運用していた地域包括ケア病床を 20 床増やし、28 床の地域包括ケア病棟を開設した。令和 2 年 2 月には地域包括ケア病棟施設基準について、上位の施設基準を取得し、診療報酬を引き上げることによって増収を図った。また、令和元年度も一層の経営改善に資するために、市民公開講座による広報活動や病診・病病連携の強化も図った。

＊南台病院の令和元年度実績

| | | 入院 | 外来 | 合計 |
|-----------|----------|------------|------------|--------------|
| 1 日平均患者数 | 平成 30 年度 | 110.6 名 | 121.2 名 | — |
| | 令和元年度 | 110.6 名 | 113.2 名 | — |
| 1 日平均診療単価 | 平成 30 年度 | 22,054 円 | 5,263 円 | — |
| | 令和元年度 | 22,268 円 | 5,492 円 | — |
| 医業収入 | 平成 30 年度 | 847,756 千円 | 185,858 千円 | 1,033,614 千円 |
| | 令和元年度 | 852,681 千円 | 179,178 千円 | 1,031,859 千円 |

(3) 職員処遇の改善、適正化等について

ア 期末手当の支給月数について

正規職員に対する令和元年度の期末手当は、減価償却に見合う施設整備積立金が大幅に不足している等の法人事業運営上の実態等を考慮して、年間 3.51 ヶ月（平成 30 年度は年間 3.51 ヶ月）で労働組合と妥結した。これによって、令和元年 5 月 29 日付で労使の合意書の締結を行った。

イ 職員臨時給付金の支給について

当法人の運営状況について、施設整備積立金不足は依然として残っているものの、法人全体の業績は逐年、改善方向に向かって前進していること及び職員の士気高揚を図るため、今年度に限り、役員を除くすべての正規職員に職員臨時給付金として一律 24,000 円を 7 月 1 日に支給した。

ウ 国家資格等保有者に対する処遇改善について

当法人における利用者処遇の向上及び職員の質の向上を図り、優秀な職員の流出を防止するために、職員のうち社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、公認心理師などの国家資格等を保有している者に対して、平成 30 年 4 月期の定期昇給時に処遇改善を講じた。

また、優秀な事務職員の確保を図るため資格取得者の追加引上げとして、令和 2 年度から日商簿記合格者について、以下のとおり変更することを決めた。

* 処遇改善の加算対象資格及び加算号給表

| 加算対象資格名称 | 加算号給 | |
|----------|----------------|-----------------|
| | 平成 30 年 4 月 | 令和 2 年 4 月 |
| 日商簿記 1 級 | 4 号給 (7,600 円) | 6 号給 (11,600 円) |
| 日商簿記 2 級 | 3 号給 (5,600 円) | 4 号給 (7,600 円) |
| 日商簿記 3 級 | 2 号給 (3,600 円) | 2 号給 (3,600 円) |

エ 初任給調整手当の改定について

新規学卒者の採用については、給与面において他法人との差別化を図り、有能な人材の応募促進と採用に結びつけるために、採用後 5 年間で限度として平成 30 年 4 月から初任給調整手当の支給制度を実施した。

なお、初任給調整手当は、学卒で採用した在職職員に対しても採用後の年数に合わせた金額を支給した。

また、当法人の依然とした深刻な人材不足の現状を踏まえて、更なる人材確保を図るために、現行の初任給調整手当 1 ヶ月当たり 10,000 円 (5 年間の逡減方式) を平成 31 年 4 月 1 日から 1 ヶ月当たり 20,000 円 (5 年間の逡減方式) に引上げることとした。

* 初任給調整手当 (月額)

※ 6 年目以降は支給しない。

| 年 度 | 採用 初年度 | 2 年目 | 3 年目 | 4 年目 | 5 年目 |
|---------------------|-----------|----------|----------|---------|---------|
| 平成 30 年度 | 10,000 円 | 8,000 円 | 6,000 円 | 4,000 円 | 2,000 円 |
| 令和元年度 (平成 31 年度) | 20,000 円 | 16,000 円 | 12,000 円 | 8,000 円 | 4,000 円 |

オ 住居手当

黎明会では各職種について求人募集しているが、小平市周辺での国家資格取得者の確保が困難になってきている。その現状下、国や他法人においては借家に居住する職員の住居手当が月額最大 27,000 円支給されていることに対し、当法人では借家に居住する職員の住居手当が月額最大 12,000 円を支給していることを踏まえて、平成 31 年 4 月 1 日より住居手当の支給上限を月額最大 25,000 円に引き上げることとした。これにより、東京 23 区及び近県等の遠隔地に在住している有能な人材が当法人に積極的に応募に結びつくことを目的としている。

カ 認定看護師資格手当の創設

看護師の専門性を高めるために公益社団法人日本看護協会において 21 分野の認定看護師の資格制度が制定されており、今後、黎明会の看護師の資質向上の一環として、特に当法人と関わりの強い 11 分野の認定看護師の資格取得者に対して平成 31 年 4 月 1 日から認定看護師資格手当として月額 5,000 円を支給する制度を創設し、専門性の高い看護師の確保を図ることとした。

なお、当該認定看護師資格手当は平成 31 年 4 月 1 日より施行し、現に認定看護師の資格取得者に対しても適用することとした。

*認定看護師の範囲と処遇改善

| 認定看護師の分野 | 法人内 取得者数(名) | 認定看護師資格手当 |
|----------------|----------------|------------|
| 皮膚・排泄ケア | 0 | 月額 5,000 円 |
| 集中ケア | 0 | |
| 緩和ケア | 0 | |
| 訪問看護 | 0 | |
| 感染管理 | 1 | |
| 糖尿病看護 | 0 | |
| 摂食・嚥下障害看護 | 0 | |
| 認知症看護 | 0 | |
| 脳卒中リハビリテーション看護 | 0 | |
| 慢性呼吸器疾患看護 | 0 | |
| 慢性心不全看護 | 0 | |

キ 非常勤職員の処遇改善について

非常勤職員については、厚生労働省による令和元年 10 月 1 日からの最低賃金引き上げに伴い、当法人の最低時給を新たな最低賃金に 5%加算した額 1,060 円 (1,010×105%) とした。(この方式は平成 29 年度にルール化している。)

また近年、民間の有料老人ホームの増設等に伴い、非常勤職員の確保が困難になってきており、一方、人材派遣会社からの派遣を受け入れた場合には、極めて高い派遣料金を払うことになり、これによって、施設の収支が赤字化するような事態が生じている。

非常勤職員の採用にあたっては、国家資格を有する者を優先的に採用し、かつ現存の非常勤職員の流出を避けるため、非常勤職員の時給について、最低時給では採用が困難な場合に備えて、非常勤職員の時給に大幅な上乘せを行い、職員の確保を図っている。

このほか、労働法制の改正に伴い、勤務期間が 5 年を超えて継続雇用を行った非常勤職員については、6 年目から「期限の定めのない職員」となり、使用者は原則として定年まで雇用義務を負うことになるので、雇用期間が 6 年目に入る前に雇用契約の解約を検討する必要が生じることになる。

この解約に対応した新たな非常勤職員の確保が必要になるので、この確保を容易にするために非常勤職員の時給の大幅引上げを行った。

さらに、職員については、一定率の非常勤職員を採用することによって、人件費の硬直化を避ける必要がある。

*非常勤（時給）職員の時給改定 比較表

| 改定前時給単価 (令和元年10月最低賃金改定後) | | 改定時給 (令和元年12月1日) | |
|-----------------------------|-------------------|---------------------|--------|
| 社会福祉士 | @1,120～(上限@1,340) | 社会福祉士 | @1,400 |
| 介護福祉士 | @1,120～(上限@1,340) | 介護福祉士 | @1,400 |
| 精神保健福祉士 | @1,120～(上限@1,340) | 精神保健福祉士 | @1,400 |
| 介護支援専門員 | @1,200～(上限@1,420) | 介護支援専門員 | @1,400 |
| 実務者研修 | @1,120～(上限@1,340) | 実務者研修 | @1,300 |
| 初任者研修 | @1,100～(上限@1,240) | 初任者研修 | @1,250 |
| 簿記2,3級 | @1,100～(上限@1,340) | 簿記2,3級 | @1,250 |
| 資格無し | @1,080～(上限@1,100) | 資格無し | @1,150 |

※ 令和元年10月の最低賃金改定額の時給単価の括弧内の数値は、勤務経験年数加算（最大12年）を加味した時給単価である。この勤務経験年数による加算制度は、今回の時給単価の大幅な引き上げに伴い廃止した。

但し、現行時給が改定時給を上回る場合は、現行時給を保障する。

ク 福祉・介護職員処遇改善加算について

令和元年度も福祉・介護職員に対して処遇改善加算が実施されたことから、東京都等に対して処遇改善加算の申請を行った。具体的な処遇改善の加算内容は以下のとおりである。

- (ア) 正規職員について、平成26年度にいわゆる通し号俸制から職務職階制に切替えた際の職務職階制を上回った分の現給補償額を処遇改善の加算対象とした。
- (イ) 職務職階制が適用されている職員の定期昇給額並びに特別昇給額を処遇改善の加算対象とした。
- (ウ) 平成30年度から実施した国家資格等を保有する正規職員に対する最大6号給の号給加算制度による加算した号給分を処遇改善の加算対象とした。
- (エ) 借家に居住する正規職員に対して実施する住居手当の改正については、12,000円から支給上限25,000円に引き上げた差額分を処遇改善の加算対象とした。
- (オ) 非常勤職員の時給について、国が示した最低賃金を基礎額とし、非常勤職員の確保が困難な場合はこの基礎額に5%の上乗せ加算した額を当法人の最低時給としていることから、この上乗せ加算した額を処遇改善の加算対象とした。さらに、平成29年度に導入した国家資格等保有者に対する処遇改善及び学歴・経験年数の処遇改善並びに特別昇給額及び、令和元年12月に行った非常勤職員確保のための大幅な時給上乗せ改定も加算対象とした。

ケ 早期退職勧奨規程の創設

当法人の正規職員の人員構成としては、50歳以上の職員が全体の45%以上を占めている一方で、30歳代以下の職員が25%以下に留まり、職員構成が高齢化の傾向にあり、法人の人件費率は66.8%（令和元年度決算）となっている。

今後、施設改築の必要性があり、法人経営が厳しくなることが見込まれることから、人件費の抑制を図るために、在職 20 年以上の者であって、かつ年齢が 55 歳以上の職員のうち、理事長が必要と認めた者に対して早期退職勧奨を行う、早期退職勧奨制度実施要綱を作成し、平成 31 年 4 月 1 日から施行している。

本制度の実施によって、年齢が高く、年収が多い者が退職することによって人件費の削減効果が大きく表われ、かつこの削減経費によって、若い職員を 2～3 名は雇用できることになり、当法人の職員の年齢構成の若返りが図られることになる。

なお、本件は本人の同意がある場合に限って実施するものであり、平成 31 年 3 月 22 日に労使間で合意している。

令和元年度においては、対象者のうち配置基準等を考慮して選考した職員に対し打診したが、同意する者はいなかった。

7 福祉開発振興援助事業の実施

社会福祉に関する先駆的・開拓的な研究・企画・調査・実践活動等を行う団体等に対して援助を行った。

令和 2 年度に実施される事業について、令和元年 6 月 25 日に第 1 回選考委員会を開催し、募集要項を決定するとともに、令和元年度においては一般募集 8 件、追加募集 1 件の承認であったことを踏まえて、引続き、黎明会ホームページへの掲載、社会福祉協議会への募集チラシ配布依頼、福祉新聞への掲載などでの公募を行うとともに、さらに広報の充実を図ることを検討することとした。

なお、令和元年度に実施される事業についても、同様に追加募集を行った。

また、令和 2 年度から援助額上限 50 万円を、特に必要と認められる場合に限り、最大 80 万円程度を限度として援助することとした。

さらなる広報の充実として、小平市社会福祉協議会を通じて近隣の社会福祉協議会にもチラシを置いていただいた。また、新たな広報の取り組みとして、小平市市民活動支援センターに登録した市民活動団体へ F A X 又はメールで募集要項を送り周知を図った。

令和元年 11 月 7 日に開催された第 2 回選考委員会の審議では、令和 2 年度一般募集については 9 件 (3,960,000 円)、令和元年度追加募集については 5 件が承認され、理事長決定と合わせて 7 件 (2,284,000 円) が承認された。令和元年度は合計 15 件 (5,724,000 円) の援助となった。

・スケジュール

| | |
|--------------------|-----------------------|
| 第 1 回福祉開発選考委員会 | 令和元年 6 月 25 日開催 |
| 援助対象事業募集 (追加募集を含む) | 令和元年 8 月 1 日～9 月 30 日 |
| 第 2 回福祉開発選考委員会 | 令和元年 11 月 7 日開催 |
| 援助対象事業発表 | 令和元年 12 月 |
| 援助金交付 | 令和 2 年 4 月 |

* 福祉開発振興援助事業 援助決定実績

| 対象年度 | | 援助団体名 | 援助額 | 援助合計額 |
|-----------------|------|-----------------------------------|-------|---------|
| 平成29年度 | 一般募集 | ① 公益財団法人 全国篤志面接委員連盟 | 500千円 | 5,425千円 |
| | | ② 公益財団法人 国際障害者年記念ナイスハート基金 | 500千円 | |
| | | ③ NPO法人日本福祉囲碁協会 | 500千円 | |
| | | ④ 一般社団法人 脳障害がいファミリーサポートMarble | 300千円 | |
| | | ⑤ NPO法人こだいら自由遊びの会 | 500千円 | |
| | | ⑥ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪府支部 | 300千円 | |
| | | ⑦ ハートフルママ(東京成徳短期大学) | 500千円 | |
| | 追加募集 | ⑧ 神奈川県身体障害者施設協会 | 500千円 | |
| | | ⑨ 環境福祉学会 | 500千円 | |
| | | ⑩ 社会福祉法人 健成会 老人福祉センター ウェルネススクエア和楽 | 500千円 | |
| | | ⑪ 社会福祉法人 黎明会 のぞみ作業所 | 450千円 | |
| | | ⑫ 社会福祉事業・制度調査研究委員会 | 375千円 | |
| 平成30年度 | 一般募集 | ① 公益財団法人 全国篤志面接委員連盟 | 500千円 | 5,420千円 |
| | | ② 一般社団法人 グリーンボード | 500千円 | |
| | | ③ 公益財団法人 国際障害者年記念ナイスハート基金 | 500千円 | |
| | | ④ 社会福祉法人 日本盲人職能開発センター | 500千円 | |
| | | ⑤ 任意団体 寺子屋こどもの未来 | 500千円 | |
| | 追加募集 | ⑥ NPO法人こだいら自由遊びの会 | 500千円 | |
| | | ⑦ 認定NPO法人 ぽすけあいの会 ふれあいネットまつど | 500千円 | |
| | | ⑧ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪府支部 | 150千円 | |
| | | ⑨ 傾聴ボランティアサークル「梨〜風」 | 60千円 | |
| | | ⑩ みどりの森保育園 ママさんプラス | 210千円 | |
| | | ⑪ 社会福祉法人 黎明会 指定就労継続支援B型事業所 のぞみ作業所 | 500千円 | |
| | | ⑫ 一般社団法人 ファミリーネットワーク研究会 | 500千円 | |
| | | ⑬ 社会福祉法人 トット基金 トット文化館 | 500千円 | |
| 平成31年度 令和元年度 | 一般募集 | ① 公益財団法人 国際障害者年記念 ナイスハート基金 | 500千円 | 5,724千円 |
| | | ② 障害者週間のつどい 実行委員会(任意団体) | 450千円 | |
| | | ③ 一般社団法人 団グリーンボード | 500千円 | |
| | | ④ 公益財団法人 全国篤志面接委員連盟 | 500千円 | |
| | | ⑤ 一般社団法人 脳障害がいファミリーサポートMarble | 340千円 | |
| | | ⑥ 東大和市レクリエーション協会(ボランティア団体) | 500千円 | |
| | | ⑦ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪府支部 | 450千円 | |
| | | ⑧ NPO法人 寺子屋こどもの未来 | 200千円 | |
| | 追加募集 | ⑨ 社会福祉法人 日本点字図書館 | 444千円 | |
| | | ⑩ NPO法人 両全トウネサーレ | 500千円 | |
| | | ⑪ 一般社団法人 日本色彩環境福祉協会 | 300千円 | |
| | | ⑫ NPO法人 居場所 | 90千円 | |
| | | ⑬ 働く障害者のつどい | 50千円 | |
| | | ⑭ NPO法人 ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会 | 400千円 | |
| | | ⑮ 社会福祉法人 トット基金 トット文化館 | 500千円 | |
| 令和2年度 | 一般募集 | ① 公益財団法人 国際障害者年記念 ナイスハート基金 | 500千円 | 3,960千円 |
| | | ② 障害者週間のつどい 実行委員会(任意団体) | 450千円 | |
| | | ③ 一般社団法人 脳障害がいファミリーサポートMarble | 380千円 | |
| | | ④ 東大和市レクリエーション協会(ボランティア団体) | 500千円 | |
| | | ⑤ NPO法人 寺子屋こどもの未来 | 500千円 | |
| | | ⑥ NPO法人 両全トウネサーレ | 500千円 | |
| | | ⑦ NPO法人 ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会 | 400千円 | |
| | | ⑧ NPO法人 サポートクラブあすなろ | 230千円 | |
| | | ⑨ 公益財団法人 全国篤志面接委員連盟 | 500千円 | |

8 契約事務の適正化等

契約事務については、平成 26 年度から適正化を進めているところであるが、令和元年度も一層の適正な執行に努めた。

(参考) 令和元年度における主な入札結果

| 入札案件 | | 実施日 | 予定価格 | 落札金額 |
|---------------------------|-------------------------------------|-------|------------|-----------|
| 南台病院 | 一般撮影 F P D システム導入における入札 | 5/20 | 20,470 千円 | 16,100 千円 |
| 南台病院 | デジタルカラー複合機入替に係る入札 | 5/31 | 4,635 千円 | 2,421 千円 |
| 南台病院 | 一般撮影 F P D システム入替に伴うファイナンス・リース契約の入札 | 6/14 | 8,878 千円 | 8,834 千円 |
| 南台病院 | 電子カルテシステム導入における入札 | 6/14 | 100,000 千円 | 97,800 千円 |
| 厨房除害設備整備工事に係る入札 | | 6/26 | 2,734 千円 | 2,450 千円 |
| 南台病院 | 電子カルテシステム導入に伴うファイナンス・リース契約の入札 | 7/12 | 65,542 千円 | 65,095 千円 |
| 熱海ゆとりあの郷 | 居室 5 室の改修工事・内装工事に係る入札 | 7/19 | 11,440 千円 | 7,500 千円 |
| P C リプレイスにおける入札 | | 7/26 | 58,140 千円 | 45,500 千円 |
| のぞみ作業所 | 屋上及び外壁防水等修繕工事 | 8/23 | 12,100 千円 | 10,800 千円 |
| P C リプレイスに伴うファイナンス・リース契約※ | | 8/30 | 45,168 千円 | 45,150 千円 |
| 南台病院 | 2 号館 2 階男子トイレ及び浴室改修工事※ | 10/31 | 2,976 千円 | 2,950 千円 |
| あかつき | 屋上及び塔屋防水工事にかかる入札 | 12/9 | 7,750 千円 | 6,850 千円 |
| あかつき | 4 階バルコニー防水工事 | 12/9 | 4,489 千円 | 4,050 千円 |
| 南台病院 | 臨床化学自動分析装置一式及び検体検査実施システムの入替※ | 2/17 | 21,329 千円 | 21,295 千円 |

※ 入札金額が予定価格を上回ったため、落札金額欄は随意契約の金額

9 人材育成と研修

(1) 職員への研修実施状況

令和元年度法人研修実績（施設別参加者数）

| 研修番号 | 分類 | 日時 | 研修名(対象者) | 黎明寮 | あかつき | 澄水園 | やすらぎ | 在宅 | けやき | 病院 | のぞみ | ゆとりあ | 本部 | 合計 |
|------|----------|---------------------|-------------------------------|-----|------|-----|------|----|-----|----|-----|------|----|----|
| 1 | 職階別研修 | 4月1日(月) | 新任研修① | 1 | 2 | 0 | 5 | 1 | 1 | 5 | 0 | 0 | 1 | 16 |
| 2 | | 4月2日(火) | 新任研修② | 0 | 2 | 0 | 4 | 1 | 1 | 5 | 0 | 0 | 1 | 14 |
| 3 | | 4月3日(水) | 新任研修③ | 1 | 2 | 0 | 4 | 1 | 1 | 6 | 0 | 3 | 1 | 19 |
| 4 | | 4月4日(木) | 新任研修④ | 0 | 2 | 0 | 4 | 1 | 2 | 6 | 0 | 1 | 0 | 16 |
| 5 | | 4月8日(月) | 新任研修⑤ | 0 | 2 | 0 | 4 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 6 | | 4月25日(木) | 役職者(係長以上)研修 | 3 | 9 | 8 | 5 | 7 | 4 | 14 | 0 | 3 | 7 | 60 |
| 7 | 専門研修 | 5月10日(金) | 実践研究研修① 実践研究発表を担当する者 | 3 | 2 | 3 | 6 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 0 | 26 |
| 8 | | 5月20日(月) | 権利擁護研修 (新人必須・希望者・未受講者) | 5 | 3 | 4 | 3 | 6 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 26 |
| 9 | | 5月22日(水) | 尊厳・自立・QOL向上研修 (高齢介護分野中核職員) | 0 | 0 | 2 | 10 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 21 |
| 10 | | 5月23日(木) | 尊厳・自立・QOL向上研修 (障害分野中核職員) | 7 | 4 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 22 |
| 11 | 職階別研修 | 5月28日(火) | 係長研修① | 9 | 7 | 9 | 5 | 6 | 6 | 5 | 1 | 0 | 2 | 50 |
| 12 | | 5月30日(木) | 課長研修① | 3 | 4 | 4 | 2 | 2 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 20 |
| 13 | | 6月13日(木) | 係長研修② | 8 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 8 | 1 | 0 | 0 | 43 |
| 14 | | 6月14日(金) | 課長研修② | 2 | 5 | 3 | 2 | 2 | 0 | 5 | 1 | 2 | 0 | 22 |
| 15 | | 6月20日(木) | 課長研修③ | 1 | 5 | 2 | 4 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 16 |
| 16 | | 7月3日(水) ~7月4日(木) | 新任研修④(宿泊研修) | 8 | 9 | 7 | 4 | 6 | 2 | 7 | 1 | 2 | 2 | 48 |
| 17 | 7月11日(木) | 勤続3年目研修 | 1 | 0 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 10 | |
| 18 | 専門研修 | 7月12日(金) | 実践研究研修② 実践研究発表を担当する者 | 5 | 3 | 3 | 6 | 3 | 2 | 4 | 3 | 0 | 2 | 31 |
| 19 | | 7月24日(水) | 労働法・労務管理セミナー (事務担当者・希望者) | 3 | 2 | 3 | 5 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 4 | 27 |
| 20 | 職 | 7月29日(月) | 勤続5年目研修 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 11 |

令和元年度法人研修実績（施設別参加者数）

| 研修番号 | 分類 | 日時 | 研修名(対象者) | 黎明寮 | あかつき | 澄水園 | やすらぎ | 在宅 | けやき | 病院 | のぞみ | ゆとりあ | 本部 | 合計 |
|------|-------|----------------|------------------------------|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|------|----|-----|
| 21 | 専門研修 | 8月1日(木) | 資格取得動機づけ研修 (国家資格取得希望者) | 2 | 3 | 1 | 2 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 16 |
| 22 | | 8月29日(木) | クレーム応対研修 (事務窓口・相談員・役職者) | 4 | 9 | 6 | 6 | 10 | 2 | 5 | 0 | 1 | 1 | 44 |
| 23 | 職階別研修 | 9月13日(金) | 財務管理研修 (会計経理・希望者含む) | 0 | 6 | 12 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 24 |
| 24 | | 9月20日(金) | 勤続4年目研修 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 8 |
| 25 | | 10月2日(水) | 新任フォローアップ | 0 | 2 | 1 | 5 | 1 | 4 | 2 | 0 | 2 | 0 | 17 |
| 26 | | 10月3日(木) | 新任フォローアップ | 0 | 2 | 1 | 5 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 14 |
| 27 | | 10月11日(金) | 財務管理研修 (会計経理・希望者含む) | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 2 | 2 | 12 |
| 28 | | 10月17日(木) | 勤続6年目研修 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 10 |
| 29 | | 10月21日(月) | 財務管理研修 (会計経理・希望者含む) | 0 | 0 | 0 | 6 | 7 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 16 |
| 30 | 専門研修 | 10月23日(水) | 感染症防止対策研修 (新人必須・希望者・未受講者) | 3 | 5 | 2 | 9 | 8 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 31 |
| 31 | | 10月30日(水) | 実践研究研修③ 実践研究発表を担当する者 | 5 | 3 | 3 | 6 | 3 | 2 | 4 | 3 | 0 | 1 | 30 |
| 32 | 職 | 11月7日(木) 中止 | 勤続10年・15年目研修 | | | | | | | | | | | 0 |
| 33 | 専門研修 | 11月18日(月) | リスクマネジメント研修 (管理職・希望者) | 6 | 5 | 2 | 1 | 7 | 1 | 1 | | 1 | 2 | 26 |
| 34 | | 11月28日(木) | 実践研究発表大会(全職員) | 9 | 18 | 18 | 14 | 13 | 9 | 7 | 4 | 3 | 8 | 103 |
| 35 | 職階別研修 | 2月5日(木) | 勤続20～22年目研修 | 2 | 5 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 15 |
| 36 | | 1月16日(木) | 勤続2年目研修 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 7 | 2 | 1 | 2 | 1 | 19 |
| 37 | 専門研修 | 2月26日(水) 延期 | マーケティング研修 (管理職・希望者) | | | | | | | | | | | |
| 38 | | 3月19日(木) 延期 | メンタルヘルス (新人必須・希望者・未受講者) | | | | | | | | | | | |
| 39 | | 随時 | 施設間交流研修 | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | 96 | 132 | 114 | 142 | 118 | 69 | 110 | 25 | 34 | 54 | 894 |

(2) 介護職員初任者研修

令和元年度は、第1回の介護職員初任者研修を平成31年4月7日から令和元年7月21日の期間で実施し、15名が修了した。

また、第2回の介護職員初任者研修は、令和元年10月6日から、令和2年1月26日の期間で実施し、9名が修了した。

(3) 介護福祉士実務者研修

社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、3年以上の実務経験を有する場合の受験資格には介護福祉士実務者研修の修了が義務付けられている。

黎明会としては介護福祉士を增強し、手厚く専門的な利用者処遇を確保するために「介護福祉士実務者研修養成講座」を新たに開設した。

第1回講座は令和元年7月1日から12月31日までの開講期間で実施し、受講生12名中11名が修了した。令和2年1月の介護福祉士国家試験には8名が挑戦し、7名が合格した。

(4) 実践研究発表大会の開催

黎明会の全職員が参加して日常業務の実践における課題の改善・解決に取り組む「実践研究発表大会」を令和元年11月28日に黎明ホールにて開催した。今年で10回目を迎えた実践研究発表大会は、例年以上に質の高い内容となった。ボランティアや地域住民の方なども見学に訪れ、熱心に聞き入る姿が見られた。成績は下表のとおりである。

| 順位 | 施設名 | 表題 |
|----|--------|---|
| 1位 | 黎明寮 | 黎明寮入所者の求める快適な居住空間の検討 |
| 2位 | あかつき | 精神障害に対する病気・障害の理解に向けた取り組みにおけるプログラムの効果に関する質的分析 ～SFAプログラムモジュール12を用いて～ |
| 3位 | のぞみ作業所 | のぞみ作業所における合理的配慮の取り組み ～生活支援・作業支援の現況調査から～ |

(5) 市民公開講座の実施

「健康増進」「健康寿命の伸展」をキーワードとして、黎明会のリハビリテーションスタッフによる公開講座を開催した。今回テーマの「膝の話」（令和元年10月26日開催）では、女性37名、男性3名の参加を得た。

講座では、膝の構造と疾病が起きる仕組みを学び、一番の対処法は体重減にあること、そして大腿四頭筋の筋力アップの方法を実践で紹介した。

10 利用者・入所者等サービス向上及び安全・安心確保への取り組み

(1) 感染症防止対策委員会

令和元年度も施設ごとに感染症予防に対する行動計画を策定し、感染対策チェックリストを活用し実施した。また、法人の感染症防止対策委員会を毎月、あるいは必要に応じて開催し、各施設における感染症の発生状況や対策の取り組みについて情報共有を行った。平常時の対策の重要性については各施設ともに感染症

マニュアルを整備し、感染症マニュアルに基づく防止策を高い意識をもって徹底して取り組むことができた。

また、感染症の発症時のアウトブレイク（同一時期多数発症）に対する対策や取り組みについては、法人感染症防止対策委員会や感染管理認定看護師等との連携により適切に感染拡大防止策が図られた。

令和元年度の感染症発症状況は、以下の表のとおり。

令和元年度 法人内（利用者・職員）感染症発症状況

| 施設 感染症 | 法人本部 | 在宅サービス総合センター | 澄水園 | 黎明寮 | あかつき | やすらぎの園 | 南台病院 | のぞみ作業所 | けやきの郷 | 熱海ゆとりあの郷 | 合計 | 平成30年度 |
|-----------|------|--------------|-----|-----|------|--------|------|--------|-------|----------|----|--------|
| インフルエンザA | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 5 | 26 | 2 | 5 | 2 | 45 | 79 |
| インフルエンザB | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 疥癬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| ノロウイルス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| 水痘 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 結核 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 流行性角結膜炎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 肺炎球菌感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 溶連菌感染症 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| ウイルス性胃腸炎 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 |
| CD感染症 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 |
| 合計 | 0 | 0 | 12 | 1 | 5 | 6 | 35 | 2 | 5 | 2 | 68 | 93 |

(2) 事業適正化委員会の開催

黎明会の事業全般を対象として、適切な福祉サービスの向上に努めるため外部の有識者（学識経験者2名、弁護士1名、民生委員・児童委員1名、元民生委員・児童委員1名）で構成する「事業適正化委員会」を開催した。

令和元年度は、令和元年12月18日に開催し、6事案について利用者からの苦情等への黎明会の対応などをご審議いただき、委員から黎明会の対応について適切に行われているとの評価がなされた。

(3) 東京都福祉サービス第三者評価の受審

各施設が提供するサービスの質の向上等のため、東京都福祉サービス第三者

評価を受審している。評価の視点が固定化しないように定期的に評価機関を変更しており、平成 28 年度までは「株式会社日本生活介護」、平成 29 年度から平成 30 年度までは「株式会社福祉規格総合研究所」、令和元年度からは「日本チャリティ協会」に変更して行っている。澄水園、黎明寮、あかつき、やすらぎの園、デイサービスやすらぎ、のぞみ作業所及びけやきの郷が受審した。

(4) 防災対策

防災管理委員会を毎月開催し、会全体と近隣の防災対策等について検討し、以下の対策を講じた。

なお、黎明会の防災に対する取り組みが評価され、小平消防署主催の表彰式（令和元年 11 月 13 日）において、広報業務協力功労を受賞した。

ア 非常時における小平地区の 10 日間分の燃料供給を確保できるように、平成 28 年 5 月に新東産業株式会社と覚書の締結を行った。また、同じく 10 日間分の食材及び食事提供を確保できるように、平成 28 年 7 月にエームサービス株式会社と協定書の締結を行った。

イ 黎明会では平成 28 年度に施設の利用者・入所者及び職員の安全確保のため入所・利用者等のプライバシーに配慮しつつ、食堂や廊下等の共用部分を中心に必要最小限の範囲で防犯カメラの設置を進めることとしていた。平成 28 年 7 月 26 日に発生した相模原の障がい者支援施設において、多数の入所者の殺傷事件が起きたことを受けて、救護施設及び障がい者支援施設に対して、防犯カメラの設置に対する国庫補助が行われることとなったことから、黎明寮及びあかつきにおいては、東京都の補助金交付の決定を受けて防犯カメラの設置を行った。

ウ 防火対象物点検（年 1 回、3 月）

エ 消防設備点検（年 2 回、7 月・1 月）

オ 東小川橋防災連の協力により黎明会総合防災訓練を実施

（秋季 令和元年 11 月 16 日実施、春季 令和 2 年 2 月 29 日中止※）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

カ 小平消防署自衛消防訓練審査会（令和元年 6 月 20 日）に黎明会自衛消防隊が参加し、男子隊が B コース 3 位、女子隊が C コース 3 位となった。

(5) 実習生・ボランティア受入れ状況

実習生は大学・専門学校等 32 校及び 6 機関（平成 30 年度 27 校 6 機関）から 312 名、延べ 1,570 名（平成 30 年度 341 名、延べ 1,593 名）を受入れ、専門職の育成に協力した。

ボランティアは 1,016 名、延べ 3,180 名（平成 30 年度 1,123 名、延べ 3,465 名）を受け入れた。

令和元年度 実習生受入れ状況一覧

| 学校名・機関名 | 黎明寮 | | あかつき | | 澄水園 | | やすらぎの園 | | のぞみ作業所 | | けやきの郷 | | 南台病院 | | 在宅サービス | | 合計 | |
|------------------------------------|-----|------|------|------|-----|------|--------|------|--------|------|-------|------|------|------|--------|------|-----|-------|
| | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 |
| 日本社会事業大学 | 2 | 48 | 2 | 48 | | | 1 | 12 | | | | | | | 3 | 70 | 8 | 178 |
| 白梅学園大学 | 2 | 35 | 2 | 23 | | | | | | | | | | | 1 | 23 | 5 | 81 |
| 埼玉学園大学 | | | | | 1 | 12 | | | | | | | | | | | 1 | 12 |
| 帝京大学 | | | | | 2 | 24 | | | | | | | | | | | 2 | 24 |
| 東京家政大学 | | | | | 1 | 12 | | | | | 14 | 56 | | | 4 | 23 | 19 | 91 |
| 淑徳大学 | | | | | | | 2 | 30 | | | | | | | | | 2 | 30 |
| 武蔵野美術大学 | | | | | | | 20 | 140 | | | 18 | 180 | | | | | 38 | 320 |
| 目白大学 | | | | | 1 | 12 | | | | | 2 | 17 | 1 | 5 | | | 4 | 34 |
| 東京医療保健大学 | | | | | | | | | | | 6 | 18 | | | 6 | 48 | 12 | 66 |
| 武蔵野大学 | 11 | 34 | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 34 |
| 創価大学 | 22 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | 22 | 22 |
| 東京医科歯科大学 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 |
| 日本女子大学 | 15 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | 15 | 15 |
| 東京女子体育大学 | | | | | | | | | 5 | 25 | | | | | | | 5 | 25 |
| 日本大学 | | | | | | | | | 1 | 5 | | | | | | | 1 | 5 |
| 明治大学 | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | 1 | 3 |
| 埼玉医科大学 | | | | | | | | | | | | 1 | 34 | | | | 1 | 34 |
| 短大 | | | | | | | | | 2 | 22 | | | | | | | 2 | 22 |
| 武蔵野短期大学 | | | | | 2 | 24 | | | | | | | | | | | 2 | 24 |
| 専門学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京国際福祉専門学校 | 1 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 |
| 貞静学園保育専門学校 | | | | | 2 | 20 | | | | | | | | | | | 2 | 20 |
| 大原学園 | | | | | 2 | 24 | 4 | 67 | | | 6 | 95 | | | | | 12 | 186 |
| 東京心理音楽療法福祉専門学校 | | | | | | | | | | 1 | 10 | | | | | | 1 | 10 |
| 日本リハビリテーション専門学校 | | | | | | | | | | | | 6 | 49 | | | | 6 | 49 |
| 日本福祉教育専門学校 | 1 | 24 | | | | | 2 | 50 | | | | | | | | | 3 | 74 |
| 首都医校 | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 26 | 4 | 26 |
| 中学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小平第二中学校 | | | | | | | 32 | 35 | | | 28 | 28 | | | | | 60 | 63 |
| 小平第三中学校 | | | | | | | | | | | 3 | 12 | | | | | 3 | 12 |
| 小平第五中学校 | | | | | | | | | | | 4 | 16 | 3 | 3 | | | 7 | 19 |
| 小平第六中学校 | | | | | | | | | 1 | 5 | | | | | | | 1 | 5 |
| 東村山第一中学校 | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | 1 | 2 |
| 創価中学校 | | | | | | | | | 3 | 12 | | | | | | | 3 | 12 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小平市職員体験研修 | | | | | | | | | | | 3 | 3 | | | | | 3 | 3 |
| 介護職員初任者研修 | | | | | | | 14 | 14 | | | 11 | 11 | | | 17 | 17 | 42 | 42 |
| 教員課程実習 | | | 1 | 7 | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 |
| 西東京自立支援センター | | | | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| <small>称学情</small> 福祉インターンシップ運営事務局 | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | 1 | 3 |
| 福祉人材センター（体験） | | | | | | | 3 | 3 | | | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 6 | 6 |
| 年度合計(全32校6機関) | 54 | 185 | 5 | 78 | 14 | 131 | 78 | 351 | 14 | 74 | 99 | 451 | 12 | 92 | 36 | 208 | 312 | 1,570 |

令和元年度ボランティア受入れ状況

| 活動内容 | 黎明寮 | | あかつき | | 澄水園 | | やすらぎの園 | | のぞみ作業所 | | けやきの郷 | | 南台病院 | | 合 計 | |
|--------------|-----|------|------|------|-----|------|--------|-------|--------|------|-------|------|------|------|-------|-------|
| | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 | 人数 | のべ人数 |
| のぞみ祭り | | | | | | | | | 58 | 58 | | | | | 58 | 58 |
| 理美容 | 4 | 44 | | | 1 | 8 | | | | | | | | | 5 | 52 |
| メイク教室 | 2 | 20 | 1 | 20 | | | | | | | | | | | 3 | 40 |
| リネン交換 | | | | | | | 95 | 167 | | | | | | | 95 | 167 |
| タオルたたみ | | | | | | | | | | | 3 | 214 | | | 3 | 214 |
| 小平西高 | | | | | | | | | | | 6 | 6 | | | 6 | 6 |
| マッサージ | 1 | 11 | 1 | 10 | | | 69 | 69 | | | | | | | 71 | 90 |
| 行事 | | | | | | | 10 | 60 | | | | | | | 10 | 60 |
| オカリナ演奏 | | | | | | | 8 | 8 | | | 1 | 6 | 22 | 22 | 31 | 36 |
| タンゴセラピー | 3 | 33 | | | | | | | | | | | | | 3 | 33 |
| セラピードック | 5 | 50 | | | | | | | | | | | | | 5 | 50 |
| 軽運動 | 2 | 15 | | | | | | | | | | | | | 2 | 15 |
| ドライブ | 2 | 22 | | | | | | | | | | | | | 2 | 22 |
| 足湯 | 2 | 4 | | | | | | | | | | | | | 2 | 4 |
| その他 | | | | | 3 | 15 | | | | | 3 | 3 | | | 6 | 18 |
| 令和元年度合計(全種類) | 108 | 683 | 21 | 213 | 47 | 208 | 640 | 1,191 | 58 | 58 | 96 | 781 | 46 | 46 | 1,016 | 3,180 |

【2】在宅サービス総合センター

1 施設の運営方針

地域包括ケアシステムの構築に向けて、令和元年度も引き続き高齢者の在宅ケアの充実強化と、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの提供体制整備の推進、中重度の在宅要介護者の医療・介護体制の整備を行ってきた。

地域住民が地域づくりの主体となるためのサポート体制を整え、在宅の独居・高齢者のみの世帯の在宅介護の確立、ターミナルケースの対応を充実させた。

職員教育においては介護サービスの質の向上を目的として、訪問介護職員（登録ヘルパー）の計画的な研修（身体介護）を行い、幅広い内容の介護が提供できるようにした。

2 利用・収支等の状況

(1) 全体の収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収入 | 263,898千円 | 261,369千円 | 258,271千円 | 261,198千円 | 101.1% |
| 支出 | 263,726千円 | 259,912千円 | 256,319千円 | 260,538千円 | 101.6% |
| 収支差額 | 172千円 | 1,457千円 | 1,952千円 | 660千円 | - |

令和元年度決算額の収入には、施設整備等積立資産取崩額(6,008千円)を含む。

※人件費の状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 人件費率 | 82.0% | 86.0% | 90.1% | 93.5% | 95.6% |
| 金額 | 182,496千円 | 201,282千円 | 222,997千円 | 234,319千円 | 231,182千円 |
| 対前年度 増減額 | - | 18,786千円 | 21,715千円 | 11,322千円 | ▲3,137千円 |

(2) 全体の人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 ① | 運用必要人員数 ② | 運用必要総数 ①+② A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|-------------------------|--------------|---------------|-----------------|--------------|--------------------|-------------------|-------|--------------|--------------------|------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 ③ | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 ④ | 実人員数 ③+④ B | |
| 施設長 | | | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 理学療法士 | | 2.0 | 2.0 | | 2.0 | 2.0 | | | | 2.0 | 0.0 |
| 看護師 | 9.0 | | 9.0 | | 9.0 | 8.0 | | | | 8.0 | ▲1.0 |
| 事務員 | | | | 3.0 | 3.0 | 1.0 | 3.0 | | 2.3 | 3.3 | 0.3 |
| 相談支援員 | 3.0 | | 3.0 | | 3.0 | 2.1 | | | | 2.1 | ▲0.9 |
| 介護支援 専門員 | 14.0 | 1.0 | 15.0 | | 15.0 | 13.9 | 1.0 | | 0.9 | 14.8 | ▲0.2 |
| 介護職員 利用者数 92.9人/月 | 3.0 | 3.0 | 6.0 | | 6.0 | 2.0 | 19.0 | | 6.5 | 8.5 | 2.5 |
| 合 計 | 29.0 | 6.0 | 35.0 | 4.0 | 39.0 | 30.0 | 23.0 | 0.0 | 9.7 | 39.7 | 0.7 |

※ 介護職員は1名あたり1日の訪問件数を6.2件とすると、1日45件を達成するには7.3名必要となる。そのほかコーディネーターとしてサービス提供責任者が利用者40名当たり1名必要となる。

3 人材育成

令和元年度は次の各研修を受講したほか、各研修受講後は、その内容に応じ、研修受講者を講師として職場内で伝達講習を実施した。

(1) 法人内研修会

専門研修 : 計12回、延べ67名参加

職階別研修 : 計20回、延べ51名参加

(2) 外部研修会等

- ア 小平市地域包括支援センター：権利擁護研修 2 名、高齢者虐待防止研修 3 回、延べ 8 回参加、主任介護支援専門員更新研修 1 名
- イ 居宅介護支援事業所：小平市ケアマネ連絡協議会主催の研修に計 8 回参加
介護支援専門員更新研修 2 名、主任介護支援専門員研修 1 名、高齢者虐待防止研修 1 名
- ウ 訪問看護ステーション：訪問看護事業協会主催難病患者訪問看護研修ほか計 14 回、延べ 23 名参加
- エ 地域生活支援センター澄水：強度行動障害支援者養成研修、医療的ケア児コーディネーター養成研修、相談支援従事者初任者研修。
- オ 訪問介護ステーション：小平市医療介護連携推進協議会主催の研修に計 5 回、延べ 26 名参加。
- カ 地域ネットワーク強化のため、多摩在宅ケアネットワークや小平市在宅医療介護連携推進協議会の勉強会に各事業所から参加した。

4 利用者に対する虐待防止と権利擁護

各事業所で、「虐待の芽チェックリスト」（東京都福祉保健財団高齢者権利擁護支援センター作成）を用いて年 1 回自己点検をし、職員の意識レベルを測定し、その結果をもとに職場内での意識向上に努めた。

地域包括支援センターは権利擁護テーマ研修（セルフネグレクトへの支援）に 1 名参加し、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、訪問介護ステーションにおいては職員が東京都福祉保健財団主催の高齢者虐待防止研修に参加、その後、職場内学習会で伝達講習を行った。

【2-1】小平市地域包括支援センター けやきの郷

1 施設の運営方針

地域包括ケアシステムの施策として、生活支援コーディネーターを中心に、地域資源の開発やネットワークの構築を行い地域づくりの体制を整備し、地域住民の居場所づくりや介護予防（体操教室）を実施し、住民が自主的に参画できるように支援した。また、認知症対策の総合的な推進のため、早期発見に向け認知症初期集中支援チームとの連携や認知症家族を支える地域づくりに取り組んだ。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用件数

| | 事業計画 | 実績 | 達成率 |
|-----------------|----------------------|----------------------|--------|
| 予防ケアプラン 作成件数 | 3,600 件 (月 300 件) | 3,723 件 (月 310 件) | 103.4% |

(2) 収支状況

| | 平成 30 年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|-----------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収入 | 66,836 千円 | 67,300 千円 | 67,237 千円 | 68,635 千円 | 102.1% |
| 支出 | 68,047 千円 | 66,792 千円 | 67,021 千円 | 67,696 千円 | 101.0% |
| 収支差額 | ▲1,211 千円 | 508 千円 | 216 千円 | 939 千円 | - |

(3) 人員配置（令和元年 3 月 31 日時点）

9 名（内訳：正規職員 8 名・非常勤職員 1 名）

3 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 総合相談支援・介護予防ケアマネジメントの適切な業務実施

3,568 件の総合相談と介護予防ケアマネジメントに対応した。

(2) 介護予防講座等の積極的な実施

ア 二次予防講座（体操教室）：週 2 回（計 86 回、延べ 2,046 名参加）、脳の健康教室：週 1 回（令和 2 年 1 月より自主化：計 37 回、延べ 758 名参加）、家族介護教室（年 1 回、26 名参加）を開催した。

イ 認知症カフェ「けやきかふえ」：月 1 回（計 10 回、延べ 261 名）開催した。

(3) 介護予防見守りボランティアの活動支援

交流会・連絡会（計 5 回、延べ 163 名参加）を開催した。

(4) 在宅サービス総合センター内の連携強化

訪問看護ステーションをはじめ訪問介護ステーション、指定居宅介護支援事業所との相談や連携を密にし、緊急対応が必要な相談者や問題を抱える相談者に適切なサービスを提供した。また、MCS（メディカルケアステーション）を導入し情報共有を行い業務の効率化を図った。

4 収支の安定確保

小平市からの受託事業収入を有効活用し、介護予防ケアプラン作成等に努めた。

【2-2】指定居宅介護支援事業所

1 施設の運営方針

特定事業所として適正なケアマネジメント提供のため、個別研修計画を作成し専門的知識やマネジメントの向上等を行い、介護支援専門員の資質強化を行った。地域の医療と介護の役割分担や連携強化を図ることから、地域会議等の参加、相互研鑽を行い、主任介護支援専門員を中心に多様性のあるケアマネジメントに対応できる体制とした。

さらに、小平ケアマネ連絡会の役員となったことで、小平市ケアプラン点検事業に参画し地域の介護支援専門員の教育的役割を担った。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用件数

| | 事業計画 | 実績 | 達成率 |
|-----|----------------------|----------------------|-------|
| 利用数 | 2,640 件 (月 220 件) | 2,481 名 (月 207 件) | 93.9% |

(2) 収支状況

| | 平成 30 年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|-----------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収 入 | 43,979 千円 | 43,910 千円 | 43,626 千円 | 45,009 千円 | 103.1% |
| 支 出 | 41,798 千円 | 42,409 千円 | 42,211 千円 | 42,710 千円 | 101.1% |
| 収支差額 | 2,181 千円 | 1,501 千円 | 1,415 千円 | 2,299 千円 | - |

(3) 人員配置（令和 2 年 3 月 31 日時点）

7 名（内訳：正規職員 6 名・非常勤事務職員 1 名）

3 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 居宅介護支援事業所内のチーム連携強化

多様化する在宅ケアへの取り組みとして、利用者が円滑にサービスを利用できるよう指定居宅介護支援事業所と小平市地域包括支援センターけやきの郷との情報交換・収集を強化し、迅速なケアマネジメントを実施した。

特に医療ニーズ（ターミナル期を含む）の高い利用者が13名と多くみられ、訪問看護ステーションや訪問介護ステーションと連携・協働し、質の高い的確なケアプランを作成することができた。

(2) 利用者・家族アンケートの実施

令和元年12月、利用者・家族を対象にアンケート（配布181件・回収97件・回収率54%）を実施した。今回のアンケート項目の「ケアマネジャーのプラン内容はわかりやすいですか？」の質問に対して「わかりやすい」が77%「だいたいわかった」21%であったため、次年度は、一人でも多くの方に「わかりやすい」と答えて頂けるよう一つ一つ丁寧な説明を心掛け更なる信頼構築に向け努力していく。

4 収支の安定確保

(1) 特定事業所加算Ⅱの取得

指定居宅介護支援事業所の特定事業所加算Ⅱの加算要件を充たすため、24時間連絡体制の確保、専従主任介護支援専門員の配置、サービス提供のための留意事項に係る伝達等を目的とした会議を毎週一回開催する等の運営の整備を行い年間10,966千円の収入を確保できた。

今年度は介護支援専門員実務研修の実習生の依頼はなかったが、新たに、首都医校の看護学生実習依頼を受け、在宅介護における介護支援専門員の重要な役割について指導することができた。

(2) 特定事業所集中減算の管理

居宅サービス計画に位置付けられた訪問介護サービス等の提供総数のうち同一事業内で提供されたサービスが80%以上にならないよう、毎月の訪問介護サービスの提供状況の管理を徹底した。

【2-3】みなみだい訪問看護ステーション

1 施設の運営方針

みなみだい訪問看護ステーション事業所とサテライト事業所との協力体制を再整備するために訪問スケジュールの一体管理、テレビ会議によるミーティングを導入し、終日の緊急訪問体制がスムーズに行うことができるようにした。さらに介護支援専門員や訪問介護とのターミナル期や中重度者への対応の連携を図り、利用者が安心して終末医療を受けられるような体制を強化した。

理学療法士の退職に伴い、一時収入減となったが新職員の雇用により年度末には利用者の増加、収益増となっている。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用件数

| | 事業計画 | 実績 | 達成率 |
|------|-------------------------|------------------------|-------|
| 訪問件数 | 10,440 件 (月 870 件以上) | 9,669 件 (月 805.8 件) | 92.6% |

(2) 収支状況

| | 平成 30 年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|-----------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収入 | 90,553 千円 | 92,723 千円 | 90,639 千円 | 84,752 千円 | 93.5% |
| 支出 | 96,067 千円 | 92,566 千円 | 90,513 千円 | 90,552 千円 | 100.0% |
| 収支差額 | ▲5,514 千円 | 157 千円 | 126 千円 | ▲5,800 千円 | - |

(3) 人員配置 (令和 2 年 3 月 31 日時点)

12 名 (内訳: 正規職員 11 名・非常勤職員 1 名)

3 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 利用者要望に対応するための効率的な業務実施体制の整備

ア ICTの活用促進により、みなみだい訪問看護ステーション事業所とサテライト事業所との協力体制を強化することで独居のターミナルの看取りや利用者の要望に対応するための効率的な業務体制を整備できた。

イ 当センターの介護支援専門員や訪問介護ステーションとの連携強化を図ったことにより、看取りや医療依存度の高い利用者のニーズへの対応が継続できた。

(2) 情報共有システムの活用

本体とサテライト間でMC S（メディカルケアステーション）や電子カルテの共有、ミーティングをテレビ電話で行うことで、より情報共有がスムーズとなり利用者サービスの充実が図られた。

(3) 利用者アンケート調査の実施

利用者に対し、令和2年3月に実施（163件配布・127件回収・回収率78%）したところ、看護技術などに関する意見は特になく精神面での相談、アドバイスに安心や心強さを感じたと感謝の言葉が多くあった。

4 収支の安定確保

(1) 関係機関との情報共有と地域連携により利用者を確保

理学療法士の入職に伴い、訪問看護のパフレットを作成し、地域の病院医療連携室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所を訪問し、利用者の獲得とともに収益の確保に努めた。

(2) 機能強化型訪問看護ステーション加算の取得に向けて

24時間ターミナルケア体制（年間看取り件数15名）の加算取得ができるよう、地域の医療、介護サービス事業所との連携を図り看取り看護を行った。（令和2年3月末：8名）

【2-4】地域生活支援センター 澄水

1 施設の運営方針

自立支援協議会、地域の事業所との連携を重ね、情報共有、業務体制の構築を図ってきた。利用者ニーズを踏まえ、行き届いた計画相談を目指すため、より細やかな支援、質の向上から利用者を170件とした。（平成30年度180件）

令和元年度まで、地域移行を行った利用者の計画相談を継続し、2名の地域定着支援を実施した。

また、緊急連絡体制を継続し、緊急時の相談や訪問体制を整え、支援を行った。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | | 事業計画 | 実績 | 達成率 |
|-----------|-----------|------|------|--------|
| 一般相談 | 地域移行件数 | 2件 | 0件 | 0.0% |
| | 地域定着支援件数 | 12件 | 11件 | 91.7% |
| 特定相談 | サービス等利用計画 | 90件 | 65件 | 72.2% |
| | モニタリング報告書 | 120件 | 160件 | 133.3% |
| 指定障害児相談事業 | サービス等利用計画 | 20件 | 30件 | 150.0% |
| | モニタリング報告書 | 30件 | 28件 | 93.3% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収入 | 17,866千円 | 18,532千円 | 17,865千円 | 17,504千円 | 98.0% |
| 支出 | 15,400千円 | 19,675千円 | 19,435千円 | 17,998千円 | 92.6% |
| 収支差額 | 2,466千円 | ▲1,143千円 | ▲1,570千円 | ▲494千円 | - |

(3) 人員配置（令和2年3月31日時点）

3名（内訳：正規職員2名・兼務職員1名）

3 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

障がいのある方が、障害者総合支援法や、他法のサービス利用も検討しながら、本人のニーズや希望に沿った計画相談を行った。地域定着支援では在宅で一人暮らしをしている方2名を対象として、24時間体制での連絡網を構築し、緊急時には訪問できる体制で、在宅生活を支援している。

4 収支の安定確保

(1) 特定相談・障害児相談・一般相談において、現利用者の計画相談・モニタリングを継続し安定した収入確保に努めた。

(2) 計画相談支援・障害児相談支援における体制加算を昨年度末から今年度にかけて取得できた。

精神障害者支援体制加算・行動障害支援体制加算・要医療児支援体制加算

(3) 特定事業所加算Ⅳの取得に向けて体制を整えるため以下の準備をした。

- ア 相談支援専門員 2 名配置(1 名は相談支援従業者現任研修を修了していること)
- イ 利用者の情報又はサービス提供において定期的な会議の開催
- ウ 相談支援専門員に対する現任研修修了相談員の同行訪問
- エ 基幹相談支援センター等からの困難事例の受け入れ相談
- オ 基幹相談支援センター等が実施する事例検討会への参加
- カ 相談支援専門員一人当たりの利用支援又は継続サービス利用支援が月 40 件未滿

【2-5】訪問介護ステーションみなみだい

1 施設の運営方針

利用者の受け入れ体制の拡充を図るために、サービス提供責任者を 2 名増員したことで、利用者数の増加、訪問件数の増加となった。法人内の小平市地域包括支援センターけやきの郷、居宅介護支援事業所、みなみだい訪問看護ステーションと連携し、利用者の情報共有をしながら、ニーズに合ったサービスを迅速に提供することができた。また、令和 2 年 3 月よりカルテを ICT 化し業務調整や作業の効率化を図った。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用件数

| | 事業計画 | 実績 | 達成率 |
|------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 訪問件数 | 10,800 件 (月 900 件) | 11,697 件 (月 974 件) | 108.3% |

(2) 収支状況

| | 平成 30 年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|-----------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収入 | 41,252 千円 | 38,904 千円 | 38,904 千円 | 45,298 千円 | 116.4% |
| 支出 | 38,055 千円 | 38,470 千円 | 37,139 千円 | 41,582 千円 | 112.0% |
| 収支差額 | 3,197 千円 | 434 千円 | 1,765 千円 | 3,716 千円 | - |

(3) 人員配置 (令和 2 年 3 月 31 日時点)

21 名 (内訳: 正規職員 2 名・非常勤職員 4 名・登録ヘルパー 14 名・非常勤事務員 1 名)

3 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 在宅利用者の身体ケアの充実

重介護状態の利用者の身体介護サービスを適切に行えるように、月1回の事業所内研修を計画し、介護職員全員が参加することとした。そのことで訪問介護員の技術と知識の向上が図れ、身体介護の需要に応じることができた。また、研修参加の意欲が介護福祉士受験につながり本年度受験したすべての訪問介護員（7名）が合格することができた。

(2) 在宅サービス関連部門での情報共有を図るシステムの導入

法人内のサービス事業所との連携強化のためにMCS（メディカルケアステーション）による情報共有を行い、業務においては作業効率が上がり、連絡調整においても迅速な対応ができた。

また、令和2年3月よりICTの導入を開始し、利用者の状態や注意事項等、情報共有ができることで業務改善を図った。

(3) 利用者アンケート調査を実施

利用者に対し、令和2年1月に実施（98件配布・63件回収・回収率64.2%）した。結果として、生活支援の中で介護保険対象のサービスと介護保険対象外のサービスがある事が理解されていないことがわかった。また、ヘルパーによって家事支援の手順に違いがあるとの指摘があり、令和2年3月に家事支援（介護保険サービスについて）のあり方に関して検討し、改善策として家事支援の手順のルールを策定した。

4 収支の安定確保

(1) 月ごとに収入単位数集計の管理を行い、各職員別実績集計を行うことで適正な業務管理が実施できた。

(2) 小平市生活サポーター養成講座修了者を雇用し、要支援者の生活援助を担当してもらうことで業務分担を図り、効率的なヘルパー派遣ができるようになった。

【2-6】住宅・福祉用具相談取次事業

1 利用・収支等の状況

在宅サービス利用者やその相談者の生活環境、特に住宅改修の相談取次窓口として、小平市地域包括支援センターけやきの郷や居宅介護支援事業所に情報提供し、小平市居宅介護支援事業者等に対する助成金（住宅改修理由書作成業務1件2,000円）を活用した。（実績：11件、2,000円×11件＝22,000円）

【3】障害者支援施設 澄水園

1 施設の運営方針

澄水園（生活介護・施設入所支援・短期入所）

澄水園は、「障害者総合支援法」の基本理念や、「障害者差別解消法」の趣旨である障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくるという目的を浸透させるため、権利擁護、虐待防止に努め、そしてなによりも利用者の視点に立ち個々の利用者の意志を尊重し、思いやりのある関わりに重点を置いて支援するサービスを提供してきた。

令和元年度も個別支援計画に沿った支援を行うとともに、利用者の高齢・重度化に対応した医療面のケア・健康管理について、当法人内の南台病院と連携し、医師派遣や健康診断などを実施した。

また、利用者の平均年齢が概ね60歳と高齢化していることから、日々の健康管理に努めるとともに、理学療法士による月3回の身体機能評価や個別リハビリテーションを継続して行った。

加えて、東京都による地域移行促進コーディネート事業を活用し、施設入所者が環境変化に対する適応が難しいという地域移行への具体的な取り組みとして、澄水園の近くに地域生活移行体験室として民間アパートを借上げ、地域移行への促進を積極的に進めてきた。

グループホーム澄水（やまびこ・こだま）

グループホーム澄水では、令和元年度も知的障がい者のうち施設入所利用者であって地域での生活が可能な方、又は居宅で家族と同居している者であって同居維持が困難な方に住居を提供し、地域内で安心・安全な日常生活が送れるよう身体及び精神の状況や生活環境全般について、きめ細かい相談・支援等を行った。また、利用者の住まいの場所として、食事、入浴等個々の生活リズムを最大限に尊重した支援に努めた。

平成13年3月に開設した「グループホームやまびこ」（旧「グループホーム21」、定員5名）と、平成26年3月に開設した「グループホームこだま」（定員7名）を合わせたグループホーム澄水は令和元年度で6年目を迎えた。やまびこは女性ホーム、こだまは男性ホームで、同性介助を基本としている。

2 澄水園全体の利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|-----------------|------|---------------|-------------|--------|
| 施設入所支援 | 100名 | 100名 | 94.0名 | 94.0% |
| 短期入所 | 3名 | 3名 | 3.6名 | 120.0% |
| 生活介護（通所） | 100名 | 100名 | 84.6名 | 84.6% |
| グループホーム やまびこ | 5名 | 5名 | 5名 | 100.0% |
| グループホーム こだま | 7名 | 7名 | 7名 | 100.0% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収入 | 724,911千円 | 748,136千円 | 759,165千円 | 734,897千円 | 96.8% |
| 支出 | 722,163千円 | 742,669千円 | 758,569千円 | 732,503千円 | 96.6% |
| 収支差額 | 2,748千円 | 5,467千円 | 596千円 | 2,394千円 | - |

※人件費の状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 人件費率 | 65.4% | 66.4% | 68.1% | 68.0% | 68.6% |
| 金額 | 471,924千円 | 485,859千円 | 503,989千円 | 490,537千円 | 503,812千円 |
| 対前年度 増減額 | - | 13,935千円 | 18,130千円 | ▲13,452千円 | 13,275千円 |

【3-1】澄水園（生活介護・施設入所支援・短期入所）

1 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|----------|------|---------------|-------------|--------|
| 施設入所支援 | 100名 | 100名 | 94.0名 | 94.0% |
| 短期入所 | 3名 | 3名 | 3.6名 | 120.0% |
| 生活介護（通所） | 100名 | 100名 | 84.6名 | 84.6% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収入 | 672,492千円 | 694,780千円 | 705,809千円 | 683,419千円 | 96.8% |
| 支出 | 687,422千円 | 703,001千円 | 724,184千円 | 697,169千円 | 96.3% |
| 収支差額 | ▲14,930千円 | ▲8,221千円 | ▲18,375円 | ▲13,750千円 | - |

※人件費の状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 人件費率 | 65.4% | 67.6% | 69.1% | 70.1% | 70.8% |
| 金額 | 453,254千円 | 464,967千円 | 482,687千円 | 471,437千円 | 483,925千円 |
| 対前年度 増減額 | - | 11,713千円 | 17,720千円 | ▲11,250千円 | 12,488円 |

(3) 人員配置

(単位：名)

| 職種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|------------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 副施設長 (課長事務取扱) | | | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 管理栄養士 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 事務員 | | | | 4.0 | 4.0 | 3.0 | 1.0 | | 1.0 | 4.0 | 0.0 |
| 看護師 | 45.8 | 23.0 | 68.8 | | 68.8 | 4.0 | | | | 67.9 | ▲0.9 |
| 支援員 | | | | | | 48.0 | 28.0 | 6.0 | 15.9 | | |
| サービス 管理責任者 | 2.0 | | 2.0 | | 2.0 | 1.7 | | | | 1.7 | ▲0.3 |
| コーディネーター | | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | 0.5 | | | | 0.5 | ▲0.5 |
| 清掃他 | | | | 1.1 | 1.1 | | 4.0 | | 1.1 | 1.1 | 0.0 |
| 合計 | 49.8 | 24.0 | 73.8 | 6.1 | 79.9 | 60.2 | 33.0 | 6.0 | 18.0 | 78.2 | ▲1.7 |

※ 上表の人員配置基準定数外として、障害者雇用を活用した清掃員として非常勤職員3名（常勤換算1.9名）を配置している。

2 収支の安定確保

(1) 入所率

入退所判定会議を定期的開催し、入所者の情報共有を図るとともに、部屋の空き状況や待機者の情報を把握・共有し、計画的な施設入所が行えるよう努め、施設入所の利用率94.0%（平成30年度92.5%）という結果となった。

短期入所の利用率は定員3名に対し、空床を有効活用した結果、120.0%（平成30年度141.6%）となり、地域の利用ニーズに応えた。生活介護（日中活動）は施設外から新たに1名の方が利用するようになった。

(2) 経費節減・効率化対策

令和元年度も利用者の一泊旅行の業者選定は、一般競争入札を実施し、経費の節減を図ったほか、利用者へ提供する日用品の納入単価の適正化を図るため、業者と交渉により経常経費の節減に努めた。

3 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 利用者中心のサービス提供と地域移行への支援

ア 利用者の健康管理のため、週 3 回の南台病院の医師の往診と月 1 回の近隣眼科医の往診、歯科衛生士による週 3 回の口腔ケア、理学療法士による月 3 回の身体機能評価やリハビリテーションを実施した。また、日本歯科大学口腔ケアリハビリテーション多摩クリニックからの往診による嚥下機能の診察を行い、診察結果により、管理栄養士が食事献立にキザミ食やとろみ食などを取り入れるような取り組みを行った。

イ 第 5 期東京都障害福祉計画等に沿った地域移行への取り組みを行っており、令和元年度も東京都地域移行促進コーディネート事業を受託し、北多摩北部ブロックの 13 施設と連携し、連絡会や研修などを通して地域移行の課題等を共有した。当施設では、令和元年度 4 名の利用者が新たにアパート体験を行い、地域移行に向けた取り組みを行った。

(2) 日中活動の支援の充実

ア 園内作業は、利用者の希望や適性に応じた内容とし、陶芸、箸入れ、ビーズ、シュレッター等、本人ができる作業活動を行った。また、園外作業は公園清掃や建物周囲の清掃、落ち葉清掃作業等を行ったほか、引き続き地域の畑を借り受けて、野菜作りは年間を通じて行うことによって、園内活動だけでは得られない地域社会での活動を実践するとともに、利用者の健康維持を図った。

イ 余暇活動は、ボランティアの方々の協力も得て、音楽活動、化粧クラブ、染物、散歩などを行った。活動の一環として、東京都障がい者総合美術展及び多摩六都フェアの「ぴゅああーと展」に応募し、絵画、陶芸など 12 点の作品が入選した。

(3) 運営の透明性の確保

ア 令和元年度も福祉サービス第三者評価を受審し、職員自己評価、保護者アンケート、利用者調査などを行った。

評価の高かった点は、次の①から③に掲げる 3 点である。

- ① 東京都の地域移行促進コーディネート事業を受託して、地域移行の実践に取り組んでいる。
- ② 施設入所開始前に、まず、短期入所利用をしてもらうなかで利用者の状況や要望・意向を把握することで、円滑な施設入所につなげている。
- ③ 保護者や外部識者のオンブズパーソンと連携し、利用者自身の主体的な活動を支え、利用者の意見を尊重したサービス提供を実践している。さらなる改善が望まれる点としては、次の①から③に掲げる 3 点である。

- ① 利用者の重度・高齢化に対応できる職員のスキルを高めるとともに、組織力をより一層向上させて課題にこたえることを期待する。
- ② 個人のプライバシーへの配慮や日常における利用者一人ひとりへの配慮、人権の尊重に関して職員間での意識の統一を図ることを期待する。
- ③ 災害時を想定した事業継続計画の策定等、利用者の安全への更なる取り組みを期待する。

イ 毎月来園するオンブズパーソンの丸市豊也氏（東京地方検察庁社会復帰支援室社会福祉アドバイザー）と西方規恵准教授（白梅学園大学）による施設内の巡回や相談をはじめ、月例の保護者会を通して施設の情報提供や方針の説明などを基に相互に意見交換を行い、施設運営の透明性の確保に努めた。

（４）職員の健康管理

当法人の衛生委員会や産業医が連携し職員の勤務相談を行い、また管理職が部下の心身状況を把握し精神的なフォローをするメンタルヘルスのラインケアなどを実施し、働きやすい職場環境づくりに努めた。

（５）実習生の受け入れ

令和元年度は東京都内の特別支援学校の生徒 4 名を自立や社会参加を目指した現場実習として受け入れた。また、資格取得の実習のため専門学校生などの実習生 14 名を受け入れ、適切な進路を見出す場を提供した。

4 人材育成

（１）法人内研修会への参加状況

新任職員研修会 1 名、勤続 2 年目研修会 2 名、同 3 年目 2 名、同 6 年目 1 名、同 20、22 年目 9 名、係長研修会 9 名、管理職研修会 5 名、感染症防止対策研修会 2 名、リスクマネジメント研修 2 名、クレーム対応研修 6 名、財務管理研修 4 名、尊厳・自立・QOL 向上研修 4 名、労務管理研修 3 名、資格取得動機付け研修 1 名、実践研究発表大会 18 名

（２）施設内研修会への参加状況

ア 澄水園セミナー

日時：令和元年 11 月 23 日（土）

会場：澄水園集会室

講師：澄水園から地域移行された利用者 3 名と関係機関の支援者

演題：「地域で暮らして思うこと」

参加者：約 60 名（地域住民、障がい者団体、保護者、職員等）

- イ 「障がい者支援研修会」 59 名
- 「感染症防止対策研修会」 5 名
- 「吐しゃ物処理研修会」 13 名
- 「食中毒予防研修」 10 名
- 「口腔ケア研修」 25 名など

(3) 外部研修会への参加状況

- 「東京都サービス管理責任者研修」 1 名
- 「全国知的障害者福祉関係職員研究大会」 3 名
- 「関東地区知的障害福祉関係職員研究大会」 1 名
- 「栄養管理講習会」 2 名
- 「東京都社会福祉協議会主催研修会」 3 名
- 「利用者の支援等に関する研修会」 5 名
- 「事例研究発表会（障がい者・障がい児）」 3 名など

5 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」の施行により、「障がい者」の権利について職員が再確認するとともに、福祉の専門職としての業務上の指針を職員に周知した。また、職員の言葉づかいや声掛けについての「評価基準」を配布し、丁寧な言葉づかいができるよう職員会議や各課の会議で徹底した。

さらに、虐待防止については、「接し方チェックリスト」のアンケートの実施や抑止のための標語を掲げるとともに、虐待防止についての認識を強化するために、人権委員会の委員による東京都虐待防止の手引きの周知を行った。

また、令和元年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修受講者による施設内での伝達研修を行なった。

加えて、「理念で気持ちを一つに」のテーマを掲げ、法人の理念や施設の運営理念を明記したカードを全職員に携行させるとともに、同内容の掲示物をスタッフルームに掲示し、会議や朝礼等の際に唱和を行った。また、「理念の実現チェックシート」を作成し、職員アンケートを実施することで常に理念を意識した業務について振り返りを行い、理念の浸透に取り組んだ。

【3-2】グループホーム澄水（やまびこ・こだま）

1 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|------|-----|---------------|-------------|--------|
| やまびこ | 5名 | 5名 | 5名 | 100.0% |
| こだま | 7名 | 7名 | 7名 | 100.0% |
| 合計 | 12名 | 12名 | 12名 | 100.0% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収入 | 52,420千円 | 53,356千円 | 53,356千円 | 51,478千円 | 96.5% |
| 支出 | 34,741千円 | 34,385千円 | 34,385千円 | 35,334千円 | 102.8% |
| 収支差額 | 17,679千円 | 18,971千円 | 18,971千円 | 16,144千円 | - |

※人件費の状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 人件費率 | 37.2% | 41.0% | 42.5% | 36.4% | 38.6% |
| 金額 | 18,670千円 | 20,892千円 | 21,302千円 | 19,100千円 | 19,887千円 |
| 対前年度 増減額 | - | 2,222千円 | 410千円 | ▲2,202千円 | 787千円 |

(3) 人員配置（やまびこ・こだまの合計）

（単位：名）

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計(①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|-----------------------|--------------|---------------|---------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|------------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算(④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長(兼務) | (1.0) | | (1.0) | | (1.0) | (1.0) | | | | (1.0) | 0.0 |
| サービス 管理責任者 (兼務) | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 0.1 | | | | 0.1 | ▲0.9 |
| 世話人 | 2.4 | | 2.4 | | 2.4 | 0.9 | 4.0 | | 1.8 | 2.7 | 0.3 |
| 生活支援員 | 2.7 | | 2.7 | | 2.7 | | 10.0 | | 3.4 | 3.4 | 0.7 |
| 合 計 | 6.1 | 0.0 | 6.1 | 0.0 | 6.1 | 1.0 | 14.0 | 0.0 | 5.2 | 6.2 | 0.1 |

※ 施設長は澄水園の施設長が併任している。

2 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 利用者の意思決定を活かせる支援

利用者が望む作業活動、余暇活動等への参加について、利用者の意思決定を活かせる選択肢が提供できるよう、バックアップ施設である澄水園の協力を得ながら各種活動への参加を充実させた。

(2) サービスの質の向上

ア サービス管理責任者と世話人との緊密な打合せ及び月 1 回の会議を行うほか、サービスの質の向上を目指すため、食事や提供するサービスについての評価等を重ねるとともに、保護者会（年 1 回）や保護者の個々の相談に応じるなど利用者の生活状況について意見交換に努めた。

イ 利用者の通所する作業所が休日の時は、外出等の支援を行い、週末に帰宅できない方の日中活動支援として澄水園のレクリエーション活動に参加できるよう支援するとともに、移動支援事業所のガイドヘルパーを利用した外出などの調整を実施した。

また、年 3 回の年間行事としてバーベキューやクリスマス会などを行った。

ウ 疾病発生の際は速やかに職員が利用者に同行して南台病院等へ通院するとともに、自室での食事介助、水分補給などきめ細かな対応をして健康の回復に努めた。

エ 地域住民との良好な関係作りを目的として、日常の挨拶励行や地域行事である清掃、納涼会、新年会などに参加し交流に努めた。

3 収支の安定確保

令和元年度の入所利用率は前年度に引き続き 100%であった。安定した施設経営のため、引き続き日用品の節約など諸経費節減に努め、運営の健全化を図った。

4 人材育成

(1) 内部研修会への参加状況

澄水園セミナー4名

(2) 外部研修会への参加状況

令和元年度グループホーム世話人養成研修 5名

東京都グループホーム運営協議会 1名

小平市グループホーム連絡会 2名など

5 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」の施行により、「障がい者」の権

利について職員が再確認するとともに、福祉の専門職として業務上の指針を職員に周知した。また、職員の言葉づかいや声掛けについての「評価基準」を配布し、丁寧な言葉づかいができるよう徹底した。さらに、虐待防止については、「接し方チェックリスト」を利用して、虐待防止についての認識を強化した。

【4】救護施設 黎明寮

1 施設の運営方針

黎明寮の運営方針である「心身の障害によって居宅生活が困難な困窮者を入所又は通所させ、安心・安全な生活環境を提供し、一人ひとりが願う生活や生き方に心豊かに過ごしていただけるように支援します。」に則して、安心して施設生活ができるよう職員一体となって個別支援計画に基づいた入所者支援に努めるとともに、円滑な地域移行のための居宅生活訓練事業及び地域生活の定着・継続を支援するうえで効果的な通所訓練事業などを実施した。また、法人内在宅サービス事業所（訪問看護・訪問介護事業所）や地域の関係機関と連携し、地域の障害者生活に支障のある方々への相談支援や家庭訪問を通じ、医療・健康管理等の生活支援を行うといった地域貢献に努めた。

当施設は、平成3年に全面改装を行ってから28年が経過し空調設備、屋上防水、外壁、高架水槽等の経年劣化が著しいことから改築を要望していたところであるが東京都の指導により令和3年度に向けた大規模修繕補助金申請を行うこととなった。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|-----|------|---------------|-------------|--------|
| 入 所 | 100名 | 102名 | 102名 | 100.0% |
| 通 所 | 50名 | 45名 | 38名 | 84.4% |

(2) 収支状況

(単位：千円)

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|--------------------|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収入(①) | 496,819 | 496,098 | 503,048 | 502,219 | 99.8% |
| 支出(②) | 515,046 | 525,038 | 529,484 | 515,975 | 97.4% |
| 収支差額 (①-②) | ▲18,227 | ▲28,940 | ▲26,436 | ▲13,756 | |
| 前期末支払資金 取崩額※(③) | ▲30,000 | ▲30,000 | ▲30,000 | ▲30,000 | |
| 収支差額 (①-②-③) | 11,773 | 1,060 | 3,564 | 16,244 | |

※ 社会福祉施設における措置費の取扱については、厚労省関係局長連名通知「社会福祉法人が経営する社会福祉施設における運営費の運用及び指導について」において、法人本部の運営経費に対しては前期末支払資金残高のうち一部を取崩して充当できることとされている。

当法人においても、毎期の決算期末に前期末支払資金残高を取崩して当期の法人本部運営経費として充当する処理をしている。

※人件費の状況

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費率 | 58.5% | 56.3% | 57.8% | 58.1% | 59.5% |
| 金 額 | 299,349 千円 | 292,975 千円 | 287,821 千円 | 288,762 千円 | 298,639 千円 |
| 対前年度減額 | - 千円 | ▲6,374 千円 | ▲5,154 千円 | 941 千円 | 9,877 千円 |

(3) 人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和 2 年 3 月 31 日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B - A |
|-------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 事務職員 | 2.0 | | 2.0 | 1.0 | 3.0 | 3.0 | 1.0 | | 1.0 | 4.0 | 1.0 |
| 指導員 | 1.0 | 2.0 | 3.0 | | 3.0 | 3.0 | | | | 3.0 | 0.0 |
| 精神保健 福祉士 | - | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 理学療法士 | - | 0.1 | 0.1 | | 0.1 | | | | | 0.0 | ▲0.1 |
| 介護職員 | 21.0 | 11.0 | 32.0 | | 32.0 | 25.0 | 10.0 | | 7.7 | 32.7 | 0.7 |
| 看護職員 | 1.0 | 1.0 | 2.0 | 1.0 | 3.0 | 2.0 | | | | 2.0 | ▲1.0 |
| 介助員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 栄養士 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 医 師 | 0.1 | | 0.1 | | 0.1 | | 1.0 | | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 合 計 | 28.1 | 15.1 | 43.2 | 2.0 | 45.2 | 37.0 | 12.0 | 0.0 | 8.8 | 45.8 | 0.6 |

※ ・医師は非常勤配置、事務員 1 名は本部出向、理学療法士は機能訓練加算取得のため配置基準 0.1 としている。

・上表の人員配置基準定数外として、障害者雇用を活用した清掃員として非常勤職員 1 名（常勤換算 0.5 名）を配置している。

3 収支の安定確保

(1) 入所率 102%の確保（定員 100 名 在籍目標数 102 名 実績数 102 名）

年間を通して目標値（年間入所率 102%）を確保した。

(2) 経費節減・効率化対策

物品購入単価等や業務委託の見直し、また、入所者の旅行に係る旅行会社の一般競争入札の実施をはじめ、施設設備管理・保守業務の業者を法人全体で一本化するなどして、業務効率化の検討を行い経費節減等に努めた。

4 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 日中活動の充実

日中活動を充実する取り組みを平成 25 年度から始めて本年度で 6 年目となる。常勤職員 1 名、非常勤職員 3 名を日中活動の専任として配置するとともに、利用者が集い活動できる専用の日中活動専用室（名称：ぼーの）を設けて、喫茶・手芸工作・ゲーム・健康体操・美容教室など多様なレクリエーション活動を行った。

また、小平市社会福祉協議会等の紹介によるセラピードック、タンゴセラピー等や近隣の保育園児の来訪に加え、個人・グループのボランティアの協力もいただき日中活動の充実を図った。

さらに、活動日数・メニューの充実に努め、月間予定表にこれを掲示し活動への積極的な参加を呼びかけた結果、多くの利用者が日中活動に集うことが定着してきた（年間活動日数 300 日）。延べ参加者数は、前年度実績 17,613 名から 17,935 名に、一日当たりで 58.9 名から 59.8 名に増加した。

一方、作業活動については、施設内作業の延べ参加者数が前年度実績 10,256 名から 9,706 名に施設外作業の延べ参加者数が 1,465 名から 1,387 名に各々で減少となった。この結果、日中活動全体の延べ参加者数の合計は、前年度の 11,721 名から 11,093 名に減少した。

(2) 支援課・保健課の連携強化

支援課・保健課が連携し、利用者に対して健康管理、衛生管理の理解を深める目的で、協働で啓発活動を行った。

インフルエンザ・ノロウイルス等の発症はなかったが、新型コロナウイルスの全世界的な感染を受け当施設においては、外部者の入寮を制限するとともに利用者の不要不急の外出の自粛要請など、感染症対策委員会における検討に基づき感染症予防対策を講じた。また、購入困難となったマスクについて、布マスクを職員自ら手作りをし急場をしのいだ。

この他、新規入所者の健康診断及び年 2 回実施している利用者健康診断結果について、施設内診療医（精神科医・医療法人社団碧水会長谷川病院医師）から直接利用者に健康診断結果を説明し、健康管理上の助言を行った。

(3) サービスの質の向上

ア 利用者ニーズに基づいたサービスの提供

(ア) 居宅生活訓練事業

居宅生活訓練事業は、地域移行を希望する利用者のために近隣のアパートを借り上げてアパート生活の疑似体験を通じて、希望する利用者の抱える生活課題を整理しつつ地域の社会資源と連携し、当該利用者の生活課題解消に向けた支援活動を行った。定員は3名で、令和元年度は2名（平成30年度2名）が地域生活に移行した。

地域生活に興味関心を持っている利用者に対して、定期的に相談会を開催し地域生活に移行するに当たっての不安の解消に努めたほか、具体の事例をもとにした検討会（例 新聞勧誘の断り方など）や社会生活能力訓練（SST）を実施した。

居宅生活訓練事業の前段階の体験宿泊（2～3日から1週間程度）の、延日数は、前年度実績271日から145日に、延べ利用者数は、前年度実績の76名から55名となった。これは、地域移行についての説明会実施後には、地域生活希望者が増えるものの、精神面と生活リズムを構築中の利用者が増えていることから前段階である体験宿泊訓練を実施できなかったことと、2月より新型コロナウイルス感染症予防対策として外出の自粛といった制限を行ったこともあり予定していた地域移行訓練対象者が見送られたことが要因としてあげられる。地域生活希望者は、潜在的需要が見込まれることからひとりでも多くの利用者が地域での生活が実施できるよう引き続き積極的に支援に努める。

(イ) 保護施設通所事業

施設退所者の地域生活支援として、保護施設通所事業（定員50名）の利用実人員数は、38名であった。相談支援・訪問相談等の実績は、年間2,143件、月平均178.6件（前年度年間2,154件、月平均179.5件）であった。

(ウ) 一時入所事業

一時入所事業の年間利用実人員数は、前年度実績の13名から12名に、利用延日数が108日から78日となった。

減となった主な理由は、一時的に心身状態が不安定になった者のみの利用で、精神科病院からの体験利用及び施設訓練者並びに日常生活が困難になった者の利用がなかったことが挙げられる。

令和元年度 （※7利用者等の状況 (6)一時入所事業実績 参照)

| 事業名 | 令和元年度収入 | 令和元年度支出 | 収支差額 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 居宅訓練事業 | 7,265 千円 | 11,373 千円 | ▲4,108 千円 |
| 通所事業 | 49,873 千円 | 22,834 千円 | 27,039 千円 |

イ 地域貢献

当法人の訪問看護・介護事業所・小平市地域包括支援センターけやきの郷等から在宅生活において何らかの支援を要する方々の相談を受け、当施設の日常生活機能（日中活動のレク・作業、入浴・食事など）を提供するなど法人サービス機能を協働して提供した。

ウ 第三者評価事業の受審

「公益財団法人日本チャリティ協会」に委託し、利用者聞き取り調査、職員説明会の開催、経営層自己評価票の分析シート、ヒアリング訪問調査等を行い、3月に受審結果のフィードバックを受け、同社から東京都サービス評価推進機構に結果報告が行われた。

受審結果、全体の評価講評として、特に良いと思う点は

- ① 「職員のコミュニケーションの高さと相談しやすい職員関係・その風土」で表せるように職員全体の組織力の高さが認められる。
- ② サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるように支援している。
- ③ 地域生活に移行を希望する利用者の支援に力を入れ、移行後のアフターケアも充実している。

さらなる改善が望まれる点としては、

- ① 業務の見直しとして預り金の内訳が一部の部署に限定されているので、スタッフルームのパソコンでも確認できるように期待する。
- ② 利用者に関する記録が整い、管理体制を確立しているが事業継続計画BCPの職員周知を期待する。
- ③ 地域で生活する施設退所者の心の拠り所として施設内に用意されている場所の整備をすることを期待する。との指摘が示された。

(4) 環境整備

28年経年劣化により耐用年数を経過したものから順次部品等の交換修繕を行った。耐用年数を経過している高額機器の交換・修繕等（空調設備、給排水管、屋上防水、外壁塗装、利用者用トイレ・洗面所改修、職員トイレ増設、地域（通所）利用者用談話室の新設、各居室の壁紙等の整備、食堂・階段床材張替、自家用発電機部品交換、高圧ケーブル高圧機類更新工事他）は、令和3年度の大規模修繕を計画し東京都と協議の上、令和2年度申請し、設計業者は一般入札で決定する予定である。

5 人材育成

- (1) 外部講師を招いた施設内研修会等に39名、法人研修会に83名、また外部の各種研修会に53名、延べ175名（平成30年度257名）が参加した。研修の参加

満足度・施設に還元できる事項等を定例会議等で発表させ、研修内容を共有することで利用者サービスの改善に繋がった。

※職員研修の状況

| 研修内容 | 参加数 |
|------------------|------|
| 全国社会福祉協議会 各種研修 | 1名 |
| 全国救護施設協議会 各種研修 | 3名 |
| 関東地区救護施設職員 研修会 | 9名 |
| 東京救護部会職員研修会 | 4名 |
| 東京都多摩総合センター 各種研修 | 23名 |
| 日本介護福祉会研修 | 2名 |
| 他法人研修会 | 11名 |
| 内部研修 | 39名 |
| 各種法人内研修 | 83名 |
| 合計 | 175名 |

(2) 職員の国家資格について、介護福祉士試験に3名が合格した。

6 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

(1) オンブズパーソンの活用

利用者の権利擁護のため利用者の意向等を代弁する環境作りとして弁護士、東京社会福祉士会会員の2名のオンブズパーソンを選任している。相談件数は68件(前年度41件)であった。

利用者が積極的に相談等できるよう来寮予定日とオンブズパーソンの写真を掲示し、利用者が相談者を選択できるよう配慮するとともに、相談希望者が専用ポストに本人写真付き相談カードを投函すれば、オンブズパーソンが訪室し相談できる環境を整えた。

(2) 保護者、利用者及び職員からの苦情

法人本部に設置されている「事業適正化委員会」に報告すべき事例が生じた場合は速やかに報告し、その指導に沿って必要な措置を取る仕組みが構築されている。

(3) 黎明寮における障害者虐待防止・権利擁護について

平成30年度に人権擁護委員会を設け、人権擁護標語を2カ月おきに作成し職員への注意喚起に努めた他、施設内研修委員会と連携し「私たちはこう考えましたパートⅡ」を作成し、日常における利用者との接し方等を考察して、その望ましい考え方を周知した。また障害者虐待防止・権利擁護チェックリストを刷新し、個々の支援を振返る一助とした。

法人の「権利擁護研修」に7名が参加した。また外部研修には、東京都多摩総合センターの虐待防止研修に2名、東京都社会福祉保健医療研修センターの権利擁護研修に1名を参加させた。

7 利用者等の状況

(1) 入退所状況

(単位：名)

| 月 区分 | 利用状況 (1日現在) | | | | | | 入所退所状況 | | | | | |
|-------------|-------------|-------|-------|----------|---------|----------|--------|---|----|----|----|----|
| | 実人員 | | | 延人員 (日数) | | | 入所 | | | 退所 | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 合計 | 男 | 女 | 合計 |
| 平成31年 4月 | 55 | 47 | 102 | 1,650 | 1,410 | 3,060 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 令和元年 5月 | 55 | 47 | 102 | 1,650 | 1,411 | 3,061 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 6月 | 55 | 47 | 102 | 1,652 | 1,411 | 3,063 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 |
| 7月 | 55 | 46 | 101 | 1,711 | 1,432 | 3,143 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 8月 | 55 | 47 | 102 | 1,705 | 1,470 | 3,175 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 9月 | 55 | 47 | 102 | 1,654 | 1,423 | 3,077 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 10月 | 55 | 47 | 102 | 1,705 | 1,457 | 3,162 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 11月 | 55 | 47 | 102 | 1,650 | 1,411 | 3,061 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 12月 | 55 | 47 | 102 | 1,719 | 1,457 | 3,176 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 令和2年 1月 | 56 | 46 | 102 | 1,735 | 1,404 | 3,139 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| 2月 | 55 | 46 | 101 | 1,607 | 1,312 | 2,919 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 3月 | 57 | 45 | 102 | 1,782 | 1,390 | 3,172 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 663 | 559 | 1,222 | 20,220 | 16,988 | 37,208 | 9 | 7 | 16 | 5 | 10 | 15 |
| 月平均 | 55.25 | 46.58 | 101.8 | 1685 | 1415.67 | 3100.667 | - | - | - | - | - | - |

※入退所後の内訳

| 入所元・人数 | | 退所先・人数 | |
|---------|----|---------|----|
| 精神科病院 | 15 | 地域移行 | 2 |
| 他施設(更生) | 1 | 精神科病院 | 8 |
| 在宅 | 0 | 一般病院 | 0 |
| 無料定額宿泊所 | 0 | 他施設(有料) | 1 |
| | | 他施設(養護) | 0 |
| | | 他施設(更生) | 0 |
| | | 他施設(救護) | 0 |
| | | 死亡 | 4 |
| 計 | 16 | 計 | 15 |

(2) 年齢別構成

ア 入所利用者

(単位：名)

| 区分 年齢 | 平成30年3月31日 | | | 平成31年3月31日 | | | 令和2年3月31日 | | |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 30歳未満 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30歳以上～40歳未満 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 40歳以上～50歳未満 | 7 | 8 | 15 | 7 | 5 | 12 | 12 | 5 | 17 |
| 50歳以上～60歳未満 | 14 | 13 | 27 | 13 | 11 | 24 | 13 | 12 | 25 |
| 60歳以上～65歳未満 | 9 | 7 | 16 | 10 | 9 | 19 | 10 | 8 | 18 |
| 65歳以上～70歳未満 | 15 | 6 | 21 | 9 | 7 | 16 | 9 | 6 | 15 |
| 70歳以上 | 9 | 12 | 21 | 16 | 15 | 31 | 14 | 13 | 27 |
| 計 | 55 | 48 | 103 | 55 | 47 | 102 | 59 | 44 | 103 |
| 平均年齢 | 61歳 1ヵ月 | 60歳 6ヵ月 | 60歳 9ヵ月 | 62歳 8ヵ月 | 64歳 1ヵ月 | 63歳 4ヵ月 | 60歳 4ヵ月 | 62歳 8ヵ月 | 61歳 4ヵ月 |
| 最高年齢 | 83歳 | 85歳 | | 85歳 | 87歳 | | 85歳 | 87歳 | |
| 最小年齢 | 38歳 | 27歳 | | 40歳 | 40歳 | | 36歳 | 40歳 | |

イ 地域生活移行者に対する支援活動の利用者

(単位：名)

| 区分 年齢 | 平成30年3月31日 | | | 平成31年3月31日 | | | 令和2年3月31日 | | |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 30歳未満 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 0 | 1 | 1 |
| 30歳以上～40歳未満 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 40歳以上～50歳未満 | 7 | 1 | 8 | 8 | 2 | 10 | 7 | 4 | 11 |
| 50歳以上～60歳未満 | 2 | 3 | 5 | 2 | 3 | 5 | 4 | 2 | 6 |
| 60歳以上～65歳未満 | 5 | 1 | 6 | 3 | 2 | 5 | 3 | 3 | 6 |
| 65歳以上～70歳未満 | 5 | 2 | 7 | 6 | 2 | 8 | 5 | 1 | 6 |
| 70歳以上 | 1 | 4 | 5 | 2 | 4 | 6 | 3 | 5 | 8 |
| 計 | 20 | 13 | 33 | 23 | 15 | 38 | 22 | 16 | 38 |
| 平均年齢 | 56歳 4ヵ月 | 59歳 8ヵ月 | 57歳 7ヵ月 | 58歳 4ヵ月 | 55歳 6ヵ月 | 56歳 7ヵ月 | 58歳 3ヵ月 | 60歳 3ヵ月 | 54歳 4ヵ月 |
| 最高年齢 | 70歳 | 81歳 | - | 71歳 | 82歳 | - | 72歳 | 83歳 | - |
| 最小年齢 | 44歳 | 27歳 | - | 22歳 | 27歳 | - | 46歳 | 27歳 | - |

(3) 在籍年数

ア 入所利用者

| 年数 | 区分 | | | 平成30年3月31日 | | | 平成31年3月31日 | | | 令和2年3月31日 | | |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|---|---|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 1年未満 | 8 | 5 | 13 | 0 | 0 | 0 | 9 | 6 | 15 | | | |
| 1年以上～5年未満 | 20 | 17 | 37 | 31 | 20 | 51 | 27 | 15 | 42 | | | |
| 5年以上～10年未満 | 13 | 11 | 24 | 8 | 12 | 20 | 8 | 10 | 18 | | | |
| 10年以上～15年未満 | 5 | 1 | 6 | 4 | 5 | 9 | 4 | 5 | 9 | | | |
| 15年以上～20年未満 | 2 | 5 | 7 | 5 | 2 | 7 | 5 | 1 | 6 | | | |
| 20年以上～30年未満 | 5 | 4 | 9 | 5 | 5 | 10 | 4 | 4 | 8 | | | |
| 30年以上 | 2 | 4 | 6 | 2 | 3 | 5 | 2 | 3 | 5 | | | |
| 計 | 55 | 47 | 102 | 55 | 47 | 102 | 59 | 44 | 103 | | | |
| 平均在籍年数 | 7年 11ヵ月 | 9年 11ヵ月 | 8年 10ヵ月 | 8年 9ヵ月 | 10年 2ヵ月 | 9年 5ヵ月 | 7年 7ヵ月 | 9年 4ヵ月 | 8年 4ヵ月 | | | |

(4) オンブズパーソンの活用

登坂法律事務所

登坂 真人 弁護士

公益社団法人 東京社会福祉士会

大場百合子 社会福祉士

| 項目 | 相談件数 | 内 容 | 件 数 |
|---------|--------------------------------------|-------------------------|-----|
| 利用者等の相談 | 相談件数 68件 | 黎明寮での生活や自身の健康（医療不安）について | 15 |
| | | 入所利用者に対する苦情や異性関係について | 11 |
| | | 退所や今後の生活について | 4 |
| | | 小遣いその他の金銭管理について | 7 |
| | | 家族などとの関係について | 4 |
| | | 職員の言動や対応について | 8 |
| | | 職員体制について | 1 |
| | | 住環境の不満・希望について | 4 |
| | | 成年後見人について | 1 |
| | その他（自己の報告と諸々の雑談等） | 13 | |
| | 相談者 53名 女性 31名 男性 19名 職員 3名 | | |

(5) 保護施設通所事業活動実績

利用定員 50名、月平均延べ人数 178.6名 (単位：名)

| 月 区分 | H31年 | R元年 | | | | | | | | R2年 | | | |
|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
| 相談援助 | 23 | 23 | 23 | 24 | 23 | 24 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 27 | 297 |
| 家庭訪問 | 19 | 19 | 19 | 20 | 19 | 20 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 248 |
| 作業 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 12 | 130 |
| 給食 | 18 | 18 | 18 | 19 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 19 | 218 |
| レクリエーション | 23 | 24 | 23 | 23 | 20 | 26 | 26 | 24 | 24 | 24 | 24 | 18 | 279 |
| 入浴 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 通院同行 | 9 | 9 | 9 | 9 | 8 | 8 | 9 | 8 | 10 | 9 | 9 | 9 | 106 |
| 服薬管理 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 156 |
| 金銭管理 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 11 | 12 | 12 | 12 | 11 | 129 |
| 関係機関調整 | 27 | 27 | 27 | 28 | 27 | 28 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 31 | 345 |
| 買い物同行 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 10 | 11 | 114 |
| 家事援助 | 8 | 8 | 7 | 8 | 9 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 89 |
| 家族支援 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 緊急一時保護 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 8 |
| 令和元年度 計 | 170 | 173 | 170 | 178 | 169 | 177 | 185 | 182 | 186 | 185 | 185 | 183 | 2,143 |
| 平成30年度 計 | 175 | 180 | 179 | 178 | 178 | 184 | 183 | 189 | 186 | 174 | 172 | 176 | 2,154 |

(6) 一時入所事業実績

(合計)

| 利用実績 | | | 内 訳 | | | | | |
|------|-----|------|-----------------------------------|------|---|------|--|------|
| | | | 一時的に精神状態が不安定になるなどにより、居宅生活が困難になった者 | | 精神科病院入院患者または退院者であって退院に向けた体験利用や訓練のため入所する事が適当な者 | | その他 (交通事故等で身体的事由により、一時的に居宅生活が困難になった者) | |
| 性別 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 |
| 男性 | 52日 | 7名 | 52日 | 7名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |
| 女性 | 26日 | 5名 | 26日 | 5名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |
| 計 | 78日 | 12名 | 78日 | 12名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |

(内訳)

(措置制度による利用)

| 性別 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 |
|----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 男性 | 48日 | 6名 | 48日 | 6名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |
| 女性 | 24日 | 4名 | 24日 | 4名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |
| 計 | 72日 | 10名 | 72日 | 10名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |

(自主事業)

| 性別 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 | 延日数 | 利用人数 |
|----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 男性 | 4日 | 1名 | 4日 | 1名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |
| 女性 | 2日 | 1名 | 2日 | 1名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |
| 計 | 6日 | 2名 | 6日 | 2名 | 0日 | 0名 | 0日 | 0名 |

【5】救護施設 あかつき

1 施設の運営方針

あかつきでは、昭和34年の開設当初より医療機関から退院する精神疾患寛解者を数多く受け入れる（99%）とともに、地域生活への移行を積極的に行っている。令和元年度も個別支援計画に沿った利用者支援を軸に、地域生活移行準備のため施設内に設置した地域生活体験室での生活体験を経て、近隣アパートでの居宅生活訓練事業を実施し、地域移行の促進を図った。

施設を退所した在宅の方には、通所によって食事や作業等日中活動を提供・支援する事業、施設職員が自宅へ訪問し、相談や通院同行等の支援を行う訪問事業を実施した。多くの利用者は様々な生活のしづらさを抱えており、生活意欲の向上と権利擁護を重点にした支援に努めた。

また建物及び設備の設置からすでに40年が経過し、老朽化が進んでいることから利用者の安全・安心を担保するため、黎明会老朽施設改築検討委員会において改築の検討を行った。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|------|------|---------------|-------------|--------|
| 入 所 | 195名 | 199名 | 198.5名 | 99.7% |
| 通 所 | 40名 | 34名 | 32.6名 | 95.9% |
| 訪 問 | 40名 | 34名 | 32.6名 | 95.9% |
| ショート | 5名 | — | 0.2名 | — |
| 居宅訓練 | 5名 | 5名 | 5.0名 | 100.0% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|---------------------|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収入 (①) | 790,567千円 | 796,123千円 | 794,790千円 | 793,592千円 | 99.8% |
| 支出 (②) | 773,055千円 | 817,067千円 | 813,616千円 | 789,284千円 | 97.0% |
| 収支差額 (①-②) | 17,512千円 | ▲20,944千円 | ▲18,826千円 | 4,308千円 | — |
| 前期末支払資金 取崩額※ (③) | ▲35,000千円 | ▲35,000千円 | ▲35,000千円 | ▲35,000千円 | |
| 収支差額 (①-②-③) | 52,512千円 | 14,056千円 | 16,174千円 | 39,308千円 | — |

※ 社会福祉施設における措置費の取扱いについては、厚労省関係局長連名通知「社会福祉法人が経営する社会福祉施設における運営費の運用及び指導について」において、法人本部の運営経費に対しては前期末支払資金残高のうち一部を取崩して充当できることとされている。

※ 人件費の状況

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費率 | 53.4% | 52.6% | 51.2% | 52.3% | 52.9% |
| 金 額 | 432,984 千円 | 412,782 千円 | 403,412 千円 | 395,843 千円 | 417,719 千円 |
| 対前年度 増減額 | - | ▲20,202 千円 | ▲9,370 千円 | ▲7,569 千円 | 21,876 千円 |

(3) 人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 ① | 運用必要人員数 ② | 運用必要総数 (①+②) A | 令和 2 年 3 月 31 日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B - A |
|---------|--------------|---------------|--------------|--------------|----------------------|-------------------------|-------|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | | 正規職員 ③ | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 ④ | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 事務職員 | 2.0 | | 2.0 | 2.0 | 4.0 | 4.0 | | | | 4.0 | 0.0 |
| 指導員 | 2.0 | 2.0 | 4.0 | | 4.0 | 4.0 | | | | 4.0 | 0.0 |
| 精神保健福祉士 | | 2.0 | 2.0 | | 2.0 | 2.0 | | | | 2.0 | 0.0 |
| 介護職員 | 37.0 | 2.8 | 39.8 | | 39.8 | 38.0 | 4.0 | | 2.2 | 40.2 | 0.4 |
| 看護職員 | 3.0 | | 3.0 | | 3.0 | 4.0 | | | | 4.0 | 1.0 |
| 介助員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 栄養士 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 医 師 | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | | 3.0 | | 0.2 | 0.2 | 0.0 |
| その他 | | | | 0.4 | 0.4 | | 1.0 | | 0.4 | 0.4 | 0.0 |
| 合 計 | 47.2 | 6.8 | 54.0 | 2.4 | 56.4 | 55.0 | 8.0 | 0.0 | 2.8 | 57.8 | 1.4 |

※・医師は非常勤配置。その他は臨床心理士非常勤職員常勤換算 0.4 名

- ・上表の人員配置基準定数外として、障害者雇用を活用した清掃員として非常勤職員 3 名（常勤換算 1.6 名）を配置している。

3 収支の安定確保

(1) 稼働率等や加算取得の見込み

令和元年度の入所稼働率は102%、居宅生活訓練事業は定員5名の確保、保護施設通所事業は2名の新規利用者増の目標はほぼ達成した。

(2) 経費の削減など支出の適正化について

施設管理・運営事務費等経常的・定型的な経費についてさらに削減を図った。また、300千円以上の物品購入等については複数の見積を徴し、1,000千円以上の購入等については、従来通り一般競争入札を行うとともに、食事サービス、リース物件や建物保守・管理を法人で一括契約するなど支出の適正化に努めた。

4 利用者の安全・安心確保とサービスの向上

(1) 第三者評価事業の受審

毎年受審している福祉サービス第三者評価事業を令和元年度も実施した。利用者への聞き取り調査を含め、サービスの質の向上への取り組みや権利擁護、安全・安心確保への対応について、外部機関による評価を受けることにより、評価結果の改善すべき点を計画的に取り組み、施設全体で見直しを図った。

(2) 日中活動の充実

日中活動は、やりがいや生きがいを大切にしながら、多くの利用者が参加できるよう計画的に実施した。また、ボランティアの協力を得ながら楽しく手足や全身を動かす運動も行い、利用者の介護予防に繋がる活動の充実も図った。

(3) 入所利用者のニーズに基づいたサービスの提供

施設利用者の地域生活への移行を継続して支援した。居宅生活訓練事業では、近隣アパート5室（定員5名）での最長2年間の日常生活訓練（食事、洗濯・掃除、金銭・服薬管理等）及び社会生活訓練（公共交通機関の利用、通院、行政機関への申請、買物、対人関係調整等）を通じた地域生活移行への事前体験を行い、単身で自立生活ができるよう訓練を実施した。

また、地域で暮らす退所者に対しては、通所事業や一時入所事業を実施し、地域の関係機関と連携して生活の安定と定着のための支援を行った。

(4) 地域連携と地域貢献

近隣地域に在住する潜在的な生活困窮者への支援を行った。地域の関係機関・団体及び法人内の在宅部門（地域包括支援センター、訪問看護・介護事業所等）と情報を共有して生活支援や同行支援を実施するなど、地域福祉への貢献に努めた。

(5) 災害時対策の取り組み

総合的な災害時の対策は、施設や法人の防災管理委員会において検討するほか、避難訓練等の総合防災訓練を小平消防署や東小川橋地区防災対策連合会と協働して実施した。令和元年度も実際に災害を想定した実地訓練等を行った。

(6) 住環境等の整備

令和元年度は、東京都の民間社会福祉施設設備改善整備費補助制度の中規模改修事業を活用した屋上防水工事を行った。

5 人材育成

(1) 法人内研修の参加状況

職階別研修、専門研修に 132 名の職員が参加した。

(2) 外部研修への参加状況

全国救護施設協議会、関東地区救護施設協議会、東京都社会福祉協議会等の外部研修への参加、施設内サービス研究会で実施する研修等を通して、救護施設の課題を検討するとともに職員の資質向上を図った。

6 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

研修や委員会活動を通じて、利用者への心配り、権利擁護のチェック及び業務の振り返りなどを行った。また、毎年度実施している施設長・管理職と一般職員との個人面談を計画的に実施し、人権に対するさらなる意識の醸成に努めた。

7 利用者等の状況

(1) 入退所状況

(単位：名)

| 区分 月 | 利用状況 | | | | | | 入退所状況 | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|----------|---------|---------|-------|----|----|-------|-------|--------|
| | 実人員 | | | 延べ人員(日数) | | | 入所 | | | 退所 | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 平成31年 4月 | 101 | 98 | 199 | 2,592 | 2,681 | 5,273 | 0 | 0 | 0 | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 令和元年 5月 | 101 | 98 | 199 | 2,530 | 2,768 | 5,298 | 0 | 1 | 1 | 0(0) | 1(0) | 1(0) |
| 6月 | 101 | 98 | 199 | 2,459 | 2,643 | 5,102 | 0 | 0 | 0 | 1(1) | 0(0) | 1(1) |
| 7月 | 101 | 98 | 199 | 2,579 | 2,694 | 5,273 | 1 | 0 | 1 | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 8月 | 101 | 98 | 199 | 2,662 | 2,588 | 5,250 | 2 | 0 | 2 | 2(2) | 0(0) | 2(2) |
| 9月 | 101 | 98 | 199 | 2,635 | 2,422 | 5,057 | 1 | 1 | 2 | 4(3) | 3(0) | 7(3) |
| 10月 | 100 | 97 | 197 | 2,833 | 2,490 | 5,323 | 5 | 2 | 7 | 1(0) | 2(1) | 3(1) |
| 11月 | 102 | 96 | 198 | 2,809 | 2,403 | 5,212 | 0 | 1 | 1 | 0(0) | 1(1) | 1(1) |
| 12月 | 102 | 96 | 198 | 2,890 | 2,484 | 5,374 | 1 | 1 | 2 | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 令和2年 1月 | 103 | 97 | 200 | 2,787 | 2,347 | 5,134 | 1 | 2 | 3 | 2(1) | 5(5) | 7(6) |
| 2月 | 102 | 94 | 196 | 2,713 | 2,334 | 5,047 | 0 | 3 | 3 | 0(0) | 0(0) | 0(0) |
| 3月 | 102 | 97 | 199 | 2,828 | 2,641 | 5,469 | 3 | 1 | 4 | 3(2) | 2(2) | 5(4) |
| 月平均 | 101.4 | 97.1 | 198.5 | 2,693.1 | 2,541.3 | 5,234.3 | | | | | | |
| 計 | 1,217 | 1,165 | 2,382 | 32,317 | 30,495 | 62,812 | 14 | 12 | 26 | 13(9) | 14(9) | 27(18) |

定員 195名

※退所者の()は精神科再入院再掲

(2) 年齢別構成

ア 入所利用者

| 区分 年齢 | 平成30年3月31日現在 | | | 平成31年3月31日現在 | | | 令和2年3月31日現在 | | |
|-------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 30歳未満 | 1名 | 1名 | 2名 | 2名 | 1名 | 3名 | 2名 | 1名 | 3名 |
| 30歳以上～40歳未満 | 3名 | 3名 | 6名 | 4名 | 2名 | 6名 | 5名 | 1名 | 6名 |
| 40歳以上～50歳未満 | 14名 | 12名 | 26名 | 13名 | 10名 | 23名 | 10名 | 10名 | 20名 |
| 50歳以上～60歳未満 | 21名 | 21名 | 42名 | 22名 | 24名 | 46名 | 24名 | 26名 | 50名 |
| 60歳以上～65歳未満 | 21名 | 7名 | 28名 | 19名 | 7名 | 26名 | 19名 | 7名 | 26名 |
| 65歳以上～70歳未満 | 26名 | 23名 | 49名 | 24名 | 24名 | 48名 | 27名 | 24名 | 51名 |
| 70歳以上 | 15名 | 32名 | 47名 | 17名 | 30名 | 47名 | 17名 | 28名 | 45名 |
| 計 | 101名 | 99名 | 200名 | 101名 | 98名 | 199名 | 104名 | 97名 | 201名 |
| 平均年齢 | 60歳 5ヵ月 | 62歳 6ヵ月 | 61歳 6ヵ月 | 59歳 10ヵ月 | 63歳 0ヵ月 | 61歳 5ヵ月 | 60歳 0ヵ月 | 63歳 2ヵ月 | 61歳 6ヵ月 |
| 最高年齢 | 84歳 2ヵ月 | 88歳 7ヵ月 | | 85歳 5ヵ月 | 89歳 7ヵ月 | | 86歳 2ヵ月 | 86歳 0ヵ月 | |
| 最少年齢 | 26歳 10ヵ月 | 23歳 7ヵ月 | | 24歳 5ヵ月 | 24歳 7ヵ月 | | 25歳 5ヵ月 | 25歳 7ヵ月 | |

イ 地域生活移行者に対する支援活動の利用者

| 区分 年齢 | 平成30年3月31日現在 | | | 平成31年3月31日現在 | | | 令和元年3月31日現在 | | |
|-------------|--------------|-------------|------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 30歳未満 | 0名 | 1名 | 1名 | 0名 | 1名 | 1名 | 0名 | 1名 | 1名 |
| 30歳以上～40歳未満 | 2名 | 4名 | 6名 | 2名 | 3名 | 5名 | 1名 | 3名 | 4名 |
| 40歳以上～50歳未満 | 5名 | 3名 | 8名 | 5名 | 1名 | 6名 | 6名 | 1名 | 7名 |
| 50歳以上～60歳未満 | 14名 | 7名 | 21名 | 9名 | 7名 | 16名 | 9名 | 7名 | 16名 |
| 60歳以上～65歳未満 | 4名 | 0名 | 4名 | 5名 | 0名 | 5名 | 4名 | 0名 | 4名 |
| 65歳以上～70歳未満 | 10名 | 6名 | 16名 | 8名 | 4名 | 12名 | 2名 | 3名 | 5名 |
| 70歳以上 | 11名 | 10名 | 21名 | 11名 | 1名 | 12名 | 14名 | 2名 | 16名 |
| 計 | 46名 | 31名 | 77名 | 40名 | 17名 | 57名 | 36名 | 17名 | 53名 |
| 平均年齢 | 60歳 5ヶ月 | 52歳 2ヶ月 | 58歳 0ヶ月 | 60歳 1ヶ月 | 55歳 11ヶ月 | 58歳 11ヶ月 | 62歳 1ヶ月 | 54歳 6ヶ月 | 59歳 9ヶ月 |
| 最高年齢 | 83歳 2ヵ月 | 82歳 11ヵ月 | — | 84歳 2ヶ月 | 72歳 0ヶ月 | — | 85歳 2ヶ月 | 72歳 8ヶ月 | — |
| 最少年齢 | 36歳 10ヵ月 | 25歳 9ヵ月 | — | 38歳 1ヶ月 | 26歳 9ヶ月 | — | 38歳 10ヶ月 | 27歳 9ヶ月 | — |

(3) 在籍年数

入所利用者

| 年数 | 平成30年3月31日現在 | | | 平成31年3月31日現在 | | | 令和2年3月31日現在 | | |
|-------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|-----------|-------------|------------|-----------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 1年未満 | 11名 | 7名 | 18名 | 16名 | 10名 | 26名 | 14名 | 11名 | 25名 |
| 1年以上～5年未満 | 35名 | 30名 | 65名 | 29名 | 26名 | 55名 | 36名 | 24名 | 60名 |
| 5年以上～10年未満 | 26名 | 27名 | 53名 | 27名 | 27名 | 54名 | 28名 | 26名 | 54名 |
| 10年以上～15年未満 | 15名 | 11名 | 26名 | 16名 | 10名 | 26名 | 14名 | 14名 | 28名 |
| 15年以上～20年未満 | 8名 | 8名 | 16名 | 7名 | 8名 | 15名 | 5名 | 6名 | 11名 |
| 20年以上～30年未満 | 5名 | 11名 | 16名 | 5名 | 9名 | 14名 | 6名 | 8名 | 14名 |
| 30年以上 | 1名 | 5名 | 6名 | 1名 | 8名 | 9名 | 1名 | 8名 | 9名 |
| 計 | 101名 | 99名 | 200名 | 101名 | 98名 | 199名 | 104名 | 97名 | 201名 |
| 平均在籍年数 | 7年 5ヵ月 | 10年 4ヵ月 | 8年 10ヵ月 | 7年 4ヵ月 | 10年 9ヵ月 | 9年 0ヵ月 | 7年 3ヵ月 | 10年 3ヵ月 | 8年 8ヵ月 |

(4) オンブズパーソンの活用

登坂法律事務所
立教大学
東京地検社会復帰支援室・社会福祉アドバイザー

登坂 真人 弁護士
飯村 史恵 教授
丸市 豊也 社会福祉士

| 項目 | 件数 | 内容 | 対応の結果 |
|---------|------|-----------------|-------|
| 利用者の相談等 | 118件 | 施設や職員について (27件) | 解決済み |
| | | 今後の生活について (30件) | |
| | | 体調面について (21件) | |
| | | 家族関係について (8件) | |
| | | その他 (32件) | |

(5) 人材育成

職員研修の状況

| 研修内容 | 参加数 | 研修内容 | 参加数 |
|---------------|------|------------------|------|
| 全国社会福祉協議会各種研修 | 6名 | 全国救護施設協議会各種研修 | 3名 |
| 関東地区救護施設職員研修会 | 3名 | 東京都多摩総合福祉センター | 10名 |
| 東京救護部会職員研修会 | 2名 | 東京都社会福祉人材センター | 6名 |
| 内部研修 | 324名 | 救急救命講習 (止血と支持包帯) | 38名 |
| 各種法人内研修 | 132名 | 合 計 | 524名 |

(6) 退所者アフターケア実績 (延べ人数)

(単位:名)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 電話相談 | 52 | 48 | 38 | 71 | 63 | 43 | 59 | 61 | 64 | 75 | 84 | 90 | 748 |
| 家庭訪問 | 32 | 21 | 21 | 60 | 27 | 28 | 27 | 21 | 23 | 20 | 43 | 43 | 366 |
| 来所相談 | 30 | 22 | 33 | 28 | 32 | 22 | 29 | 33 | 29 | 40 | 45 | 30 | 373 |
| 夜間対応 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 緊急対応 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 10 |

(7) 通所事業実績 (措置利用分) (実人員)

(単位:名)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 通所訓練 | 34 | 34 | 32 | 33 | 33 | 33 | 33 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 392 |
| 訪問指導 | 34 | 34 | 32 | 33 | 33 | 33 | 33 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 392 |

(8) 退所者等一時入所 (ショートステイ) 実績

| 性別 | 延べ人数 | 延べ日数 | 平均利用日数 |
|----|------|-----------|--------|
| 男 | 17名 | 86 (51) 日 | 4.1日 |
| 女 | 15名 | 46 (19) 日 | |

※ () は東京都保護施設一時入所事業利用者 (再掲)。

【6】特別養護老人ホーム やすらぎの園

1 施設の運営方針

やすらぎの園は、利用者の尊厳を守り安全に配慮しながら、身体残存能力を生かした日常生活動作の向上を目指し、いきいきと楽しく生活が送れるよう、利用者・ご家族の同意を得ながら生活支援を行った。

地域密着型ユニットは、少人数ケアの特徴を生かして、四季折々の外出や行事催事等、在宅の延長としての家庭的なサービスの提供に努めた。

一般通所介護事業デイサービスやすらぎは、地域高齢者の在宅生活維持と充実を支援するため、関連事業所と情報交換等の連携を図るとともに、ボランティアとの交流や外出支援など、利用者等の希望を取り入れることでサービスの向上に努めた。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|-------|------|---------------|-------------|--------|
| 入 所 | 116名 | 109名 | 107名 | 98.2% |
| ユニット型 | 20名 | 20名 | 19名 | 95.0% |
| 短期入所 | 4名 | 4名 | 4名 | 100.0% |
| 通 所 | 30名 | 26名 | 24名 | 92.3% |

※やすらぎの園 入院患者数の推移

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|--------|--------|-------|
| 入院患者数 | 49名 | 62名 | 58名 |
| 対前年度増減数 | 8名 | 13名 | ▲4名 |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収 入 | 696,133千円 | 709,021千円 | 709,503千円 | 716,855千円 | 101.0% |
| 支 出 | 690,114千円 | 705,029千円 | 708,084千円 | 716,359千円 | 101.2% |
| 収支差額 | 6,019千円 | 3,992千円 | 1,419千円 | 496千円 | - |

令和元年度決算額の収入には、施設整備等積立資産取崩額31,000千円を含む。

※人件費の状況

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費率 | 66.1% | 64.3% | 56.3% | 61.4% | 67.4% |
| 金 額 | 466,834 千円 | 447,011 千円 | 392,200 千円 | 420,202 千円 | 453,592 千円 |
| 対前年度 増減額 | - | ▲19,823 千円 | ▲54,811 千円 | 28,002 千円 | 33,390 千円 |

(3) 人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和 2 年 3 月 31 日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B - A | |
|---------|---------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|--------------------|------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | | |
| 施設長 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 | |
| 副施設長 | | | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 | |
| 医師 | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | | 1.0 | | 0.2 | 0.2 | 0.0 | |
| 栄養士 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 | |
| 事務員・日直員 | | | | 4.0 | 4.0 | 3.0 | 3.0 | | 1.0 | 4.0 | 0.0 | |
| 相談員 | 2.0 | | 2.0 | | 2.0 | 2.0 | | | | 2.0 | 0.0 | |
| 計 | 4.2 | 0.0 | 4.2 | 5.0 | 9.2 | 8.0 | 4.0 | 0.0 | 1.2 | 9.2 | 0.0 | |
| 従来型 | 看護師 | 3.0 | 1.0 | 4.0 | 0.5 | 4.5 | 4.0 | 1.0 | | 0.5 | 4.5 | 0.0 |
| | 機能訓練士 | 1.2 | | 1.2 | | 1.2 | 1.0 | 1.0 | | 0.2 | 1.2 | 0.0 |
| | 介護職員 | 37.0 | 2.0 | 39.0 | 3.0 | 42.0 | 29.0 | 12.0 | | 8.6 | 37.6 | ▲4.4 |
| | 介護支援 専門員 | 2.0 | | 2.0 | | 2.0 | 2.0 | | | | 2.0 | 0.0 |
| | 計 | 43.2 | 3.0 | 46.2 | 3.5 | 49.7 | 36.0 | 14.0 | 0.0 | 9.3 | 45.3 | ▲4.4 |
| ユニット型 | 看護師 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | 0.2 | 1.2 | 0.2 |
| | 機能訓練士 (再掲) | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | | 1.0 | | 0.2 | 0.2 | 0.0 |
| | 介護職員 | 7.0 | | 7.0 | | 7.0 | 5.0 | 5.0 | | 2.6 | 7.6 | 0.6 |
| | 介護支援 専門員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| | 計 | 9.2 | 0.0 | 9.2 | 0.0 | 9.2 | 7.0 | 7.0 | 0.0 | 3.0 | 10.0 | 0.8 |

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A | |
|--------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|------------------|-----|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | | |
| デイサービス | 相談員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 2.9 | | | 2.9 | 1.9 | |
| | 看護師 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 2.0 | 1.4 | 1.4 | 0.4 | |
| | 介護職員 | 4.0 | | 4.0 | | 4.0 | 1.0 | 15.0 | 6.1 | 7.1 | 3.1 | |
| | 機能訓練士 | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | | 1.0 | 0.2 | 0.2 | 0.0 | |
| | 運転手 | | | | | 0.0 | | 3.0 | | 1.5 | 1.5 | 0.0 |
| | 計 | 6.2 | 0.0 | 6.2 | 0.0 | 6.2 | 3.9 | 21.0 | 0.0 | 9.2 | 13.1 | 6.9 |
| 合 計 | 62.8 | 3.0 | 65.8 | 8.5 | 74.3 | 54.9 | 46.0 | 0.0 | 22.7 | 77.6 | 3.3 | |

※ デイサービスは週6日の稼働に合わせた人員数であるが、今後は週5日稼働とする見直しが必要である。

(4) 課題と改善策

ア 特別養護老人ホームの機能を高度化するシステムの構築と推進

(ア) 職員の希望に沿った施設内研修を充実させ、ケアの質向上委員会を実施。

年間計画をもとに更なる介護力の向上に取り組んだ。また、DVDなどを使い職員全員がいつでも聴講できる体制作りに取り組んだ。

(イ) 個別支援計画の推進を図り、各専門職を中心に検討。残存能力を活かしたケアを実施した。

イ 利用者ニーズに対応した介護力・看護力の向上

(ア) 利用者一人ひとりの個別ケアを支援し、在宅の延長としての家庭的なサービスの充実に努めた。

(イ) 利用者のニーズやご家族の思いを丁寧に傾聴し、尊厳を持った接遇とケアプランによりその思いを反映させ、顧客満足度を高めるよう努めた。

3 収支の安定確保

(1) 稼働率等や加算取得の見込み

ア 稼働率の維持

法人内外の医療機関、介護保険事業所等と連携し、新規入所待機者を確保するとともに、入所者の健康管理を強化し、稼働率を低下させる要因である入院

者の減少に努めた。

イ 加算取得

(ア) 障害者生活支援加算の取得を目標として、要件である視覚、聴覚、知的、言語の障がいのある利用者が 15 名以上の在籍、かつ障害者生活支援員を 1 名配置の基準を達成するため今後も努力していく。

(イ) 4 階ユニットに看護職員を 1 名増員し、看護業務の体制を拡充するとともに、令和元年 6 月 1 日より看護体制加算を取得した。

(2) 経費節減や未収金回収の対応について

ア 経費節減

経費節減策として、一般競争入札の実施による契約の見直しや、適正なオムツの使用にあたって業者による研修を実施するなど、効率的な業務見直しを図り節約に努めた。

イ 未収金回収

使用料未収金について、関係機関、関係者等と協議を重ね、入所者の同意を得て、令和元年 8 月より本人受給の年金から返還する手続きを行った。

4 利用者の安全・安心確保とサービスの向上

(1) 安心・安全な環境づくり

ア 危機管理委員会を毎月開催、事故発生における原因や要因を分析共有し、事故防止に取り組んだ。

イ 虐待の芽チェックリスト（東京都福祉保健財団高齢者権利擁護支援センター作成）を用いたアンケート調査を実施、結果について職員間で共有、虐待防止に関する研修に参加させることで、利用者の安心・安全な環境づくりに取り組んだ。

ウ 感染症対策委員会を毎月開催、職員の感染症リスクに対する意識を高めるとともに、施設内の感染拡大に努めた。

エ 施設内苦情解決委員会を毎月開催、利用者やご家族からの苦情、注意、要望等に関して同じことは起こさないという観点から迅速かつ適切に随時ミーティングを開催し、職員間で情報共有するなど対応の徹底を図った。

(2) デイサービス事業の充実

ア 地域高齢者の在宅生活を支援するため、利用者のニーズを把握するとともに、近隣事業所と情報交換し、地域包括ケアシステムを視野に入れたサービスの提供に努めた。

イ 在宅における日常生活が維持できるよう、身体残存機能の低下防止を重点としたリハビリ計画が実施できるよう努めた。

5 人材育成

(1) 法人研修委員会が実施する専門研修を中心に、全職員が参加できる機会を計画的に付与し、全体のレベルアップを図った。また、施設内研修委員会は法人研修委員と連携し施設内固有の問題解決に資する研修を企画、立案した。

ア 法人研修・専門研修

- ・権利擁護研修……………3名
- ・労務管理研修……………5名
- ・クレーム対応研修……………6名
- ・リスクマネジメント研修……………4名
- ・尊厳・自立・QOL向上研修……………11名

イ 施設内研修

- ・感染症予防対策研修……………9名
- ・介護録の書き方研修……………12名
- ・身体拘束、介護事故研修（年2回）……………13名
- ・排泄ケア、褥瘡予防研修……………11名
- ・看取りケアDVD視聴……………全職員

ウ 派遣研修……………19名

（ユニットリーダー研修・高齢者虐待研修・介護記録研修等）

6 その他

(1) 施設内入所者に対する権利擁護の状況（コンプライアンス）

ア プライバシー保護を徹底した。（更衣・排泄・入浴時）

イ 虐待の芽チェックリストによる調査を実施した。

ウ 権利擁護研修に3名参加、参加職員による施設内研修を行い権利擁護についての意識向上を図った。

(2) 施設における新たな取り組み

I C T化活用促進事業（補助金対象事業）の取り組みとして「入所者見守り支援及び情報一元管理体制整備」を関連業者とも連携を図り検討を始めた。

〔参考資料〕

1 特別養護老人ホーム

(1)入退所状況

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------------------------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 入所者 | 男 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 10 |
| | 女 | 2 | 4 | 4 | 2 | 5 | 4 | 3 | 2 | 4 | 0 | 1 | 5 | 36 |
| 退所者 | 男 | 1 | 0 | 3 | 3 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 13 |
| | 女 | 6 | 3 | 0 | 4 | 5 | 3 | 2 | 3 | 0 | 1 | 2 | 2 | 31 |
| 月末 入所者数 | 男 | 31 | 31 | 27 | 28 | 28 | 28 | 26 | 28 | 30 | 27 | 26 | 27 | 337 |
| | 女 | 103 | 104 | 109 | 106 | 101 | 106 | 107 | 104 | 110 | 106 | 106 | 108 | 1270 |
| | 計 | 134 | 135 | 136 | 134 | 129 | 134 | 133 | 132 | 140 | 133 | 132 | 135 | 1607 |
| 平均介護度 3.97 (男性平均 3.70、女性平均 4.04) | | | | | | | | | | | | | | |

(2)入所者年齢構成

| | ～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85～89歳 | 90～94歳 | 95～99歳 | 100歳～ | 計 |
|--|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 男 | 3 | 0 | 2 | 5 | 10 | 4 | 2 | 0 | 1 | 27 |
| 女 | 0 | 0 | 3 | 7 | 16 | 27 | 29 | 17 | 9 | 108 |
| 計 | 3 | 0 | 5 | 12 | 26 | 31 | 31 | 17 | 10 | 135 |
| 比率 | 2.2% | 0.0% | 3.7% | 8.9% | 19.3% | 23.0% | 23.0% | 12.6% | 7.4% | |
| 男性 平均80.4歳 女性 平均89.2歳 全体平均87.5歳 最高105歳 最低62歳 | | | | | | | | | | |

(3)入所者在籍年数

| | 1年未満 | 2年未満 | 3年未満 | 5年未満 | 10年未満 | 20年未満 | 25年未満 | 25年以上 | 計 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 男 | 8 | 6 | 2 | 5 | 6 | 0 | 0 | 0 | 27 |
| 女 | 32 | 11 | 11 | 21 | 29 | 6 | 0 | 0 | 110 |
| 計 | 32 | 27 | 22 | 32 | 46 | 6 | 0 | 0 | 137 |
| 比率 | 23.4% | 19.7% | 16.1% | 23.4% | 33.6% | 4.4% | 0.0% | 0.0% | 120.4% |
| 男性平均2年8ヵ月 女性平均3年9ヵ月 全体平均3年7ヵ月 男性最長7年11ヵ月 女性最長16年8ヵ月 | | | | | | | | | |

2 短期入所生活介護事業(ショートステイ)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 実人員数 | 20 | 24 | 26 | 22 | 21 | 23 | 18 | 22 | 22 | 21 | 14 | 3 | 236 |
| 延べ人員数 | 134 | 180 | 176 | 141 | 113 | 132 | 134 | 164 | 149 | 150 | 97 | 26 | 1596 |
| 1日利用平均 | 4.5 | 5.8 | 5.9 | 4.5 | 3.6 | 4.4 | 4.3 | 5.5 | 4.8 | 4.8 | 3.5 | 0.8 | 4.4 |
| 平均介護度 2.90 | | | | | | | | | | | | | |

3 通所介護事業(デイサービス)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 実人員数 | 64 | 61 | 62 | 63 | 61 | 64 | 64 | 65 | 63 | 63 | 63 | 58 | 751 |
| 延べ人員数 | 601 | 586 | 600 | 604 | 576 | 565 | 592 | 611 | 629 | 579 | 577 | 615 | 7135 |
| 1日利用平均 | 27.8 | 27.3 | 26.8 | 25.3 | 22.6 | 24.6 | 26.4 | 26.3 | 23.9 | 24.9 | 24.4 | 25.2 | 25.5 |
| 平均介護度 2.05 | | | | | | | | | | | | | |

【7】南台病院

1 施設の運営方針

南台病院は、令和元年11月にC病棟28床を医療療養病棟から地域包括ケア病棟へ変更し、入院料4での届出を行った。入院患者の入退院を速やかに行い、自宅等からの患者を1割以上受入ることにより、2月にはさらに上位の診療報酬基準である入院料3の届出を行うことができた。地域包括ケア病棟開設は、当初7月開設の予定であったが、看護師の採用が予定どおりいかず、11月開設に至ったところである。また、電子カルテシステムの導入については、院内の情報一元化やスタッフ間の情報共有等を目的とし6月以降運用の確認や操作研修等を実施し、本格稼働開始に向け技術の習得と意識向上に努め、11月19日から本格的に稼働させることができた。

入院及び外来患者数については、第三次補正において、1日平均入院患者数を113名、外来患者数を122名と修正したが、その後、疥癬の発生や新型コロナウイルス感染症の発生もあり、目標に達成することができなかった。また、健康診断においても新型コロナウイルス感染症の影響で、集団での健康診断を避けるため、受診日の延期を強いられたこともあり受診者数は激減した。

1人1日診療単価においては、入院診療単価及び外来診療単価共に増となった。特に、入院診療単価は、11月に地域包括ケア病棟28床の増床が一番の要因となった。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の終息もまだ見えてこない状況ではあるが、黎明会内特に南台病院内での発生を未然に防ぐことに最大の注意を払いながら、経営改善に向け一層努力していく。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|----|------|---------------|-------------|-------|
| 入院 | 122名 | 116.0名 | 110.6名 | 95.3% |
| 外来 | --- | 139.0名 | 113.2名 | 81.4% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収入 | 1,221,472千円 | 1,485,772千円 | 1,269,752千円 | 1,285,504千円 | 101.2% |
| 支出 | 1,188,318千円 | 1,358,788千円 | 1,263,649千円 | 1,276,096千円 | 101.0% |
| 収支差額 | 33,154千円 | 126,984千円 | 6,103千円 | 9,408千円 | --- |

令和元年度決算額の収入には、施設整備等積立資産取崩額(55,779千円)を含む。

※人件費の状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 人件費率 | 72.8% | 72.3% | 67.0% | 64.4% | 73.0% |
| 金額 | 884,899千円 | 854,396千円 | 784,142千円 | 781,631千円 | 879,532千円 |
| 対前年度 増減額 | --- | ▲30,503千円 | ▲70,254千円 | ▲2,511千円 | 97,901千円 |

(3) 人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|---------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 医 師 | 8.0 | 3.8 | 11.8 | | 11.8 | 5.0 | 18.0 | | 4.8 | 9.8 | ▲2.0 |
| 歯科医師 | | | | 0.4 | 0.4 | | 2.0 | | 0.4 | 0.4 | 0.0 |
| 薬剤師 | 2.0 | | 2.0 | 0.5 | 2.5 | 2.0 | 2.0 | | 0.5 | 2.5 | 0.0 |
| 診療放射線技師 | | | | 2.5 | 2.5 | 2.0 | 2.0 | | 0.5 | 2.5 | 0.0 |
| 臨床検査技師 | | | | 3.6 | 3.6 | 2.0 | 4.0 | | 1.6 | 3.6 | 0.0 |
| 管理栄養士 | 1.0 | 1.0 | 2.0 | | 2.0 | 2.0 | | | | 2.0 | 0.0 |
| 理学療法士 | | 5.0 | 5.0 | 1.2 | 6.2 | 4.0 | 2.0 | | 0.2 | 4.2 | 0.0 |
| 作業療法士 | | | | | | 2.0 | | | 2.0 | | |
| 言語聴覚士 | | | | 0.1 | 0.1 | | 1.0 | | 0.1 | 0.1 | 0.0 |
| 看護師(外来・病棟) | 38.0 | 19.0 | 57.0 | 1.0 | 58.0 | 41.0 | 25.0 | 3.0 | 15.3 | 56.3 | ▲1.7 |
| 看護師(医療相談室) | | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 保健師(健康管理室) | | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 1.7 | 1.0 | 1.0 | | 0.7 | 1.7 | 0.0 |
| 介護職員 | 22.0 | 8.6 | 30.6 | | 30.6 | 22.0 | 14.0 | 8.0 | 8.6 | 30.6 | 0.0 |
| 歯科衛生士 | | | | 0.4 | 0.4 | | 2.0 | | 0.4 | 0.4 | 0.0 |
| 事務員 | | 1.0 | 1.0 | 5.8 | 6.8 | 6.0 | 2.0 | | 0.8 | 6.8 | 0.0 |
| 社会福祉士 | | 3.0 | 3.0 | | 3.0 | 3.0 | | | | 3.0 | 0.0 |
| その他(運転手・クレーン) | | | | 1.5 | 1.5 | | 6.0 | | 1.5 | 1.5 | 0.0 |
| 合 計 | 71.0 | 43.4 | 114.4 | 17.7 | 132.1 | 93.0 | 81.0 | 11.0 | 35.4 | 128.4 | ▲3.7 |

※ 理学療法士・作業療法士のうち1名は地域包括ケア病床分。レセプト点検は業務委託で常勤職員6名、非常勤職員2名。

3 収支の安定確保

(1) 広報活動の強化

ア 平成28年6月から病院広報紙「みなみかぜ」を毎月発行し、令和元年度においても地域住民等に対して病院の知名度を向上させるため、院内及び法人施設への広報紙の備付をはじめ、近隣自治会掲示板、近隣マンション掲示板及び大規模スーパーストア掲

示板への掲示、近隣院外薬局、コンビニエンスストア、タクシー車内の備付など広報紙の掲示や配布場所の拡大に努めた。

(2) 各種健康講演会等の開催

ア 平成31年4月24日（水）小平市施設「上水新町地域センター」において、当院の副院長勝見医師による「健診結果の正しい見方」をテーマにした講演会を開催した。参加者 16名。

イ 令和元年7月17日（水）小平市施設「上水新町地域センター」において、当院の副院長勝見医師による「よくある消化器の病気・機能性ディスペプシア」をテーマにした講演会を開催した。参加者 4名。

ウ 令和元年11月20日（水）小平市施設「上水新町地域センター」において、当院の副院長勝見医師、地域医療連携室山本主査による「地域包括ケア病棟について」をテーマにした講演会を開催した。参加者 7名。

(3) 病病・病診連携の強化

ア 医師、看護師、医療連携室職員、事務職員がチームとなり近隣医療機関への訪問活動を実施した。また、南台病院医療連携・相談室から紹介実績のある医療機関をはじめ近隣医療機関の医療連携部門に当院の空床状況を電話やファックス等にて情報提供を行い空床解消に努めた。

※別紙1「令和元年度 訪問活動実績」参照

イ 救護施設、障害者支援施設、特別養護老人ホームなどの利用者に対して南台病院が培った実績を生かした診療を行うとともに、近隣施設の利用者に対しても南台病院をより利用しやすい環境づくりのため、黎明会施設所有の車両を借用して週2回・1日3往復を運行し患者誘致に努めた。

実績：平成31年4月から令和2年3月までの期間136名受診

ウ 近隣の社会福祉施設に対して入所者の健康管理を行うとともに南台病院への受診誘導を促進するため医師の派遣に努めた。

- ① 社会福祉法人村山苑救護施設村山荘 月2回派遣（延585名受診）
- ② 介護老人福祉施設緑友会小川ホーム 週1回派遣（延790名受診）
- ③ 社会福祉法人東京都同胞援護会サンホーム 月2回派遣（延122名受診）

(4) 診療単価の向上

令和元年11月から、医療療養病棟(28床)であったC病棟を地域包括ケア病棟へ、A病棟内で開設していた地域包括ケア病床8床を一般病床へ変更し、一般病床を36床とした。

また、血液検査やCT検査等の施行が定期的に行えるよう、検査施行表及び次回検査予定表を医事課が作成し、医師がこれによりチェックできる体制を整え、診療単価の向上に努めた。

1人1日当たりの診療単価の月別推移(保険外除)

(単位：円)

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| A病棟 | 一般病床 | 24,948 | 23,379 | 24,465 | 24,776 | 23,557 | 23,195 |
| | 地包ケア病床 | 29,795 | 29,437 | 30,902 | 29,835 | 31,650 | 29,634 |
| B病棟 | | 18,184 | 18,424 | 18,415 | 18,000 | 18,172 | 18,343 |
| C病棟 | 医療療養病棟 | 18,942 | 18,910 | 19,852 | 19,878 | 18,886 | 18,537 |
| 入院合計 | | 20,280 | 20,114 | 20,629 | 20,498 | 20,208 | 19,873 |
| 外 来 | | 5,250 | 5,592 | 5,396 | 5,378 | 5,398 | 4,975 |
| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| A病棟 | 一般病床 | 24,469 | 23,218 | 21,999 | 23,637 | 23,263 | 22,622 |
| | 地包ケア病床 | 28,250 | --- | --- | --- | --- | --- |
| B病棟 | | 18,843 | 18,953 | 19,126 | 18,975 | 19,200 | 19,321 |
| C病棟 | 医療療養病棟 | 18,711 | --- | --- | --- | --- | --- |
| | 地域包括ケア | --- | 26,402 | 26,915 | 26,740 | 28,937 | 28,664 |
| 入院合計 | | 20,399 | 21,829 | 21,514 | 21,984 | 22,655 | 22,436 |
| 外 来 | | 5,220 | 5,126 | 5,125 | 5,469 | 5,219 | 5,193 |

※A病棟：4月～10月は、一般病床28床、地域包括ケア病床8床

11月から一般病床36床

C病棟：4月～10月は、医療療養病棟28床、11月から地域包括ケア病棟28床

(5) 健診業務の拡大

ア 南台病院の健診を利用している企業からの紹介による健診の拡大を図ったほか、近隣企業への訪問を強化するとともに、出張健診など企業が利用しやすい土・日曜日の実施、大手企業に対し受診者数に応じた料金設定など、細やかな対応を行い健診者増に努めた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、受診日を延期せざるを得なくなり、受診者数が平成30年度と比較し1,680名減少した。

イ 南台病院協力医療機関として東村山市の久米川病院と婦人科及び乳腺健診の委託契約を締結し、協会けんぽ生活習慣病予防健診者数の増加に努めた。

4 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 感染症の予防等について

ア 令和元年度四半期は、新型コロナウイルス感染症が流行し、感染管理認定看護師による厚労省からの新たな情報のたびに緊急の感染対策委員会を開き、職員へ感染対策の周知を行った。また、面会中止やマスクを着用してこない患者の院内への立ち入りを禁止するなどの対策をとり、院内への感染を防ぐため徹底した予防対策をとった。

イ 令和元年度のインシデント・アクシデントレポート件数は266件であった。

レベル0と1については、準備時や実施直前または、実施後の確認作業が十分でなかったため発生していたことから業務手順や業務マニュアルに沿った業務実施体制に努めるとともに、医療安全管理者をはじめ病棟・外来責任者によるダブルチェックの確認の励行などを通じて指導し再発防止に努めた。

令和元年度において、南台病院で発生したインシデント発生状況

| レベル | 主な内容 | 件数 |
|-----|---|------|
| 0 | <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテの確認不足があり、指示時間に抗生剤の投与されなかった事例 患者の受診目的を確認せずに採血ラベルがあったため採血をした事例 スピッツが不足し、再度採血した事例 | 69件 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 入浴のため脱衣した際、患者の皮膚に皮下出血があった事例 経鼻経管栄養チューブの薬剤が詰まったため再度挿入した事例 誤った食札を入れ、形態の違う食事を入れて配膳した事例 | 91件 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ストレッチャーからベッドへの移動時に経鼻胃管カテーテルが抜去された事例 精神疾患や理解力低下のある患者が点滴やルートを抜去した事例 点滴を自己抜去した事例 | 106件 |
| 3 | --- | 0件 |

レベル0……当該行為等が患者様には実施されていないが、実施された場合、何らかの被害が生じたであろうと予測できる事案

レベル1……当該行為等が患者様に実施されたが、結果的に被害がなかった事案

レベル2……当該行為等を原因として、患者にバイタルサインに変化が生じ、観察強化や検査の必要が生じた事案

レベル3……当該行為等を原因として、患者のバイタルサインに変化が生じ、新たな治療や処置が必要となった事案

レベル4……当該行為等を原因とする後遺症が残る可能性が生じた事案

レベル5……当該行為等が原因となって患者が死亡した事案

(2) 健康無料相談会の開催

患者などからの医療的な疑問や質問などに対して、身近な相談窓口として機能させるため、また、専門職員から助言などができるよう医師、看護師、薬剤師等の輪番による無料健康相談会を毎週水曜日に開催した。

(3) 訪問診療実績

住み慣れた地域での生活を支えるため、医師及び看護師が在宅患者を定期的に訪問し診療、治療、薬の処方、療養上の相談及び生活指導等を行った。

| | | | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
| 人数 | 5名 | 5名 | 6名 | 6名 | 6名 | 6名 | 6名 |
| 訪問回数 | 9回 | 9回 | 11回 | 11回 | 11回 | 11回 | 11回 |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
| 人数 | 6名 | 6名 | 6名 | 6名 | 6名 | 70名 | |
| 訪問回数 | 11回 | 11回 | 11回 | 11回 | 11回 | 128回 | |

(4) 「利用者の声」の把握と対応

院内5箇所に投書箱を設置し、利用者からの苦情・要望などを収集し、院長以下幹部職員が出席するスタッフ会議で投書内容を検討し、職員への周知が必要な場合には、部門責任者が出席する運営会議に報告し改善に努めた。

| | 主な内容 | 件数 |
|----|--|----|
| 苦情 | <ul style="list-style-type: none"> ・すごく無礼な言い方をする。他の先生に替えてほしい。 ・男性医師の診察態度が気に入りません。もっと患者側の立場に立って診察をお願いします。 | 8件 |
| お礼 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ一同の対応にとっても感謝致しております。 | 1件 |

5 人材育成

(1) 法人内研修会への参加状況

別紙2「令和元年度 法人研修実績」

(2) 外部研修会への参加状況

別紙3「令和元年度 外部研修実績」参照

(3) 看護職員復職支援事業（東京都）の実施

令和元年度看護職員復職支援事業を第1クール（令和元年9月2日～9月10日）、第2クール（令和元年12月4日～11日）と実施し、病院の看護職員を講師として実施した。受講者数は、第1クール1名、第2クール4名であった。当事業の実施により南台病院の知名度の向上と受講者からの看護師確保に有用であると考え今後も継続して実施する。

(4) 南台病院内のボランティア活動状況

令和元年度院内ボランティア活動は5団体により次のとおり実施された。

| 月日 | 団体名 | 人 | 活動内容 | |
|----------|-----|---------|------|---------|
| 4月3日(水) | B病棟 | ヒロシマ | 1 | ハーモニカ演奏 |
| 4月10日(水) | C病棟 | 歌謡同好会 | 6 | ナツメロ歌謡 |
| 5月8日(水) | C病棟 | あじさい会 | 8 | オカリナ演奏 |
| 6月5日(水) | B病棟 | エームサービス | | お茶娘 |
| 6月12日(水) | C病棟 | エームサービス | | お茶娘 |

| 月 日 | | 団体名 | 人 | 活動内容 |
|----------|-----|-------|---|---------|
| 7月3日(水) | B病棟 | 八千代会 | 5 | ナツメロ歌謡 |
| 7月10日(水) | C病棟 | あじさい会 | 8 | オカリナ演奏 |
| 9月4日(水) | B病棟 | ヒロシマ | 1 | ハーモニカ演奏 |
| 9月24日(水) | C病棟 | 八千代会 | 6 | ナツメロ歌謡 |
| 10月2日(水) | B病棟 | あじさい会 | 6 | オカリナ会 |
| 10月9日(水) | C病棟 | 八千代会 | 5 | ナツメロ歌謡 |

※8月は夏休みのため、11月から3月までの期間は院内感染防止のため休止

6 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

- (1) 法人内研修「権利擁護研修会」に各部門から職員を参加させるとともに、出席者による部門内研修を伝達研修により実施させるなど職員の意識の共有化に努めた。
- (2) 院内研修オンライン講義により倫理研修会を全職員対象に実施し、研修修了後は各自レポートを提出させるなど権利擁護意識の醸成に努めた。また、職員各自の行動基準を個人目標に組み入れ、南台病院の運営理念に基づき日々の患者ケアに反映させた。

7 入札によるシステム等導入

- | | | |
|---------------------|-------|------------|
| (1) 複合機入替 (2台) | (税別費用 | 719 千円) |
| (2) 一般撮影 FPD 装置一式導入 | (税別費用 | 8,600 千円) |
| (3) 医事会計システム導入 | (税別費用 | 21,455 千円) |
| (4) 電子カルテシステム導入 | (税別費用 | 42,344 千円) |
| (5) 2号館2階浴室・トイレ改修工事 | (税別費用 | 2,950 千円) |
| (6) 臨床化学自動分析装置他入替 | (税別費用 | 21,295 千円) |

8 営繕工事

- | | | |
|---------------|--------|---------|
| (1) 2号館地下配管修繕 | (税別工事費 | 735 千円) |
| (2) 3号館動力電源工事 | (税別工事費 | 328 千円) |

【別紙1】

令和元年度 訪問活動及び来院対応実績

| | | | | |
|---------|-----|-----------------------|--------|----------------------|
| 平成31年4月 | 13日 | 今鷹医院(小平市) | 入院患者相談 | |
| | 22日 | 平田循環器内科(立川市) | | |
| | 22日 | 立川在宅ケアクリニック(立川市) | | |
| | 22日 | 東大和病院(東大和市) | | |
| 令和元年5月 | 8日 | 小平市役所高齢福祉課(小平市) | | |
| | 10日 | 東大和病院(東大和市) | | |
| 令和元年6月 | 25日 | 災害医療センター(立川市) | | |
| 令和元年7月 | 2日 | 青梅東部病院(青梅市) | | |
| | 2日 | 新所沢清和病院(所沢市) | | |
| | 3日 | プラチナヴィラ小平(小平市) | | |
| | 5日 | なごみの里(昭島市) | | |
| | 18日 | 飯能老年病センター(飯能市) | | |
| | 22日 | 災害医療センター(立川市) | | |
| 令和元年8月 | 6日 | ふじの温泉病院(相模原市) | | |
| 令和元年9月 | 4日 | 鶴川サナトリウム病院(町田市) | | |
| | 25日 | 聖パウロ病院(八王子市) | | |
| 令和元年10月 | 31日 | 緑成会病院(小平市) | | 地域包括ケア病棟開設の案内、入院患者相談 |
| | 31日 | 小川ホーム介護計画センター(小平市) | | |
| | 31日 | 小川ホーム(小平市) | | |
| | 31日 | 富士の家(小平市) | | |
| | 31日 | あい(小平市) | | |
| | 31日 | 小平ホームケアサービス(小平市) | | |
| | 31日 | あいさぽーと鷹の台(小平市) | | |
| | 31日 | えがお(小平市) | | |
| | 31日 | てとてと(小平市) | | |
| | 31日 | てとてと訪問看護(小平市) | | |
| | 31日 | みなみだい訪問看護サテライト(小平市) | | |
| | 31日 | けやきの郷サテライト(小平市) | | |
| | 31日 | ライフ(小平市) | | |
| | 31日 | ゆずる(小平市) | | |
| 令和元年11月 | 1日 | 東大和病院(東大和市) | | |
| | 1日 | 東大和ケアセンター(東大和市) | | |
| | 1日 | 向台老人ホーム(東大和市) | | |
| | 1日 | 風の樹(東大和市) | | |
| | 1日 | ほっとなんがい(東大和市) | | |
| | 1日 | ほっといもくぼ(在宅連携窓口)(東大和市) | | |
| | 1日 | 東大和病院ケアサポート(東大和市) | | |

| | | |
|------------|-----------|-----------------------|
| 令和元年 11 月 | 1 日 | ニチイケアセンター東大和(東大和市) |
| | 1 日 | おおたかクリニック(立川市) |
| | 1 日 | けやきの郷(小平市) |
| | 1 日 | けやきの郷包括(小平市) |
| | 1 日 | けやきの郷居宅(小平市) |
| | 1 日 | みなみだい訪問看護(小平市) |
| | 2 日 | ほっとなんがい(在宅連携窓口)(東大和市) |
| | 6 日 | 松前整形外科・形成・内科医院(小平市) |
| | 6 日 | キートスホーム(立川市) |
| | 6 日 | さいわい地域包括(立川市) |
| | 6 日 | ハイムガーデン立川幸町(立川市) |
| | 6 日 | わかば地域包括(立川市) |
| | 6 日 | わかばケアプランセンター(立川市) |
| | 6 日 | 鈴木慶やすらぎクリニック(立川市) |
| | 12 日 | 竹口病院(昭島市) |
| | 14 日 | 宮村クリニック(小平市) |
| | 14 日 | かなでケアステーション(小平市) |
| | 14 日 | 小平市医師会ケアマネセンター(小平市) |
| | 14 日 | いつもそばに(小平市) |
| | 14 日 | やさしい手(小平市) |
| | 14 日 | SOMPO ケア(小平市) |
| | 14 日 | 一橋病院(小平市) |
| | 14 日 | 一橋病院訪問看護(小平市) |
| 27 日 | 昭島病院(昭島市) | |
| 令和 2 年 1 月 | 29 日 | 青梅今井病院(青梅市) |
| 令和 2 年 2 月 | 17 日 | わかば(立川市) |
| | 27 日 | 東京街道病院(青梅市) |

【別紙 2】

令和元年度 法人研修実績

| 分類 | 月/日 | 研修名 | 参加者 |
|-------|-----------|--------------------------|-----|
| 職階別研修 | 4/1 (月) | 新任研修① | 5名 |
| | 4/2 (火) | 新任研修② | 5名 |
| | 4/3 (水) | 新任研修③ | 6名 |
| | 4/4 (木) | 新任研修④ | 6名 |
| | 4/8 (月) | 新任研修⑤ | 2名 |
| | 4/25 (木) | 役職者(係長以上)研修 | 14名 |
| 専門研修 | 5/10 (金) | 実践研究研修①(実践研究発表担当者) | 3名 |
| | 5/20 (月) | 権利擁護研修(新人必須・希望者・未受講者) | 2名 |
| 職階別研修 | 5/28 (火) | 係長研修① | 5名 |
| | 5/30 (木) | 課長研修① | 3名 |
| | 6/13 (木) | 係長研修② | 8名 |
| | 6/14 (金) | 課長研修② | 5名 |
| | 6/20 (木) | 課長研修③ | 2名 |
| | 7/3 (水) | 新任研修⑥(宿泊研修) | 7名 |
| | 7/4 (木) | | |
| | 7/11 (木) | 勤続3年目研修 | 1名 |
| 専門研修 | 7/12 (金) | 実践研究研修②(実践研究発表担当者) | 4名 |
| | 7/24 (水) | 労働法・労務管理セミナー | 1名 |
| 職階別研修 | 7/29 (月) | 勤続5年目研修 | 2名 |
| 専門研修 | 8/29 (木) | クレーム対応研修(事務窓口・相談員・役職者) | 5名 |
| 職階別研修 | 10/2 (水) | 新任フォローアップ研修 | 2名 |
| | 10/3 (木) | 新任フォローアップ研修 | 1名 |
| | 10/11 (金) | 財務管理研修(会計経理・希望者) | 4名 |
| | 10/17 (木) | 勤続6年目研修 | 2名 |
| 専門研修 | 10/23 (水) | 感染症防止対策研修(新人必須・希望者・未受講者) | 1名 |
| | 10/30 (水) | 実践研究研修③(実践研究発表者) | 4名 |
| | 11/18 (月) | リスクマネジメント研修(管理者・希望者) | 1名 |
| | 11/28 (木) | 実践研究発表大会(全職員) | 7名 |
| 職階別研修 | 1/16 (木) | 勤続2年目研修 | 2名 |

【別紙 3】

令和元年度 外部研修実績

【看護部】

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|-------|----------------------|---------|----------------|
| 4/26 | 救急訓練効果確認の視察 | 外来科長 | 立川消防署 |
| 5/17 | 令和元年度看護管理者連絡会幹事役員会 | 看護部長 | 東京都看護協会 |
| 5/20 | 令和元年度東京都看護職員地域就業支援 | 看護部長 | 東京都看護協会 |
| 5/22 | 小平市在宅医療介護連携推進協議会総会 | 看護師 | 小平市医師会 |
| 5/24 | 日本感染管理ネットワーク学会学術集会 | 看護科長 | 日本感染管理学会 |
| 5/24 | 看護師採用活動 | 看護部長 | 立川ナースプラザ |
| 5/29 | 「看取りの看護とグリーケアの実際」受講 | 看護科長 | 東京都看護協会 |
| 5/29 | 診療報酬に係る施設基準等説明会 | 看護部長 | 関東信越厚生局 |
| 6/3 | 令和元年度第1回感染症対策担当者連絡会 | 看護科長 | 東京都多摩小平保健所 |
| 6/8 | 医療看護管理者連絡会 | 看護部長 | 医療圏看護管理者連絡会 |
| 6/10 | アウトリーチ型定着促進支援課題解決研修会 | 看護部長 | 東京都看護協会 |
| 6/21 | 医療看護管理者連絡会 | 看護部長 | 東京都 |
| 6/30 | 重症度医療看護必要度院内指導研修 | 看護師3名 | 東京都看護協会 |
| 7/14 | 日本在宅医療連合学会 | 看護相談員 | 在宅医療助成勇美記念財団 |
| 7/19 | 来年度卒業に向けた看護師募集 | 看護部長 | 北多摩看護学校 |
| 7/29 | 包括ケアシステム推進シンポジウム | 看護相談員 | 昭島・立川・武蔵村山市医師会 |
| 8/1 | 医療安全推進研究会 | 看護師 | 東京都多摩小平保健所 |
| 9/11 | 医療看護管理者連絡会 | 看護部長 | 東京都 |
| 10/7 | 東京都新人看護職員教育担当者研修 | 看護師 | 東京都看護協会 |
| 10/16 | 「リハビリテーション看護コース」 | 看護師 | 国立障害者リハビリセンター |
| 10/17 | 認定看護師キャリアアップ研修会 | 看護科長 | 東京ビックサイト |
| 10/19 | 医療看護管理者連絡会 | 看護部長 | 東京都 |
| 10/30 | 日本病院栄養学会認定NST研修 | 看護師 | 埼玉医科大学病院 |
| 10/31 | 東京都新人看護職員教育担当者研修 | 看護師2名 | 東京都看護協会 |
| 11/9 | 医療看護管理者連絡会 | 看護部長・4名 | 医療圏看護管理者連絡会 |
| 11/15 | 東京都内看護管理者連絡会 | 看護部長 | 医療圏看護管理者連絡会 |
| 2/6 | ふれあいナースバンク就職相談会 | 看護部長 | 立川ナースバンク |
| 2/8 | 令和元年度東京都看護師認知症対応力向上 | 看護科長 | 東京都看護協会 |
| 2/14 | 第35回日本環境感染学会 | 看護科長 | 日本環境感染学会 |

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|------|------------------|---------|---------|
| 2/17 | 令和元年度第2回看護管理者連絡会 | 看護部長・科長 | 東京都看護協会 |
| 2/22 | 令和2年度診療報酬改定の概要 | 看護部長・科長 | 東京都看護協会 |

【診療部】

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|-------|----------------------|--------|----------------|
| 4/12 | 国際医用画像総合展 | 放射線主査 | 日本ラジオロジー協会 |
| 4/19 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 5/23 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 5/25 | 日本超音波医学会第92回学術集会 | 検査科主査 | 日本超音波学会 |
| 5/29 | 診療報酬に係る施設基準講習会 | 栄養士主査 | 関東信越厚生局 |
| 6/6 | 令和元年度第3回栄養管理講習会 | 管理栄養士 | 東京都多摩小平保健所 |
| 6/20 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 7/9 | 令和元年度栄養管理講習会 | 栄養士主査 | 東京都多摩小平保健所 |
| 7/17 | 学会分類2013解説セミナー | 栄養士主査 | ニュートリー株式会社 |
| 7/19 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 7/23 | 生化学機器見学 | 検査科主査 | キャノンメディカルシステムズ |
| 7/29 | 感染対策地域連携カンファレンス | 薬剤科長 | 国立精神・神経医療センター |
| 8/2 | 栄養管理講習会 | 管理栄養士 | 東京都多摩小平保健所 |
| 8/2 | 日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者講習 | 薬剤科長 | 日本病院薬剤師会 |
| 8/6 | 生化学機器見学 | 検査科長 | キャノンメディカル株式会社 |
| 8/21 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 8/23 | 学会分類開設セミナー | 管理栄養士 | 389 三鷹 |
| 9/19 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 10/16 | 日本人の食事摂取基準の活用術 | 管理栄養士 | 東京都福祉保健局政策部 |
| 10/19 | 日本超音波医学会第92回学術集会 | 検査科主査 | 日本超音波学会 |
| 10/23 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 11/20 | 令和元年度栄養管理講習会 | 栄養主査 | 東京都多摩小平保健所 |
| 11/21 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 11/21 | 感染対策地域連携カンファレンス | 薬剤科長 | 国立精神・神経医療センター |
| 11/27 | 地域包括ケア病棟見学・意見交換 | リハビリ科員 | 昭島病院 |
| 12/5 | 令和元年度第10回栄養管理講習会 | 管理栄養士 | 東京都多摩小平保健所 |
| 12/19 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|------|-------------------|--------|---------------|
| 1/23 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |
| 1/30 | 感染対策地域連携カンファレンス | 薬剤科長 | 国立精神・神経医療センター |
| 2/1 | 第36回多摩画像医学カンファレンス | 放射線科主査 | 多摩画像医学カンファレンス |
| 2/21 | 献立内容の確認・指導・改善 | 管理栄養士 | ゆとりあの郷 |

【事務部】

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|-------|---------------------|---------|---------------|
| 4/23 | 地域医療構想推進事業に係る事業計画調査 | 事務部長・課長 | 東京都福祉保健局医療政策部 |
| 5/20 | 令和元年度服飾支援研修説明会 | 総務課員 | 東京都看護協会 |
| 5/29 | 診療報酬に係る施設基準講習会 | 医事課長 | 関東信越厚生局 |
| 6/17 | 多摩医療圏病院管理研究会総会 | 医事課長 | 南多摩医療圏病院管理研究所 |
| 6/20 | DPC データ提出セミナー | 医事課長 | 健康保険医療情報総合研究所 |
| 7/22 | 社会福祉法人会計研修 | 事務員 | 中央大学駿河台記念館 |
| 9/18 | 令和元年度第3回医療部会 | 事務部長 | 医療部会 |
| 11/8 | 令和元年度安全運転管理者法定講習 | 事務部長 | 警視庁 |
| 11/22 | 東社協医療部会 | 医事課長 | 東京都社会福祉協議会 |
| 1/14 | 会計決算実務研修会 | 事務員 | 東社協 |
| 1/21 | 多摩医療圏病院管理研究会総会 | 医事課長 | 南多摩医療圏病院管理研究所 |
| 1/27 | 令和元年度広域災害救急医療情報研修会 | 事務部長 | 東京都福祉保健局 |
| 2/24 | 診療報酬改定セミナー | 医事課長 | 関東信越厚生局 |

【地域連携対策部】

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|------|---------------------|--------|--------------|
| 5/22 | 小平市在宅医療介護連携推進協議会総会 | 医療相談主査 | 小平市医師会 |
| 6/19 | アウトリーチの理念と訪問支援の進め方 | 医療相談員 | 多摩精神保健福祉 |
| 7/14 | 日本在宅医療連合学会 | 医療相談主査 | 在宅医療助成勇美記念財団 |
| 7/15 | 日本在宅医療連合学会 | 医療相談員 | 在宅医療助成勇美記念財団 |
| 7/24 | 日立健保健診標準フォーマット導入説明会 | 健診事務員 | 日立健康保険組合 |
| 8/27 | 協会けんぽ生活習慣病予防健診説明会 | 健診事務員 | 全国健康保険協会 |
| 8/27 | 協会けんぽ生活習慣病予防健診説明会 | 保健師 | 全国健康保険協会 |
| 9/3 | 令和元年度患者相談窓口担当者研修会 | 医療相談員 | 東京都多摩小平保健所 |
| 9/6 | 小平市在宅医療介護連携協議会 | 医療相談主査 | 小平市健康福祉センター |

| 月/日 | 研修名 | 参加者 | 主 催 |
|-------|---------------------|--------|-------------|
| 10/2 | 令和元年度第1回医療社会事業従事者研修 | 医療相談員 | 東京都福祉保健局政策部 |
| 10/6 | 小平市在宅医療介護連携協議会 | 医療相談主査 | 小平市健康福祉センター |
| 10/29 | 小平市在宅医療介護連携協議会 | 医療相談主査 | 小平市健康福祉センター |
| 11/18 | 医療ソーシャルワーカー研修 | 医療相談員 | 国立保健医療科学院 |
| 12/7 | 小平市在宅医療介護連携協議会 | 医療相談員 | 小平市健康福祉センター |
| 12/7 | 小平市在宅医療介護連携協議会 | 医療相談主査 | 小平市健康福祉センター |
| 1/17 | 令和元年度第2回医療社会事業従事者研修 | 医療相談員 | 東京都福祉保健局政策部 |
| 1/25 | 小平市在宅医療介護連携協議会 | 医療相談主査 | 小平市健康福祉センター |
| 2/3 | 生活習慣病予防健診事務説明会 | 保健師・事務 | 全国健康保険協会 |

【参考資料】

1. 最近5年間の事業活動資金収支状況

(単位：千円)

| 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 医 業 収 益 | 1,216,298 | 1,181,821 | 1,170,550 | 1,213,077 | 1,205,328 | |
| 入院収入 | 871,476 | 817,291 | 823,163 | 847,756 | 852,681 | |
| 外来収入 | 157,821 | 181,626 | 179,860 | 185,858 | 179,178 | |
| その他 | 186,429 | 182,385 | 166,975 | 179,008 | 173,187 | |
| 介護収入 | 572 | 519 | 552 | 455 | 282 | |
| 医 業 外 収 益 | 16,905 | 65,345 | 13,161 | 8,395 | 80,176 | |
| 計 | 1,233,203 | 1,247,166 | 1,183,711 | 1,221,472 | 1,285,504 | |
| 医 業 費 用 | 1,200,492 | 1,159,855 | 1,090,923 | 1,101,094 | 1,201,738 | |
| 人件費 | 884,899 | 854,396 | 784,142 | 781,631 | 879,532 | |
| (再掲)退職金支出 | 18,184 | 52,498 | 7,774 | 1,038 | 9,113 | |
| 材料費 | 128,902 | 122,137 | 128,830 | 135,847 | 126,280 | |
| その他 | 186,691 | 183,322 | 177,951 | 183,616 | 195,926 | |
| 医 業 外 費 用 | 47,512 | 47,732 | 45,705 | 65,301 | 68,103 | |
| 施設整備等積立資産支出 | 5,000 | 47,244 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 退職給付引当資産支出 | 22,004 | 96,390 | 19,139 | 1,923 | 6,255 | |
| 計 | 1,275,008 | 1,351,221 | 1,175,767 | 1,188,318 | 1,276,096 | |
| 差 引 額 | △ 41,805 | △ 104,055 | 7,944 | 33,154 | 9,408 | |
| 収 支 率 | 96.7% | 92.3% | 100.7% | 102.8% | 100.7% | |
| 収 入 対 比 率 | 人 件 費 率 | 72.8% | 72.3% | 67.0% | 64.4% | 73.0% |
| | 材 料 費 率 | 10.5% | 9.8% | 10.9% | 11.1% | 9.8% |
| | 経 費 率 | 19.0% | 18.5% | 18.9% | 20.4% | 20.5% |

※令和元年度の医業外収益には、施設整備等積立資金取崩収入55,779千円が含まれている。

2. 1日平均患者数

(単位：名)

| 区分 | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|----|--------|--------|--------|--------|-------|
| 入院 | 定床 | 140床 | 140床 | 122床 | 122床 | 122床 |
| | | 124.0 | 119.2 | 111.2 | 110.6 | 110.6 |
| 外来 | - | 121.7 | 120.0 | 117.2 | 121.2 | 113.2 |

※平成29年4月より病床数140床から122床に18床減床

3. 病床利用率

(単位：%)

| 区分 | 定床 | 平成27年度 | 平成28年度 | 定床 | 平成29年度 | | 平成30年度 | 定床 | 令和元年度 | |
|----------|------|--------|--------|------|--------|-------|--------|------|--------|--------|
| | | | | | 4月～6月 | 7月～3月 | | | 4月～10月 | 11月～3月 |
| 一般病床 | 42床 | 83.0 | 75.1 | 28床 | 80.4 | 62.8 | 78.8 | 36床 | 76.9 | 76.7 |
| 地域包括ケア病床 | - | - | - | 8床 | - | 88.2 | 82.5 | 28床 | 71.4 | 88.5 |
| 医療療養病棟 | 98床 | 90.9 | 89.4 | 86床 | 93.5 | | 93.6 | 58床 | 96.9 | 94.3 |
| 全病棟 | 140床 | 88.5 | 85.1 | 122床 | 90.1 | | 89.5 | 122床 | 89.5 | |

※平成29年4月から病床数140床を122床に減床

※平成29年7月から地域包括ケア病床8床を開設、一般病床36床を28床に減床

※令和元年11月から地域包括ケア病棟28床開設、一般病床28床から36床に増床、医療療養病棟86床を58床に減床

4. 外来新患率

(単位：%)

| 区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 内 訳 | 6.9(1.7) | 6.3(1.5) | 8.1(2.0) | 8.0(1.9) | 8.0(1.6) |

※初診料算定患者率()内は、当院を初めて受診した患者の率

※新患率：外来患者総数に占める新規外来患者数の比率

5. 黎明会施設の入院及び外来延べ患者数

(単位：名)

| 区分 | 黎明寮 | あかつき | 澄水園 | やすらぎの園 | けやきの郷 | 計 | 1日当たり |
|----|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 入院 | 318 | 316 | 693 | 2,731 | 1,612 | 5,670 | 15.5 |
| 外来 | 1,445 | 2,523 | 1,781 | 4,006 | 68 | 9,823 | 33.8 |

6. 健康診査

(1) 健診受診者

(単位：名)

| 受診者の区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 黎明会 | 2,031 | 1,983 | 1,720 | 1,808 | 1,624 |
| 企業 | 3,204 | 3,933 | 3,296 | 3,626 | 1,987 |
| 人間ドック | 89 | 95 | 296 | 334 | 122 |
| 協会けんぽ 生活習慣病 | | | 525 | 385 | 445 |
| 特定健診 企業 | 488 | 462 | 490 | 441 | 711 |
| 小平市等 特定健診 | 1,406 | 1,130 | 1,434 | 1,524 | 1,549 |
| 合計 | 7,218 | 7,603 | 7,761 | 8,118 | 6,438 |

(2) 予防接種等受診者

(単位：名)

| 受診者の区分 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 予防接種培養 検査(企業) | 712 | 691 | 857 | 732 | 558 |

7. 患者構成

(1) 年齢別・病棟別 1日当たり平均入院患者数

| 病棟 | 年齢 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| | | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 一般病床 | 30歳未満 | 35名 | 0.4% | 25名 | 0.3% | 1名 | 0.0% |
| | 30歳～39歳 | 21名 | 0.2% | 28名 | 0.3% | 33名 | 0.4% |
| | 40歳～49歳 | 70名 | 0.8% | 71名 | 0.9% | 29名 | 0.3% |
| | 50歳～59歳 | 216名 | 2.4% | 231名 | 2.8% | 234名 | 2.6% |
| | 60歳～69歳 | 622名 | 6.8% | 527名 | 6.3% | 548名 | 6.0% |
| | 70歳以上 | 8,209名 | 89.5% | 7,487名 | 89.5% | 8,246名 | 90.7% |
| | 合計 | 9,173名 | 100% | 8,369名 | 100% | 9,091名 | 100% |
| 地域包括ケア病床 | 30歳未満 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 2名 | 0.0% |
| | 30歳～39歳 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 40歳～49歳 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 50歳～59歳 | 0名 | 0.0% | 76名 | 3.1% | 51名 | 1.0% |
| | 60歳～69歳 | 190名 | 9.7% | 242名 | 9.7% | 178名 | 3.5% |
| | 70歳以上 | 1,770名 | 90.3% | 2,177名 | 87.3% | 4,891名 | 95.5% |
| | 合計 | 1,960名 | 100% | 2,495名 | 100% | 5,122名 | 100% |
| 医療療養病棟1 (B病棟) | 30歳未満 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 30歳～39歳 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 40歳～49歳 | 125名 | 0.6% | 3名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 50歳～59歳 | 775名 | 3.9% | 406名 | 2.0% | 366名 | 1.8% |
| | 60歳～69歳 | 1,584名 | 8.1% | 1,404名 | 7.0% | 427名 | 2.1% |
| | 70歳以上 | 17,146名 | 87.3% | 18,242名 | 91.0% | 19,851名 | 96.2% |
| | 合計 | 19,630名 | 100% | 20,055名 | 100% | 20,644名 | 100% |
| 医療療養病棟2 (C病棟) | 30歳未満 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 30歳～39歳 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 40歳～49歳 | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% | 0名 | 0.0% |
| | 50歳～59歳 | 287名 | 2.9% | 0名 | 0.0% | 61名 | 1.1% |
| | 65歳～69歳 | 640名 | 6.5% | 183名 | 1.9% | 396名 | 7.0% |
| | 70歳以上 | 8,897名 | 90.6% | 9,279名 | 98.1% | 5,164名 | 91.9% |
| | 合計 | 9,824名 | 100% | 9,462名 | 100% | 5,621名 | 100% |
| 総合計 | 40,587名 | | 40,381名 | | 40,478名 | | |

(2) 年齢別 1 日当たり平均外来患者数

| 年度 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|---------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 30歳未満 | 711名 | 2.1% | 720名 | 2.0% | 590名 | 1.9% |
| 30歳～39歳 | 945名 | 2.8% | 960名 | 2.7% | 674名 | 2.2% |
| 40歳～49歳 | 2,374名 | 6.9% | 2,439名 | 6.9% | 1,989名 | 6.4% |
| 50歳～59歳 | 3,253名 | 9.5% | 3,687名 | 10.4% | 3,294名 | 10.5% |
| 60歳～69歳 | 7,109名 | 20.7% | 7,400名 | 20.9% | 5,690名 | 18.2% |
| 70歳以上 | 19,897名 | 58.0% | 20,186名 | 57.1% | 19,024名 | 60.9% |
| 合 計 | 34,289名 | 100% | 35,392名 | 100% | 31,261名 | 100% |

(3) 地域別 1 日当たり平均外来患者数

| 地域 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|--------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 小平市小川町 | 10,190名 | 29.7% | 11,043名 | 31.2% | 9,847名 | 31.5% |
| その他小平市 | 5,581名 | 16.3% | 5,671名 | 16.0% | 4,736名 | 15.1% |
| 東大和市 | 1,514名 | 4.4% | 1,535名 | 4.4% | 1,890名 | 6.0% |
| その他地域 | 7,582名 | 22.1% | 7,688名 | 21.7% | 5,033名 | 16.1% |
| 黎明会施設 | 9,422名 | 27.5% | 9,455名 | 26.7% | 9,755名 | 31.2% |
| 合 計 | 34,289名 | 100% | 35,392名 | 100% | 31,261名 | 100% |

【8】 指定就労継続支援B型事業所 のぞみ作業所

1 施設の運営方針

のぞみ作業所では、一般就労が困難な知的障がい者等が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう就労の場を提供するとともに、利用者一人ひとりの能力に応じた支援を行い、自己決定を尊重し自立に向けた生活が可能になるよう総合的サービスを提供した。

また、利用者本人の能力と働く意欲を尊重し、作業意欲の向上を図りつつ、作業工賃の増加に繋げた。さらに、利用者の健康管理や対人関係等、地域の中で生活が送れるよう支援するとともに、のぞみ作業所のバックアップ施設として、平成26年度に開設したグループホームどりーむ・のぞみの安定した運営に努めた。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|-----|-----|---------------|-------------|--------|
| 通 所 | 55名 | 55名 | 54.4名 | 98.9% |
| 入 所 | 7名 | 7名 | 7名 | 100.0% |

(2) 収支状況

| | 平成30年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|---------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収 入 | 167,344千円 | 178,194千円 | 180,194千円 | 176,903千円 | 98.2% |
| 支 出 | 166,147千円 | 176,708千円 | 178,708千円 | 172,643千円 | 96.6% |
| 収支差額 | 1,197千円 | 1,486千円 | 1,486千円 | 4,260千円 | - |

※人件費の状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 人件費率 | 65.8% | 66.0% | 62.8% | 60.5% | 61.4% |
| 金 額 | 100,338千円 | 102,932千円 | 103,304千円 | 100,304千円 | 103,200千円 |
| 対前年度 増減額 | - | 2,594千円 | 372千円 | ▲3,000千円 | 2,896千円 |

(3) 人員配置

ア のぞみ作業所

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|---------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|------------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| サービス 管理責任者 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 目標工賃 達成指導員 | | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 支援員 | 7.2 | 0.8 | 8.0 | 1.3 | 9.3 | 7.8 | 2.0 | | 1.5 | 9.3 | 0.0 |
| 調理員 | | 2.0 | 2.0 | | 2.0 | 1.0 | 2.0 | | 1.0 | 2.0 | 0.0 |
| 事務員 | | | | 1.2 | 1.2 | 1.2 | | | | 1.2 | 0.0 |
| 送迎員 | | 1.0 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 0.0 |
| 清掃員 (障害雇用) | | 0.5 | 0.5 | | 0.5 | | 1.0 | | 0.5 | 0.5 | 0.0 |
| 合 計 | 9.2 | 5.3 | 14.5 | 2.5 | 17.0 | 13.0 | 6.0 | 0.0 | 4.0 | 17.0 | 0.0 |

イ グループホームどりーむ・のぞみ

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B-A |
|---------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|------------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長 | (1.0) | | (1.0) | | (1.0) | (1.0) | | | | (1.0) | 0.0 |
| サービス 管理責任者 | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | | 0.2 | 0.2 | 0.0 |
| 生活支援員 | 0.6 | | 0.6 | 0.2 | 0.8 | | 0.8 | | 0.8 | 0.8 | 0.0 |
| 世話人 | 1.7 | | 1.7 | 0.8 | 2.5 | | 8.0 | | 2.5 | 2.5 | 0.0 |
| 合 計 | 2.5 | 0.0 | 2.5 | 1.0 | 3.5 | | 9.0 | 0.0 | 3.5 | 3.5 | 0.0 |

※施設長はのぞみ作業所の施設長が併任している。

3 収支の安定確保

(1) 稼働率等や加算取得の見込み

利用者の高齢化、また、感染症の流行等により、年々、欠勤者が増加してきていることから、近隣の特別支援学校、相談支援事業者等の各種団体との連携を密にし、新規利用者の確保に取り組み、施設利用を希望する実習者7名（田無特別支援学校在校生3名、他福祉施設利用者2名：延べ27日）を受け入れた。実習期間中は、実習生の作業能力を把握するため、製品加工作業、清掃作業、販売活動、資源回収等、様々な作業をローテーションで体験してもらい、実習最終日に実習生、保護者、関係者を含めた「作業のふりかえり」を実施し、施設利用の適性を判断した上で令和元年度は新たに1名の利用者（男性1名（23歳）、利用者平均年齢40.9歳）を確保できた。

また、通所稼働率100%を維持するとともに、指定障害福祉サービス報酬費における目標工賃達成指導員配置加算、福祉専門職員配置等加算を再取得することができた。

(2) 生産活動

ア 清掃委託作業や資源回収に力を入れ、不動産業者、地域の商店街、取引業者等を対象として受注先を増やす一方で、在宅サービス総合センターをはじめ、法人内施設と連携を図り、地域の高齢者宅の清掃、資源類（古紙）回収、庭の手入れ等、新たな受注を確保することで収入増を図った。

イ ハーブを活用した「バスポプリ」「香り袋」等の自主製品や武蔵野美術大学の学生と共同制作した「のぞみTシャツ」「のぞみパーカー」等のオリジナルグッズを地域のお祭りや各種団体のイベント等で販売し収入増を図った。

また、地域の店舗にのぞみ作業所の商品を陳列させていただき、販売してもらうなど、地域に密着した販売拠点（ルート）の拡大を図った。

| 生産活動内容 | 内 容 | 30年度① | 元年度② | 増減②－① |
|--------|---|----------|----------|---------|
| 受託事業収益 | 化粧箱折、ペン入れ等 下請け作業、シャボン 玉セット製作、ダイレ クトメール封入など | 8,390千円 | 9,863千円 | 1,473千円 |
| 清掃事業収益 | 清掃活動（公園清掃・マン ション清掃）等 | 2,402千円 | 2,213千円 | ▲189千円 |
| 販売活動収益 | 野菜等委託及び自主製 品（入浴用バスポプリ）販 売 | 1,776千円 | 1,606千円 | ▲170千円 |
| 資源活動収益 | ダンボール古紙等回収 | 3,838千円 | 3,199千円 | ▲639千円 |
| 計 | | 16,406千円 | 16,881千円 | 475千円 |

(3) 経費の削減など支出の合理化について

施設管理経費、運営事務費等の経常経費については、コピー用紙の両面印刷等の

励行や節電・節水を徹底し、事務経費の節減に努めた。また、保護者の理解・合意の下、利用者の給食費（1食 350 円）、送迎費（1日 300 円）及び一泊旅行の一部負担（1人 5,000 円）を継続実施した。

4 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 利用者サービス

利用者の作業能力の向上を図るため、多種類の作業を提供し、長所を伸ばし短所を克服するような支援を行い、働き甲斐のある仕事場が提供できるよう一般就労を目指した環境を整備した。利用者の健康管理に関しては、定期的な体重管理、日常の利用者の健康チェックを推奨し、6月に血液検査、胸部レントゲン等の健康診断を南台病院で実施し、11月にインフルエンザ予防接種を実施した。

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、2月25日に「新型コロナウイルス感染症への対応について」を策定し、利用者、保護者及び職員の行動規範及び活動制限を行った。

また、利用者が楽しい時間を過ごし精神的な安定を図るため、小平市障がい者運動会（5月18日：43名参加）、のぞみ祭り（9月21日：48名参加）、一泊二日旅行（10月24日～25日：50名参加）等の余暇活動、行事を通じて、利用者同士のコミュニケーションを深めた。

(2) 利用者の安心・安全確保

災害時に備え、3日分の非常食（約250食）、飲料水（約300食）を備蓄するとともに、自衛消防訓練として、利用者・職員全員が参加する避難訓練を実施した（11回実施。新型コロナウイルス感染拡大の防止のため3月は未実施）。

また、東京都福祉保健局から災害救助用食料（アルファ化米、ショートブレッド）の寄贈を受け、利用者に配布し、家庭内での防災意識の醸成を図るための啓発活動を行った。

(3) 環境整備

開設後28年が経過し、建物及び設備の老朽化が激しいため、東京都障害者施設整備補助金を活用し、令和元年10月1日から同年11月30日までの工期で外壁塗装工事、屋上防水工事等の大規模修繕を実施した。日頃から作業所内外の美化活動と整理整頓を行うとともに、施設環境整備のため、障害者雇用枠として清掃作業員（非常勤職員）1名を採用し、施設内外の美化活動と整理整頓、危険の防止に努めた。

また、建物及び機器の老朽化に伴う修繕、機材の交換に関しては、施設内で優先順位を決定し、計画的に実施した。

(4) 開かれた施設運営

保護者会を定期的（年2回）に開催し、利用者の作業、生活状況や施設の運営状況について報告及び意見交換を行い、施設運営に関する共通認識を保つよう努めた（参加人数：8月28日：保護者26名、11月16日：保護者27名、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため3月は未開催）。8月に開催した保護者会では、法人

内職員を講師として招聘し、利用者・保護者の高齢化、将来の地域生活をテーマに学習会を開催し、保護者と職員が今後の課題等について共通認識を持った。

また、社会福祉施設介護等体験希望者（創価中学校3名延べ12日、東京女子体育大学5名延べ25日、市内中学校2名延べ7日、日本大学1名5日、川口短期大学2名延べ22日、明治大学1名延べ3日）、施設行事ボランティア（のぞみ祭り：55名、一泊二日旅行：3名）を受け入れ、地域に開かれた施設づくりに努めた。

（5）福祉サービス第三者評価の受審

「利用者のサービスの選択」及び「事業の透明性の確保」のための情報提供と継続的な利用者サービスの質の向上に向けた取り組みを目的として、公益財団法人日本チャリティ協会による福祉サービス第三者評価を受審した。10月中旬に職員自己評価、11月15日に利用者調査（聞き取り）等を実施した。

また、昨年度実施した福祉サービス第三者評価を踏まえたサービス改善計画として、「安全・快適な作業環境と清潔保持」「個別支援計画の効率的な作成」「職員の残業削減」を重点課題として、適正な職員配置や作業ミーティングを実施し、今後の施設・職員体制の課題を整理し、課題解決に向けた施設運営に努めた。

5 人材育成

（1）法人内研修への参加状況

- 課長研修（1名）
- 係長研修（1名）
- 新任研修（1名）
- 実践研究研修（3名）
- 労働法・労務管理研修（1名）
- 尊厳・自立・QOL向上研修（1名）
- 管理職研修（1名）
- 勤続2年目研修（1名）
- 勤続5年目研修（1名）
- 勤続6年目研修（1名）
- 勤続20～22年目研修（1名）
- 財務管理研修（1名）
- 施設間交流研修（1名）
- 実践研究発表大会（4名）

（2）外部研修への参加状況

- サービス管理責任者基礎研修（1名）
- 障害者通所活動施設職員研修（3名）
- 関東地区知的障害福祉関係職員研究大会（1名）
- 全国知的障害関係施設長等会議（1名）
- 全国知的障害者関係職員研究大会（2名）
- 栄養管理講習（1名）
- 発達障害者相談支援研修（1名）

強度行動障害支援者養成研修（2名）
個別支援計画研修（1名）
経営管理研修（1名）

6 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

- (1) 虐待防止チェックリストを利用したアンケート調査の実施、研修参加報告及び関連文献等を利用した虐待防止対策について、職員会議を利用し、全職員に周知徹底した。さらに、接し方チェックリストを利用し、職員の自己チェックを行いながら、虐待防止に繋がる仕組み作りに着手し、全職員対象に実施した。
- (2) 虐待を含めた権利擁護の外部研修にも積極的に参加した。

【9】介護老人保健施設 けやきの郷

1 施設の運営方針

けやきの郷では、職員に対し法人理念の浸透・深化に努めるとともに、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら利用者の生活機能の維持・回復をめざして支援を行った。また、包括的ケアサービスの提供を推進し、リハビリテーション機能を強化することで在宅復帰率の向上を図るとともに、地域に根ざした在宅療養の支援施設としての役割を担った。さらに認知症があっても利用者がいきいきとした日常生活を送れるよう環境の維持に努めるとともに、利用者の立場に立った思いやりのある看護・介護サービスの提供に努めた。

令和元年度は、更なる利用率と在宅復帰率の向上及び各種加算の取得を目指して事業推進に努めたが、医師の不在期間が生じた事等により加算の取得及び利用率の向上に繋がらなかった。一方、在宅復帰・在宅療養支援等評価指標 10 項目の中のリハビリテーション専門職配置割合の算定条件を満たしたため、基本報酬加算型の加算取得を行った。

2 利用・収支等の状況

(1) 利用人員

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 | 令和元年度 実績 | 達成率 |
|-----|-------|---------------|-------------|-------|
| 入 所 | 100 名 | 96 名 | 91.3 名 | 95.1% |
| 通 所 | 40 名 | 28 名 | 25.2 名 | 90.0% |

(2) 収支状況

| | 平成 30 年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|-----------------|----------------|-----------------|--------------|-------|
| 収 入 | 564,208 千円 | 589,304 千円 | 578,096 千円 | 577,327 千円 | 99.9% |
| 支 出 | 558,043 千円 | 588,205 千円 | 577,277 千円 | 574,714 千円 | 99.6% |
| 収支差額 | 6,165 千円 | 1,099 千円 | 819 千円 | 2,613 千円 | - |

令和元年度決算額の収入には、施設整備等積立資産取崩額 8,696 千円を含む。

※人件費の状況

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費率 | 61.0% | 62.9% | 63.9% | 68.9% | 69.8% |
| 金 額 | 343,895 千円 | 340,769 千円 | 331,402 千円 | 355,108 千円 | 371,911 千円 |
| 対前年度 増減額 | - | ▲3,126 千円 | ▲9,367 千円 | 23,706 千円 | 16,803 千円 |

(3) 人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和 2 年 3 月 31 日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B - A |
|-----------------|--------------|---------------|----------------|----------------|----------------------|-------------------------|-------|--------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長(医師) | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 0.0 |
| 副施設長 | | | | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 薬 剤 師 | 0.3 | | 0.3 | | 0.3 | | 2.0 | | 0.3 | 0.3 | 0.0 |
| 管理栄養士 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 理学療法士・ 作業療法士 | 1.4 | 5.9 | 7.3 | | 7.3 | 6.0 | 1.0 | | 0.3 | 6.3 | ▲1.0 |
| 事務職員 | | | | 3.0 | 3.0 | 2.0 | | | | 2.0 | ▲1.0 |
| 支援相談員 | 1.0 | 1.0 | 2.0 | 0.5 | 2.5 | 2.0 | 0.5 | | 0.4 | 2.4 | ▲0.1 |
| 介護支援専門員 | 1.0 | | 1.0 | 1.5 | 2.5 | 1.0 | 1.5 | | 1.4 | 2.4 | ▲0.1 |
| 介護職員 | 27.0 | | 27.0 | 12.0 | 39.0 | 26.0 | 23.0 | 1.0 | 12.5 | 38.5 | ▲0.5 |
| 看護職員 | 10.0 | | 10.0 | 0.6 | 10.6 | 8.0 | 5.0 | | 3.3 | 11.3 | 0.7 |
| 運転手 等 | | | | 3.6 | 3.6 | | 11.0 | | 3.4 | 3.4 | ▲0.2 |
| 合 計 | 42.7 | 6.9 | 49.6 | 22.2 | 71.8 | 47.0 | 45.0 | 1.0 | 22.6 | 69.6 | ▲2.2 |

3 収支の安定確保

(1) 利用率の向上

ア 入所者1日平均96名の目標に対して、実績は91.3名に留まった。

イ 通所リハビリテーションの昨年度実績22.9名に対し、年度内にリハビリテーション専門職の確保が進み、今年度の実績は25.2名となった。しかし1日平均28名の目標値には届かなかった。

(2) 基本報酬加算型の取得

基本報酬加算型の算定要件である在宅復帰・在宅療養支援等評価指標10項目の加算ポイント合計値40ポイント以上を確保し、基本報酬加算型の取得を目指した。医師の不在期間が生じた事等で基本報酬加算型の取得が令和2年2月までできなかったが、リハビリテーション専門職配置割合が増えたことで3月より基本報酬加算型取得の達成ができた。

(3) 利用者の平均介護度の向上

平均介護度3.20以上の目標に対して今年度の実績は3.08（平成30年度は3.25）であった。また、重症度割合（3か月間の入所者のうち要介護度4・5の占める割合）50%以上の目標に対して42.8%であった。

(4) 在宅復帰率の向上

令和元年度の在宅復帰率は34.0%、ベッド回転率は6.1%であった。

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|--------|--------|--------|-------|
| 在宅復帰率 | 29.6% | 29.7% | 34.1% | 34.0% |
| ベッド回転率 | 7.0% | 7.3% | 8.5% | 6.1% |

(5) 介護報酬の適正確保

看取り介護の浸透とともに積極的な医療を望まない利用者・家族が増えつつあることから、算定要件となるアセスメントの実施など看取り介護の体制を整備し、ターミナルケア加算の取得を目指したが、今年度は見取り介護の利用者がいなかった。

(6) 経費の節減

医療材料、衛生材料の定数管理の徹底等による支出削減を行った。また、医師による利用者の服薬内容の見直し（日本老年医学会のガイドラインに基づく）を行い、家族等へ説明の上で医薬品費の支出削減に取り組み

経費の削減に努めた。

4 利用者の安心・安全確保とサービスの向上

(1) 包括的ケアの推進

利用者の意思を尊重し、居宅及び施設において一体的なサービスを受けられるよう在宅サービス総合センターとの連携を強化しつつ支援に努めた。また、利用者に応じた個別支援計画の充実を図り、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションの提供を行った。

(2) リハビリテーション機能の強化

利用者の日常活動や社会参加に支障がないよう基本動作機能の向上、家庭環境の調整など生活機能全般の向上を目的に集中的なリハビリテーションの提供を行った。

(3) 在宅復帰の推進

脳血管障害、廃用症候群、認知症等による利用者の症状・状態に応じて、医師・看護師・理学療法士・介護支援専門員等の多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めた。また、リハビリテーション専門職や介護支援専門員による退所前後の訪問指導を行った。さらに、入所前後の訪問指導も強化し、利用者の在宅生活へのスムーズな移行を図った。

(4) 在宅生活支援の強化

家族の介護負担を軽減し、利用者が自立した在宅生活が継続できるように入所、短期入所、通所リハビリテーション、ベッドシェア等のサービスを円滑に提供するため、在宅サービス総合センターと連携し総合的に支援した。

(5) 地域に根ざした施設運営

家族懇談会を定期的（9月15日開催）に開催し、利用者家族に対して介護保険制度の動向等の情報提供を行ったほか、さまざまなケアの相談に応じた。しかし、3月実施予定の家族懇談会は新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

(6) 福祉サービス第三者評価の受審

利用者のサービス選択のための情報公開や事業の透明性の確保、サービスの質の向上に向けた取り組みを目的として令和元年 10 月から 12 月にかけて福祉サービス第三者評価を受審した。

(7) 建物・設備等の維持管理

開設以来 22 年目を迎え、建物・設備機器の老朽化に伴い不具合が生じている。度重なる台風等でフロア内への浸水（サッシ建具の排水溝の目詰まり）等があり法人の大切な資産を守るため建物検査を実施し、建物・設備の老朽化に伴う劣化状況を把握していく。平成 30 年度、更新工事の実施を予定していた自動火災通報装置等消防設備は 7 月に工事が完了した。また、平成 30 年度補助金申請（JKA 補助金）を行ったリフト浴の機器交換については補助金の審査が通らなかったため令和元年度の実施は見送ることとし、引き続き令和 2 年度も補助金・助成金の申請を行うこととしている。

5 人材育成

(1) 目標管理制度の充実

職員個々が個人目標の設定を行い、面接による目標の達成度を評価することで業務の課題を明確化し、職員の主体性の向上やモチベーションアップ、問題解決能力の向上を図った。また、職員に対しての目標面接を通して管理者の指導管理能力の向上にも繋がった。

(2) 当法人の国家資格等取得奨励金制度と研修参加奨励金制度の活用による国家資格等取得の奨励

介護福祉士受験に向けて 4 名の実務者研修受講希望があり、受講日の勤務の調整を行い、既に実務者研修受講済みの 1 名と合わせて 5 名が受験し 4 名が国家試験に合格した。

(3) 法人内研修への参加

ア 階層別研修に 18 名、感染症防止対策や権利擁護等の専門研修に 11 名が参加した。施設内では看取りケア研修 1 回と介護事故予防（KYT）研修 2 回を行った。

イ 参加できなかった職員に対しては伝達講習等を行った。

(4) 外部研修への参加

ア 褥瘡ケアと創傷ケア研修1名、感染症対策指導者研修1名、介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」1名、認知症介護基礎研修1名、認知症介護実践者研修1名、合計5名を外部研修に派遣した。

イ 派遣研修に参加した職員による伝達講習を行った。

(5) 施設内研修の実施

ア 看護・介護職員を対象に身体拘束廃止研修を実施した。

イ オムツ納入業者に講師を依頼し、看護・介護職員を対象に排泄ケア研修を2回実施した。

ウ 全職員を対象に食中毒による感染症研修を実施した。

6 施設利用者に対する虐待防止と権利擁護

(1) 利用者が尊厳のある生活が送れるよう利用者本人の自己決定権を尊重し、本人及びご家族の意向に沿った支援が行えるようカンファレンスの充実に努めた。

(2) 利用者・家族から寄せられた苦情は、施設の苦情等相談員が対応し、苦情等解決責任者である施設長は、本部苦情等調整委員会に報告するとともに、適切かつ速やかに解決案を策定し誠意をもって対応した。

(3) 施設内の安全と安心を保持するため、施設内での不祥事防止及び外部からの不審者の侵入防止・防犯等の観点から設置された防犯カメラについて、施設内事故対策委員会でカメラ映像を参考に、ヒヤリ・ハットや事故発生予防対策に利用するよう努めた。

(4) 利用者の人権への配慮やプライバシーの保護を主旨とした研修を継続的に実施するとともに、日常ケアの振り返りを行い、マニュアルの整備や不適切ケアの報告体制を整え、虐待の発生防止に努めた。

【10】介護付有料老人ホーム 熱海ゆとりあの郷

1 施設の運営方針

介護付有料老人ホーム熱海ゆとりあの郷は、入居者が安心して豊かな老後生活が過ごせる事を目的に設置されたものであり、令和元年度においても、入居率の一層の向上を図り、各種サービスの充実に取り組んだ。

一方で、熱海ゆとりあの郷では、平成10年以降多年に亘って管理費・食費等の入居者負担について利用料の改定を行ってこなかった。その間、人件費や食材費等の支出増により、事業活動収支は悪化し、今後数年のうちに経営の大幅な悪化をきたす恐れがあるため、管理費、食費を年度当初から引き上げをする予定としていた。引き上げ実施に当って、入居者への説明と理解を得る話し合いが長引き、管理費は令和元年度10月からの値上げを実施することとし、かつ激変緩和措置として、令和3年度までの3年計画での実施、食費は食堂委託事業者の変更に併せて12月からの引き上げを実施した。

介護費は行政との調整を行いながら介護認定を進めている。また、診療所については自然退去者が22名と多くなった関係で安定した入院患者数の確保にならなかったが、令和2年度より歯科を廃止し外部の訪問歯科診療を導入することとした。これにより従来、歯科診療室を受診できなかった要介護者に歯科医が直接訪問して治療を施すことが可能になり、診療所負担の歯科医師派遣費用が無くなるため、700万円程度の負担軽減が見込まれる。

これらの施策は令和2年度から効果が現れることとなるが、その他の費用についても見直しを継続し収支改善に努力していく。

2 入居・収支等の状況

(1) 入居者数（実際の入居者数）

| | 定員 | 令和元年度 事業計画 A | 令和元年度 実績 B | 達成率 B/A |
|------|-------|-----------------|---------------|------------|
| 稼働居室 | 245 室 | 222 室 | 198 室 | 89.2% |
| 入居者数 | 294 名 | 267 名 | 240 名 | 89.9% |

(注) 令和元年度中契約済みで令和2年度に入居予定の2室2名は未計上

(2) 入居室・入居者数（率）の推移表

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 入居一時金収入 | 528,505 千円 | 374,103 千円 | 632,010 千円 | 351,265 千円 | 304,749 千円 |
| 新規契約居室数 | 22 室 | 15 室 | 25 室 | 14 室 | 12 室 |
| 新規契約者数 | 34 名 | 20 名 | 32 名 | 16 名 | 15 名 |
| 入居可能人数 A | 294 名 | 294 名 | 294 名 | 294 名 | 294 名 |
| 実際の入居者数 B | 234 名 | 244 名 | 249 名 | 256 名 | 240 名 |
| 入居率 B/A | 79.6% | 83.0% | 84.7% | 87.1% | 81.6% |

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 退去室数 (うち死亡) | 13 室 (13) | 11 室 (7) | 16 室 (9) | 8 室 (8) | 29 室 (19) |
| 退去者人数 (うち死亡) | 16 名 (16) | 16 名 (12) | 20 名 (11) | 13 名 (13) | 33 名 (22) |
| 返還金額 | 25,836 千円 | 56,803 千円 | 74,385 千円 | 21,966 千円 | 148,680 千円 |

(3) 収支状況

| | 平成 30 年度 決算額 | 令和元年度 当初予算額 | 令和元年度 補正後予算額 | 令和元年度 決算額 | 執行率 |
|------|-----------------|----------------|-----------------|--------------|--------|
| 収 入 | 874,379 千円 | 1,004,976 千円 | 854,639 千円 | 917,786 千円 | 107.4% |
| 支 出 | 857,974 千円 | 995,513 千円 | 853,891 千円 | 917,281 千円 | 107.4% |
| 収支差額 | 16,405 千円 | 9,463 千円 | 748 千円 | 505 千円 | - |

令和元年度決算額の収入には、施設整備等積立資産取崩額(75,600 千円)を含む。

※人件費の状況

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 人件費率 | 73.4% | 67.3% | 64.9% | 67.5% | 63.4% |
| 金 額 | 348,653 千円 | 327,438 千円 | 326,635 千円 | 352,501 千円 | 337,152 千円 |
| 対前年度 増減額 | - | ▲21,215 千円 | ▲803 千円 | 25,866 千円 | ▲15,349 千円 |

(4) 人員配置

(単位：名)

| 職 種 | 配置基準 (国等) | 配置基準 (加算分) | 配置基準 小計 (①) | 運用必要人員数 (②) | 運用必要総数 (①+②) A | 令和2年3月31日現在人員配置状況 | | | | | 運用必要総数との差 B - A |
|--------------------|--------------|---------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | | 正規職員 (③) | 非常勤職員 | 派遣職員 (再掲) | 非常勤職員 常勤換算 (④) | 実人員数 (③+④) B | |
| 施設長 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 0.0 |
| 医師 | 1.0 | | 1.0 | 1.4 | 2.4 | 1.0 | 4.0 | | 1.4 | 2.4 | 0.0 |
| 看護師 | 6.0 | | 6.0 | 1.0 | 7.0 | 6.0 | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 6.5 | ▲0.5 |
| 看護助手 | 1.5 | | 1.5 | 1.0 | 2.5 | 2.0 | 1.0 | | 0.6 | 2.6 | 0.1 |
| 介護職員 | 24.0 | | 24.0 | | 24.0 | 11.0 | 12.0 | 6.0 | 12.3 | 23.3 | ▲0.7 |
| 介護支援専門員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 0.0 |
| 生活相談員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 3.0 | | | | 3.0 | 2.0 |
| 個別機能訓練指導員 | 1.0 | | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | | | | 1.0 | 0.0 |
| 事務員 (特定・診療所) | 1.0 | | 1.0 | 1.0 | 2.0 | 3.0 | | | | 3.0 | 1.0 |
| 総務・営業 | | | | 6.0 | 6.0 | 3.0 | 1.0 | 2.0 | 2.7 | 5.7 | ▲0.3 |
| その他(病院送迎・ 夜間受付) | | | | 3.5 | 3.5 | | 5.0 | | 3.2 | 3.2 | ▲0.3 |
| 合 計 | 37.5 | 0.0 | 37.5 | 13.9 | 51.4 | 30.0 | 26.0 | 9.0 | 22.7 | 52.7 | 1.3 |

※介護職員 要介護 2.5 : 1 51.7 人 / 2.5 = 20.7 人、要支援 3 : 1 10.6 人 / 3 = 3.5 人

3 収支の安定確保

(1) 課題と改善策

熱海ゆとりあの郷では数年来、管理費・食費・介護費がいずれも支出額に対して利用者の負担が下回っている。年度当初から利用者の負担で賄えるようにするための対策をすすめたが、実施時期がずれ込み実質的な効果は次年度から現れることとなる。

診療所の運営は、ゆとりあの郷の基本理念に基づく面があるので、直ちに入居者の負担を求めることは出来ないが、病床の継続については入居者の意向を考慮に入れて検討を進める必要がある。

ア 管理費

平成31年度当初からの管理費引き上げ予定が10月にずれ込んだが、次年度は4月当初から3ヵ年計画どおりの引き上げを行い、3年後の赤字解消を予定している。

(単位:千円)

| 管理費に関する資金収支 | 平成 30 年度 | | 令和元年度決算(案) | |
|-------------|----------------|---------|----------------|---------|
| 収入(食事収入を除く) | 管理費収入(215,262) | 250,041 | 管理費収入(219,262) | 252,578 |
| | その他収入(34,779) | | その他収入 (33,316) | |
| 支出(食事支出を除く) | 323,793 | | 306,313 | |
| 収支差額 | ▲ 73,752 | | ▲ 53,735 | |

イ 食費

食堂委託事業者を12月に変更し、業務委託費を削減し、食事単価の引き上げを行った。これにより食堂の収支差額を解消するが、効果は令和2年度から現れる。

(単位:千円)

| 食事に関する資金収支 | 平成 30 年度 | | 令和元年度決算(案) | |
|------------|--------------|---------|--------------|---------|
| 食事収入 | 87,226 | | 90,149 | |
| 支出 | 業務委託(70,650) | 120,065 | 業務委託(67,343) | 114,106 |
| | 食材費 (49,415) | | 食材費 (46,763) | |
| 収支差額 | ▲ 32,839 | | ▲ 23,957 | |

ウ 介護費

介護認定の申請手続きを支援したことで、年度当初の要支援者12名、要介護者58名に新規の認定者数の要支援者1名、要介護者8名の増加を得た。しかしながら、退去者33名(自然退去者22名、任意退去者11名)の内に要支援者2名、要介護者15名が含まれており、年度末の介護者数は要支援者11名、要介護者51名となった。

(単位:千円)

| 介護に関する資金収支 | 平成 30 年度 | | 令和元年度決算(案) | |
|------------|--------------|---------|--------------|---------|
| 介護収入 | 140,413 | | 142,179 | |
| 支出 | 人件費(160,302) | 170,451 | 人件費(153,280) | 163,582 |
| | その他 (10,149) | | その他 (10,302) | |
| 収支差額 | ▲ 30,038 | | ▲ 21,403 | |

エ 診療所

経営改善のため17床の満床を目指したが入院患者の平均年齢が85歳を超え死亡等による自然退去が多く、入院者数が減少した。また、一時介護室から診療所への入院を検討したが、在院日数が長期化すると入院料は減額されるため、一時介護室で介護保険を適用した方が収益は多くなることが明らかになった。これらのことから、17床を満床とすることは困難であり、今後は診療所の継続のための利用者負担を求めるか、昼間のみの診療所に変更し、緊急の場合は外部の医療機関に入院させるかなどについて入居者の意向も踏まえて検討を進める必要がある。

(単位:千円)

| 診療所に関する資金収支 | 平成30年度 | | 令和元年度決算(案) | |
|-------------|------------------|---------|-----------------|---------|
| 収入 | 44,881 | | 46,887 | |
| 支出 | 医師人件費(54,786) | 139,791 | 医師人件費(48,253) | 127,433 |
| | 正職員人件費(56,736) | | 正職員人件費(54,338) | |
| | 非常勤職員人件費(15,647) | | 非常勤職員人件費(9,888) | |
| | その他支出(12,622) | | その他支出(14,954) | |
| 収支差額 | ▲ 94,910 | | ▲ 80,546 | |

(2) 広報活動及び営業活動の充実

| | 広告媒体等 | 問合せ件数 | 見学者件数 | 体験入居数 | 契約数 | |
|---------|-------------------|-------|-------|-------|-----|----|
| | | | | | 室 | 人 |
| 令和元年度累計 | ゆとりすと会員 | 367 | 56 | 13 | 3 | 4 |
| | 三越伊勢丹 ダイレクトメール | 48 | 6 | 0 | 2 | 2 |
| | 高島屋ダイレクトメール | 316 | 41 | 0 | 2 | 2 |
| | 有料老人ホーム協会 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 紹介(入居者、会員) | 137 | 17 | 5 | 3 | 4 |
| | ホームページ | 184 | 27 | 5 | 1 | 1 |
| | 婦人公論 | 113 | 9 | 2 | 1 | 2 |
| | ハルメク | 20 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | 毎日が発見 | 10 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 週刊朝日 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他(既知) | 83 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 1,288 | 166 | 26 | 12 | 15 |

* 「ゆとりすと」毎月発送計14,749部

*高島屋ダイレクトメール（5月）97,000部、（1月）151,100部

*婦人公論に入居者記事広告を掲載80,000部発行（12月）

4 入居者の安心・安全確保とサービスの向上

（1）南台病院から毎月1回継続して管理栄養士の派遣を受け、入居者への食事の改善に努めているほか、栄養相談・食事相談などを行った。

また、12月から食堂委託事業者を変更したことに伴い、4ヶ月に亘りアンケートを継続し結果を毎月の生活懇談会で発表して改善に努めた他、委託業者と入居者代表を含めた食事座談会を新たに設け改善に努めている。

（2）年末から年度末にかけて新型コロナウイルス感染症が世界的大流行となり、館内への感染を防ぐため、外部面会者、業者の規制やマスク着用、手指の消毒、さらに入居者の外出自粛を強く求めている。特に高齢者の重症化が問題になっており今後も警戒を緩めることなく職員、入居者が協力して感染防止に努める必要がある。

一方、入居者の健康維持・増進や介護予防・生活機能訓練を推進するため、ゆとりあホールで実施される転倒防止の訓練、リハビリ体操、ウォーキングの指導等の活動には十分な換気、活動前後の手洗いと手指の消毒、マスク着用、人と人との距離を空ける等の対策を行った。

（3）顧問弁護士による法律相談を毎月実施した。（相談件数6件）

（4）熱海ゆとりあの郷の運営に入居者の意見も参考にするため、入居者全員が参加する生活懇談会（毎月）、総会（年2回）、自治会役員等による検討会（毎月）及び運営懇談会（3か月毎）を行って入居者との意思疎通を図ったほか、経営改善のための臨時運営懇談会（4回）臨時総会（2回）を行った。

5 施設整備について

| | | |
|---|--------------------------|----------|
| ア | センター棟1階、2階防火扉新設 | 1,863千円 |
| イ | 入居者が得られる可能性の高い空室のリフォーム6室 | 10,670千円 |
| ウ | 大浴場、小浴場柱タイル張替え工事 | 988千円 |
| エ | 温泉エアー管交換工事 | 1,266千円 |
| オ | 介護浴室ボイラー交換 | 297千円 |
| カ | 消防連結送水管改修 | 999千円 |
| キ | サンデッキフェンス設置工事 | 282千円 |

6 人材育成

(1) 法人内研修会への参加状況

(職階別研修)

| | |
|---------------|------------|
| ・新任研修 | 4名 (4月) |
| ・役職者(係長以上)職研修 | 3名 (4月) |
| ・課長級研修 | 2名 (5月、6月) |
| ・新任宿泊研修 | 5名 (7月) |
| ・勤続5年目研修 | 2名 (7月) |
| ・勤続4年目研修 | 2名 (9月) |
| ・新任フォローアップ研修 | 2名 (10月) |
| ・勤続6年目研修 | 2名 (10月) |
| ・勤続2年目研修 | 2名 (1月) |

(専門研修)

| | |
|---------------|----------|
| ・実践研究研修 | 1名 (5月) |
| ・権利擁護研修 | 1名 (5月) |
| ・労基法・労務管理セミナー | 1名 (7月) |
| ・クレーム対応研修 | 1名 (8月) |
| ・財務管理研修 | 2名 (10月) |
| ・感染症防止対策研修 | 1名 (10月) |
| ・リスクマネジメント研修 | 1名 (11月) |
| ・実践研究発表会 | 3名 (11月) |

(2) 外部研修会への参加状況

| | |
|----------|---------|
| ・災害看護研修 | 1名 (6月) |
| ・働き方改革研修 | 1名 (1月) |

7 文化的催しの開催

| | |
|----------------------------------|-------------------|
| (1) 「お花見」 | 22名参加 (4月) |
| (2) 「森林浴ツアー」 | 24名参加 (5月) |
| (3) 「ゆとりあ名画劇場」 | 122名参加 (5月、7月、9月) |
| (4) 「七夕祭り」 | 79名参加 (7月) |
| (5) ビアパーティー | 96名参加 (8月) |
| (6) 「敬老祭」「お茶会」 | 延べ62名参加 (9月) |
| (7) 「作品展示会」 10月26日～29日 (ゆとりあホール) | |
| (8) 「紅葉狩り」 | 19名参加 (11月) |
| (9) 「クリスマスパーティー」 | 100名参加 (12月) |
| (10) 「餅つき大会」 | 72名参加 (12月) |
| (11) 「新年祝賀会」 | 延べ100名参加 (1月) |
| (12) 初詣 | 20名参加 (1月) |
| (13) コンサート (カンツオーネ) | 90名参加 (1月) |

[資料]

(1) 入居者数推移（過去5年）

| | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和1年度 | |
|----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 男性 | 63 | 26.9 | 63 | 25.8 | 68 | 27.3 | 70 | 27.3 | 66 | 27.5 |
| 女性 | 171 | 73.1 | 181 | 74.2 | 181 | 72.7 | 186 | 72.7 | 174 | 72.5 |
| 計 | 234 | 100.0 | 244 | 100.0 | 249 | 100.0 | 256 | 100.0 | 240 | 100.0 |

(2) 令和1年度入居者内訳

| | A棟 | | B棟 | | C棟 | | D棟 | | 計 | |
|----|----|------|----|------|----|------|----|------|-----|-------|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 男性 | 17 | 25.0 | 6 | 17.6 | 19 | 26.0 | 24 | 36.9 | 66 | 27.5 |
| 女性 | 51 | 75.0 | 28 | 82.4 | 54 | 74.0 | 41 | 63.1 | 174 | 72.5 |
| 計 | 68 | 28.3 | 34 | 14.2 | 73 | 30.4 | 65 | 27.1 | 240 | 100.0 |

入居世帯居住状況内訳（再掲）

| | | | | | | | | | | |
|------|----|------|----|------|----|------|----|------|-----|------|
| 常に居住 | 56 | 82.4 | 31 | 91.2 | 59 | 80.8 | 56 | 86.2 | 202 | 84.2 |
| その他 | 12 | 17.6 | 3 | 8.8 | 14 | 19.2 | 9 | 13.8 | 38 | 15.8 |

世帯別居住者数内訳（再掲）

| | | | | | | | | | | |
|-----|----|------|----|-------|----|------|----|------|-----|-------|
| 一人 | 46 | 80.7 | 34 | 100.0 | 51 | 82.3 | 25 | 55.6 | 156 | 78.8 |
| 二人 | 11 | 19.3 | 0 | 0 | 11 | 17.7 | 20 | 44.4 | 42 | 21.2 |
| 世帯数 | 57 | 28.7 | 34 | 17.2 | 62 | 31.3 | 45 | 22.8 | 198 | 100.0 |

(3) 入居者の年齢別構成

| 年齢 | 平成30年3月末 | | | 平成31年3月末 | | | 令和1年度 | | |
|--------------|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|-----|
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 |
| 59歳以下 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60歳以上～70歳未満 | 1 | 6 | 7 | 1 | 4 | 5 | 1 | 3 | 4 |
| 70歳以上～80歳未満 | 12 | 24 | 36 | 10 | 26 | 36 | 8 | 21 | 29 |
| 80歳以上～90歳未満 | 42 | 100 | 142 | 45 | 98 | 143 | 44 | 91 | 135 |
| 90歳以上～100歳未満 | 13 | 48 | 61 | 14 | 54 | 68 | 13 | 56 | 69 |
| 100歳以上 | 0 | 3 | 3 | 0 | 4 | 4 | 0 | 3 | 3 |
| 合計 | 68 | 181 | 249 | 70 | 186 | 256 | 66 | 174 | 240 |
| 平均年齢 | 84歳 | 85歳 | 85歳 | 85歳 | 86歳 | 85歳 | 85歳 | 86歳 | 85歳 |
| 最高年齢 | 97歳 11ヶ月 | 102歳 6ヶ月 | | 98歳 11ヵ月 | 103歳 0ヵ月 | | 99歳 5ヵ月 | 104歳 0ヵ月 | |
| 最少年齢 | 69歳 6ヶ月 | 65歳 10ヶ月 | | 65歳 10ヵ月 | 68歳 10ヵ月 | | 66歳 10ヵ月 | 67歳 10ヵ月 | |

(4) 入居者の在籍年数

| 在籍年数 | 平成30年3月末 | | | 平成31年3月末 | | | 令和1年度末 | | |
|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|
| | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 | 男性 | 女性 | 合計 |
| 1年未満 | 8 | 16 | 24 | 6 | 14 | 20 | 4 | 12 | 16 |
| 1年以上～5年未満 | 27 | 56 | 83 | 31 | 63 | 94 | 26 | 57 | 83 |
| 5年以上～10年未満 | 11 | 28 | 39 | 13 | 32 | 45 | 17 | 36 | 53 |
| 10年以上～15年未満 | 10 | 20 | 30 | 10 | 15 | 25 | 11 | 12 | 23 |
| 15年以上～20年未満 | 4 | 11 | 15 | 4 | 14 | 18 | 3 | 12 | 15 |
| 20年以上～25年未満 | 2 | 11 | 13 | 1 | 10 | 11 | 2 | 9 | 11 |
| 25年以上～30年未満 | 2 | 13 | 15 | 2 | 12 | 14 | 1 | 13 | 14 |
| 30年以上 | 4 | 26 | 30 | 3 | 26 | 29 | 2 | 23 | 25 |
| 合計 | 68 | 181 | 249 | 70 | 186 | 256 | 66 | 174 | 240 |
| 平均在籍年数 | 8年 5ヶ月 | 12年 2ヶ月 | 11年 2ヶ月 | 7年 11ヵ月 | 12年 0ヵ月 | 10年 11ヵ月 | 7年 11ヵ月 | 12年 2ヶ月 | 11年 0ヶ月 |

(5) 一時介護室利用者数 (1日当たり)

(単位：名)

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和 1 年度 |
|----|----------|----------|----------|----------|---------|
| 男性 | 3.9 | 2.5 | 0.1 | 1.4 | 2.3 |
| 女性 | 23.6 | 27.0 | 32.1 | 31.2 | 29.6 |
| 計 | 27.5 | 29.5 | 32.2 | 32.6 | 31.9 |

(6) ゆとりあの郷診療所月別診療状況 (令和 1 年度延べ人数) (単位：名)

| 月 | 医科 (延受診者数) | | | 健康診断 | 歯科 (延人数) | 他病院 入院者 |
|-------|------------|-------|-------|------|-------------|------------|
| | 入院 | 外来 | 計 | | | |
| 4 | 245 | 343 | 588 | 20 | 84 | 1 |
| 5 | 296 | 327 | 623 | 28 | 69 | 3 |
| 6 | 265 | 305 | 670 | 18 | 80 | 4 |
| 7 | 260 | 417 | 677 | 24 | 93 | 1 |
| 8 | 401 | 279 | 680 | 21 | 69 | 2 |
| 9 | 268 | 296 | 564 | 25 | 72 | 2 |
| 10 | 270 | 292 | 562 | 20 | 39 | 4 |
| 11 | 232 | 301 | 533 | 20 | 56 | 7 |
| 12 | 200 | 269 | 469 | 15 | 66 | 6 |
| 1 | 216 | 245 | 461 | 32 | 85 | 5 |
| 2 | 260 | 234 | 494 | 20 | 40 | 5 |
| 3 | 149 | 279 | 428 | 23 | 39 | 6 |
| 計 | 3,062 | 3,587 | 6,649 | 266 | 792 | 46 |
| (前年度) | 2,772 | 4,049 | 6,821 | 306 | 1,023 | 34 |

(7) 月別喫食状況 (令和1年度延べ食数)

(単位:食)

| 月 | 在室者 A | 朝食 B | 昼食 C | 夕食 D | 計 (E) B+C+D | 率 (%) E÷3÷A |
|-------|----------|---------|---------|---------|-------------------|----------------|
| 4 | 6,318 | 2,950 | 3,378 | 4,026 | 10,354 | 54.6 |
| 5 | 6,439 | 3,087 | 3,383 | 4,193 | 10,663 | 55.2 |
| 6 | 6,266 | 2,899 | 3,352 | 4,050 | 10,301 | 54.8 |
| 7 | 6,492 | 3,052 | 3,453 | 4,330 | 10,835 | 55.6 |
| 8 | 6,405 | 3,226 | 3,703 | 4,431 | 11,360 | 59.1 |
| 9 | 6,218 | 3,086 | 3,383 | 4,190 | 10,659 | 57.1 |
| 10 | 6,250 | 3,103 | 3,330 | 4,209 | 10,642 | 56.8 |
| 11 | 6,072 | 2,908 | 3,194 | 4,107 | 10,209 | 56.0 |
| 12 | 6,003 | 2,998 | 3,404 | 4,441 | 10,843 | 60.2 |
| 1 | 6,157 | 2,792 | 3,284 | 4,310 | 10,386 | 56.2 |
| 2 | 5,821 | 2,693 | 3,064 | 3,945 | 9,702 | 55.6 |
| 3 | 6,301 | 2,849 | 3,244 | 4,135 | 10,228 | 54.1 |
| 計 | 74,742 | 35,643 | 40,172 | 50,367 | 126,182 | 56.3 |
| (前年度) | 75,799 | 36,161 | 41,648 | 52,189 | 129,998 | 57.2 |

(8) 要介護認定者数 (年度平均)

(単位:名)

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和1年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 介護認定なし | 174.12 | 164.4 | 167.7 | 190.9 | 178.9 |
| 要支援1 | 9.5 | 14.3 | 14.5 | 9.5 | 7.7 |
| 要支援2 | 9.6 | 9.3 | 7.2 | 6.7 | 3.1 |
| 小計 | 19.1 | 23.6 | 21.7 | 16.2 | 10.8 |
| 要介護1 | 10.5 | 14.3 | 14.0 | 13.0 | 15.3 |
| 要介護2 | 17.2 | 18.1 | 14.4 | 13.2 | 10.1 |
| 要介護3 | 9.7 | 8.0 | 4.2 | 6.2 | 8.2 |
| 要介護4 | 2.2 | 6.1 | 6.0 | 9.3 | 11.3 |
| 要介護5 | 3.0 | 4.6 | 7.5 | 7.2 | 5.4 |
| 小計 | 42.6 | 51.1 | 46.1 | 48.9 | 50.3 |
| 合計 | 61.7 | 74.7 | 67.8 | 65.1 | 61.1 |

(9) 広報活動及び営業活動の充実

1) 広報活動内容

| | 広告媒体等 | 問合せ件数 | 見学件数 | 体験入居数 | 契約数 | |
|-------|-------------|-------|------|-------|-----|----|
| | | | | | 室 | 人 |
| 本年度累計 | ゆとりすと会員 | 367 | 56 | 13 | 3 | 4 |
| | 三越伊勢丹DM | 48 | 6 | 0 | 2 | 2 |
| | 高島屋DM | 316 | 41 | 0 | 2 | 2 |
| | 有料老人ホーム協会 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 紹介（入居者、ゆ会員） | 137 | 17 | 5 | 3 | 4 |
| | ホームページ | 184 | 27 | 5 | 1 | 1 |
| | 婦人公論 | 113 | 9 | 2 | 1 | 2 |
| | ハルメク | 20 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | 毎日が発見 | 10 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 週刊朝日 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日赤ニュース | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他（既知） | 83 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | 1,288 | 166 | 26 | 12 | 15 |

2) 営業活動内容

| 媒体種別 | 実施月 |
|-----------------|--------------------------|
| ゆとりすと（14,749部） | 毎月実施 |
| 高島屋DM（248,100部） | 5月（97,000部）、1月（151,100部） |
| 婦人公論（80,000部） | 12月 |

(10) 施設設備整備の年次推移 (過去5年間)

(単位:千円)

| | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 令和1年度 |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 居室リフォーム | 63,742 23室 | 86,400 28室 | 52,166 22室 | 31,040 12室 | 10,670 6室 |
| A棟屋上防水 | | 11,113 | | | |
| B棟屋上防水 | | 7,020 | | | |
| センター棟屋上防水 | | | 15,000 | | |
| 非常電源バッテリー | | 5,180 | | | |
| D棟1階居室庭園 | | 1,933 | | | |
| D棟1階床下結露 | | 5,292 | | | |
| D棟前、樹木伐採 | | | 4,200 | | |
| 共用廊下クロス張替 | | 4,428 | 1,371 | | |
| 漏電遮断機取替え | 1,505 | | | | |
| 非常照明用電源装置更新 | 4,800 | | | | |
| 給水ポンプ交換 | 1,329 | | | | |
| 給湯ボイラー入替 | | | 8,197 | | |
| 温泉エアー管・給湯管取替 | | | | 4,402 | 1,266 |
| 温泉送湯管取換 | | | 4,714 | | |
| 放送受信設備 (TVブースター) | | | 950 | 207 | |
| 温泉源泉コンプレッサー更新 | | | 13,986 | | |
| 厨房吸排気設備改修 | | | 6,690 | | |
| 防犯カメラ設置 | | | 7,215 | | |
| C、D棟1階、2階共用廊下窓フィルム | | | 900 | | |
| 診療所レントゲン装置一式更新 | | | 9,705 | | |
| 歯科レントゲン現像機更新 | | | | 604 | |
| 排水管洗浄 | | | | 6,800 | |
| サンルーム撤去工事 | | | | 2,700 | |
| サンデッキフェンス設置 | | | | | 282 |
| 事務所レイアウト変更工事 | | | | 980 | |
| 本部棟1階防火扉新設工事 | | | | | 931 |
| 本部棟2階防火扉新設工事 | | | | | 931 |
| 大浴場、小浴場柱タイル工事 | | | | | 988 |
| 連結送水管改修工事 | | | | | 999 |
| 介護浴室ボイラー改修工事 | | | | | 297 |
| 合計 | 71,376 | 116,078 | 125,094 | 46,733 | 16,364 |